



周辺機器をつなぐには…

接続方法を読んでから

接続方法は周辺機器によって異なります。買ってきていきなり接続するのではな く、まずはこのマニュアル、周辺機器に添付のマニュアルをよく読んで、接続方 法を理解してからにしましょう。

確実に

周辺機器の接続や操作、はずしたネジの取り付けなどは確実に行ってください。周辺機器やパソコンが動作しなくなる場合があります。また、ドライバーなどでパ ソコンや周辺機器を傷つけないようにしてください。

あわてない

周辺機器を接続すると、ドライバなどのインストール画面が出てきます。意味が わからなくてもあわててはいけません。落ちついて画面の説明をよく読んでみま しょう。





この本は、構成が大きく二つに分けられています。 前編の「拡張ガイド」は、プリンタなどの機器をパソ コンに接続したり、パソコン内部にメモリなどを取り付 けたりするときの説明です。

後編の「活用ガイド」は、パソコンの設定を変更した りするときに役立つ情報です。

はじめてパソコンを使う方にとっては、他の本にくら べると少し難しいかもしれませんが、この本はあなたが もっとパソコンに詳しくなるための道案内をしてくれま す。説明をよく読んで、まちがいのないように操作して ください。そして、思う存分にパソコンを使いこなして ください。

2000年1月 初版

『拡張!活用! バリュースター』の読み方

このマニュアルは、構成が大きく2つに分けられています。この「『拡張!活用! バリュース ター』の読み方」を参考にして、前編または後編から、知りたい情報を探してください。



このマニュアルの表記について

手順は左、補足説明は右に(前編の「拡張ガイド」のみ)

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面 を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画 面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してくだ さい。また、ページの右側のグレーの部分には操作に関連する補足説明や用語解説などが記載され ています。はじめてパソコンを扱う方は、右側の説明もよく読んでください。

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように 記載しています

▲ 警告 注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定 されることを示します。

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



⚠注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容 を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示していま す。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載して います。

電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

[]	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
プリンタ、 コネクタなど	「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「-」を省略して表記していま す。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく 使われている表記に準拠しているためです。
CD-ROM ドライブ	CD-RWモデルでは、CD-RWドライブのことを、DVD-ROMモデルでは、DVD- ROMドライブのことを指します。

このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

下記の表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル(機種)を指します。
CRT ディスプレイ セットモデル	CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。
液晶ディスプレイ セットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
DVD-ROM モデル	DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
CD-RW モデル	CD-RWドライブを搭載しているモデルのことです。
⊺∨ モデル	テレビ/地上波データ放送を見るための機能やDVD-ROMドライブを搭載した モデルのことです。
ジャストホームモデル	Justsystem Homeがあらかじめインストールされているモデルのことです。
一太郎モデル	Voice一太郎10・花子10パックがあらかじめインストールされているモデル のことです。
Office 2000モデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのこと です。

				表記の区分	
型名	型番	本体の形状	DVD-ROM /CD-RW	ディスプレイ	添付アプリケーション
VC750J/2GD1	PC-VC750J2GD1	コンパクトタイプ	CD-RW モデル	液晶ディスプレイセットモデル	Office 2000モデル
VC600J/2FD1	PC-VC600J2FD1			(15 型液晶) 	
VC550J/2FC1	PC-VC550J2FC1				一太郎モデル
VC550J/2FD1	PC-VC550J2FD1				Office 2000モデル
VC500J/2FC1	PC-VC500J2FC1		DVD-ROM モデル		一太郎モデル
VC500J/2FD1	PC-VC500J2FD1				Office 2000モデル
VC500J/2FC2	PC-VC500J2FC2				一太郎モデル
VC500J/2FD2	PC-VC500J2FD2				Office 2000モデル
VC500J/2XD1	PC-VC500J2XD1			液晶ディスプレイセットモデル	
VC500J/2XD2	PC-VC500J2XD2			(14 型液晶) 	
VC500J/2XB1	PC-VC500J2XB1				ジャストホームモデル
VC500J/2XB2	PC-VC500J2XB2				
VE500J/27C	PC-VE500J27C			CRT ディスプレイセットモデル	一太郎モデル
VE500J/27D	PC-VE500J27D			(17型CRT)	Office 2000モデル
VE500J/25D	PC-VE500J25D			CRTディスプレイセットモデル	
VE500J/25B	PC-VE500J25B			(15型CRT)	ジャストホームモデル
VT550J/2FD	PC-VT550J2FD	TV モデル		液晶ディスプレイセットモデル(15型液晶)	Office 2000モデル
VT550J/27D	PC-VT550J27D			CRTディスプレイセットモデル(17型CRT)	

購入された製品の型名、型番の末尾に「9」が付加されている場合は、末尾の「9」を除いて、モデル名を確 認してください。

本文中の画面、イラスト

本文中の画面やイラストはモデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあ ります。

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows, Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
Windows NT 4.0	$Microsoft{\ensuremath{\mathbb{B}}}$ $Windows$ $NT{\ensuremath{\mathbb{B}}}$ $Workstation$ operating system $Version$ 4.0
ジャストホーム	Justsystem Home(一太郎Home、カラメル、楽々はがき、フォトシアター、 デジコレ、キーボードファイター、写真スタジオ、文字スタジオ)
一太郎	一太郎Homeまたは、Voice一太郎10
ー太郎10・花子10 パック 、 Voiceー太郎10・花子10 パック	Voiceー太郎10・花子10パック(Voiceー太郎10、花子10、三四郎9、 ATOK13、VoiceATOK3、Shuriken2.1V、Sasuke2.0)
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/ Shogakukan Bookshelf® Basic)
MS-IME 98	Microsoft® IME 98
MS-IME 2000	Microsoft® IME 2000
Easy CD Creator	Easy CD Creator™ 4 Standard
DirectCD	DirectCD™ 3

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第72条の2第1項の規定に基づく端末機器 の設計についての認証を受けています。申請回線と認証番号は次のとおりです。なお、専用回線 等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

認証機器名:SF-DJP-ST 認証番号 電話回線:A99-0794JP

導入にあたっては、「MDMNDJP.INF」または「MDMDJPNT.INF」のファイルを含む専用ド ライバを必ず使用してください。

使用されない場合は、この技術基準を遵守できない場合がありますので、十分にご注意ください。

高調波電流規制について

この装置の本体および17型CRTディスプレイは、高調波ガイドライン適合品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。 (社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに 基づく表示)

レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のDVD-ROMドライブまたはCD-RWドライブが搭載されています。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ などお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコン インフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。 ご購入元までご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3項にか かわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および 本機に添付のCD-ROM、DVD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりする と、著作権の侵害となります。

(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Outlook、Bookshelf、およびWindowsのロ ゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」「Voice一太郎 10・花子 10 パック」「VoiceATOK」「Sasuke」「Shuriken」 は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「Voice 一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Voice 一太郎10・ 花子10パック」にかかる著作権、その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。 商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許 諾を受けています。

「Justsystem Home」、「ジャストホーム」、「一太郎Home」、「カラメル」、「楽々はがき」、「フォトシアター」、 「デジコレ」、「キーボードファイター」、「写真スタジオ」、「文字スタジオ」は、株式会社ジャストシステムの 商標です。

「Justsystem Home」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Justsystem Home」にかかる 著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

SmartVoice、BIGLOBE、BIGLOBE 電話で入会ナビ、PC ポータルは、日本電気株式会社の商標です。

Adaptec および Adaptec 社のロゴは、Adaptec, Inc. の登録商標です。

Easy CD Creator、DirectCD は、Adaptec, Inc.の商標です。

PureDIVAはMGI Software Corp.の商標です。

Intel、Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

Hayes は、米国 Hayes Microcomputer Products の登録商標です。

MNP は、Microcom, Inc. の登録商標です。

YAMAHA は、ヤマハ株式会社の登録商標です。

K56flexは、Lucent TechnologiesとCONEXANT SYSTEMSの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2000 日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項
 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
 本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
 また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。
 本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。
 必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
 輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。



はじめにi	
『拡張!活用! バリュースター』の読み方ii	
このマニュアルの表記についてiv	

前 編 - 拡張ガイド -

/

PART

このパソコンで使える周辺機器	2
本体前面に取り付けることができる周辺機器	2
本体背面に取り付けることができる周辺機器	3
本体内部に取り付けることができる周辺機器	4
周辺機器を取り付けるときのポイント	5
購入する前に、このパソコンで使えることを確認しよう	5
パソコンの電源を切ってから取り付けよう	5
USB 対応機器なら、電源を入れたまま取り付けられる	5
メモリや PCI ボードなどは、 本体のカバーを開けて中に取り付ける	6
取り付けただけではすぐに使えない周辺機器	6

このパソコンで使える周辺機器......7

周辺機器選びで失敗しないために	
事前に情報を集めよう	
接続の規格を見極めよう	
プリンタ	
プリンタを使う	
A V 機器を接続する	
マイクロホン端子	
LINE IN 端子	
LINE OUT 端子	
ヘッドホン端子	
ターミナルアダプタ	13
ターミナルアダプタを使う	
デジタルカメラ	
用意するもの	
画像データを取り込む	

	その他の機器のご紹介	
	CD-RW ドライブ	
	USB リンクケーブル	
	PCI ボード	
	赤外線通信インタフェースユニット	
	プレイパッド	19
PART	パワーアップのための基礎知識	
\mathcal{T}	接続から準備完了までの流れ	22
	ドライバなどをインストールする	
	周辺機器の取り外しと再接続	
	機器を取り付けるときのご注意	25
	本体の開け方と閉め方	
	用意するもの	
	ルーフカバーの外し方	
	ルーフカバーの取り付け方	
PART	USB 対応機器を使う	3 3
PART	USB 対応機器を使う USB とは	
P A R T	USB 対応機器を使う USB とは USB なら簡単接続	3 3 3 4 34
P A R T	USB 対応機器を使う USB とは USB なら簡単接続 USB コネクタについて	33
P A R T	USB 対応機器を使う USB とは USB なら簡単接続 USB コネクタについて USB 対応機器を接続する	33
PART	USB 対応機器を使う USB とは USB なら簡単接続 USB コネクタについて USB 対応機器を接続する 接続する前に	33 34 34 35 36 36 36
P A R T	USB 対応機器を使う USB とは USB なら簡単接続 USB コネクタについて USB 対応機器を接続する 接続する前に USB コネクタにプラグを差し込む	33 34 34 34 36 36 36 37
P A R T	USB 対応機器を使う USB とは USB なら簡単接続 USB コネクタについて USB 対応機器を接続する 接続する前に USB コネクタにプラグを差し込む 正しく接続できたかどうか確認する	33 34 34 36 36 36 37 40
P A R T	USB 対応機器を使う USB とは USB なら簡単接続 USB コネクタについて USB 対応機器を接続する 接続する前に USB コネクタにプラグを差し込む 正しく接続できたかどうか確認する ハイパワーデバイスについて	33 34 34 35 36 36 36 37 40 41
PART	USB 対応機器を使う USB とは USB なら簡単接続 USB コネクタについて USB 対応機器を接続する 接続する前に USB コネクタにプラグを差し込む 正しく接続できたかどうか確認する ハイパワーデバイスについて USB ハブを使う	33 34 35 36 36 36 36 36 34 34 35 36 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 35 36 34 34 34 35 36 34 34 34 35 36 34 34 34 34 34 35 36 34 34 34 36 36 36
PART 3	USB 対応機器を使う USB とは USB なら簡単接続 USB コネクタについて USB 対応機器を接続する 接続する前に USB コネクタにプラグを差し込む 正しく接続できたかどうか確認する ハイパワーデバイスについて USB ハブを使う	
PART 3 PART	USB 対応機器を使う . USB とは USB なら簡単接続 USB コネクタについて USB 対応機器を接続する 接続する前に USB コネクタにプラグを差し込む 正しく接続できたかどうか確認する ハイパワーデバイスについて USB ハブを使う	
PART 3 PART	USB 対応機器を使う USB とは USB なら簡単接続 USB コネクタについて USB 対応機器を接続する 接続する前に USB コネクタにプラグを差し込む 正しく接続できたかどうか確認する ハイパワーデバイスについて USB ハブを使う PC カードを使う PC カードスロットについて	33 34 34 35 36 36 36 36 36

Xİ





	SCSI機器がうまく動かないときは	
PART	ハードディスクを増設する	75
R	ハードディスクを増設するには	
U	用意するもの	
	本体にハードディスクを接続する	
	ハードディスクをフォーマットする	
	増設したドライブのドライブ名について	
	領域作成の準備をする	
	領域を作成する	84
	増設したハードディスクを確認する	86
	ドライブをフォーマットする	87
PART	うまく動かないときは	
Q	困ったときのチェックポイント	
	リソースに関する問題	
	リソースって何?	
	リソースの競合とは	
	リソースが競合していたら	
	デバイスのリソース設定の変更	
	このパソコンが使用しているリソース	
2		
	後 編 - 活用ガイド -	
PART	ハードウェア	
$1 \cap$	マウィ	100
IU	、 ノク	100
	「マウス プロパティ」ウィンドウでの設定	101

キーの役割......103



キーの名称10) 3
「キーボード プロパティ」ウィンドウでの設定)5
PC-9800 シリーズのキーボードとのキーの違い10)7
ワンタッチスタートボタン	8
各ボタンの名前と役割10	8 (
ハードディスク 11	0
概要11	0
取り扱いの注意11	0
ドライブコンバータ(FAT32)11	0
CD-RW ドライブ 11	2
概要	2
DirectCD を使う11	3
Easy CD Creator を使う11	4
フロッピーディスク	6
使用できるフロッピーディスクの種類	6
フロッピーディスクのバックアップ	6
Windows 98 起動ディスク11	7
ディスプレイ 11	9
概 要 1 1	9
別売のディスプレイを使う場合12	20
解像度と表示色の変更12	! 1
ディスプレイの省電力機能について12	2
ディスプレイに合わせて設定する12	3
省電力機能(スタンバイ)12	6
概要12	26
スタンバイ状態にする12	: 6
スタンバイ状態から電源が入っている状態に復帰する12	8 8
電源の管理のプロパティで設定する12	9
スタンバイ状態にするときの注意13	0
サウンド機能	2
概要13	62
スピーカ	62
マイクロホン	3
ボリュームコントロール13	3

ヤマハ DS-XG 設定 / ヤマハ AC	-XG 設定136
サウンド全般についての注意	
FAX モデムボード	
概 要	
FAX モデムボードを使用するとき	きの注意138

11

BIOS セットアップメニュー	1 4 2
BIOS セットアップメニューを使ってできること	
BIOS セットアップメニューを使う	1 4 2
パスワードの設定と入力	
パスワードの解除	1 4 9
電源管理モードについて	151
ACPI モードと APM モード	
モードの切り替え	
APM モードでタイマー機能を利用する場合の注意	154
その他の注意	154

付	録		••••			 •••	• • •	 •••	 	 •••	 •••	•••	• •	•••	1	5		7
Wind	o w s	NT	4.(ი თ	利用	 		 	 	 	 					1	5	8

Windows NT 4.0 をセットアップする前に	. 158
Windows NT 4.0 のセットアップとアップグレード	. 159
本機で Windows NT 4.0 を利用するときの注意	.165
本体の各部の名称	166
機能仕様	170
FAX モデムボード機能仕様	174

察	引	 77



拡張ガイド

前編「拡張ガイド」は、パソコンに別売の機器を接続した り、内部に増設したりして機能を拡張する方法の説明で す。機器を接続したり、増設したりするときは、該当する PARTを探し出して、間違いのないように作業してくだ さい。

このパソコンで使える周辺機器

本体前面に取り付けることができる周辺機器

周辺機器の取り付けの際は、その周辺機器がこのパソコンで使えるかどうか十分確認してください。また、取り付け 手順については、周辺機器のマニュアルやこのマニュアルを参考にしてください。



USBコネクタが不足するときは、別売のUSBハブを使ってコネクタを増やすことができます。

本体背面に取り付けることができる周辺機器

下の図は CRT ディスプレイセットモデルです。



1 · 液晶ディスプレイセットモデルにセットの液晶ディスプレイを接続する専用コネクタです。セットの液晶ディ スプレイ以外は接続できません。

2 ・ TV モデルは地上波 TV& データ放送ボードで占有済みです。

本体内部に取り付けることができる周辺機器



周辺機器を取り付けるときのポイント

購入する前に、このパソコンで使えることを確認しよう

たとえば同じプリンタでも、接続方法や対応パソコンの種類などが、機種によって異なります。機器によっては、このパ ソコンでは使えない場合があるのです。

せっかく買ってきたのに使えなかった、ということにならないように、周辺機器を購入する前に、その周辺機器がこのパ ソコンで使えるかどうかを確認しましょう。

なお、NECのインターネットホームページ「98Information」や「PICROBO」などで周辺機器や増設方法を紹介してい るので、インターネットに接続できる方は、参考にしてください。

「98Information」のアドレス(URL) http://www.nec.co.jp/98/

 $\label{eq:picrobolog} \label{eq:picrobolog} \label{picrobolog} \label{eq:picrobolog} \$

パソコンの電源を切ってから取り付けよう

周辺機器を取り付けるときは、原則として、パソコン本体の電源を切り、コンセントから電源ケーブルを抜きます。そう しないと、感電したり、パソコンや周辺機器が故障してしまうかもしれないからです。



USB 対応機器なら、電源を入れたまま取り付けられる

USB対応機器は、一般の周辺機器とは異なり、パソコンの電源を入れた状態のまま、接続したり取り外したりできるようになっています。ふだんは取り外しておいて、必要になったときに接続し、使い終わったら取り外す、というような使い方ができるのです。



メモリや PCI ボードなどは、本体のカバーを開けて中に取り付ける

メモリを増やすために必要な「増設RAMサブボード」や、SCSI対応機器などを使うために必要な「PCIボード」などは、 パソコン本体の中に取り付ける場所があります。これらの機器を取り付けるときは、パソコン本体のカバーを開けること になります。PART2の「本体の開け方と閉め方」をよく読んで、慎重に行ってください。



□ 参照 カバーの開け方 PART2の「本体の開け方と閉め方」(p.26)

取り付けただけではすぐに使えない周辺機器

ヘッドホンやオーディオ機器のように、パソコンにケーブルを接続しただけでそのまま使い始められるものもあります。 ほとんどの周辺機器は、取り付けただけでは使えず、取り付けた後にパソコン上で設定を行う必要があります。 たとえば、

- ・ハードディスクを増設したら、そのハードディスクをフォーマットする必要がある(詳しくはPART8を参照)
- ・プリンタや SCSIインターフェイスボードなどを取り付けたら、「ドライバ」という専用のソフトウェアを設定 する必要がある(詳しくは PART2 を参照)
- ・ターミナルアダプタやスキャナ、プレイパッドなどを取り付けたら、それらを便利に使うためのアプリケーションやユーティリティが必要になる

詳しくは、このマニュアルの各 PART の説明や、お使いの周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。



このパソコンで使える周辺機器

プリンタやデジタルカメラ、スキャナなどの周 辺機器をつなげば、あなたのパソコンライフが ますます豊かなものになります。ここでは、この パソコンで使える周辺機器について紹介します。



事前に情報を集めよう

パソコン雑誌などでは、プリンタやデジタルカメラなど、 ジャンル別に周辺機器の新製品を紹介する特集記事が載 ることがよくあります。自分の欲しい製品がないか、 チェックするときに役立ちます。また、インターネットで は、次のホームページでこのパソコンで使える周辺機器 を紹介していますので、参考にしてください。

```
「98 Information」のアドレス(URL)
http://www.nec.co.jp/98/
「PICROBO」のアドレス(URL)
http://www.nec.co.jp/picrobo/
```

接続の規格を見極めよう

このパソコンにはシリアルコネクタ(RS-232C),パラ レルコネクタ(セントロニクスなどと記載) USBコネク タ、PCIスロット、PCカードスロットがあります。周辺 機器の中には、同じ種類でも複数の規格に対応している ものがあります。規格には、それぞれ適しているもの、適 していないものがありますので、購入するときは、パソコ ンに詳しい友人やパソコンショップの店員さんなどに相 談しましょう。

プリンタ

プリンタは、パソコンで作った文書はもちろん、写真なども印刷することができます。プリンタの 種類もいろいろあります。ここでは、プリンタの種類と接続の流れを簡単に説明します。

プリンタには次のような種類があります。自分の用途に合ったプリンタを選びましょう。

インクジェットプリンタ



価格が手ごろなものからあり、個人用としては、もっともポピュラーなタ イプです。細かい粒子状にした液体のインクを紙に吹き付けて印刷します。 写真などを美しくカラー印刷で印刷できますが、印刷に多少時間のかかる ものもあります。

レーザープリンタ(ページプリンタ)

コピー機と同じようにトナーを紙に焼きつけて印刷するプリンタです。音 が静かで、高速に印刷ができます。しかし、カラー印刷ができるものは高価 なため、モノクロ印刷のものが主流になっています。



ドットインパクトプリンタ

紙にインクリボンをあてて、その上からピンを打ち付けて印字する方式です。印字文字が粗く、大きな音をたてますが、 カーボン紙などを使った複写式の伝票などを印刷するときにこのタイプを使います。

プリンタを使う

ここではプリンタが使えるようになるまでの手順を説明します。 プリンタは、本体のUSBコネクタまたはパラレルコネクタに接続します。



AV機器を接続する

このパソコンにはマイクロホン、AV機器などを接続する端子(LINE IN、LINE OUT、ヘッドホン)があります。パソコンの音を外部のスピーカで鳴らしたり、マイクロホンでパソコンに音を取り込んだりすることができます。



マイクロホン端子

この端子にマイクロホンを接続して、パソコンに音を取り込むことができます。

音量の調節

マイクロホンからの入力音量はWindows 98の「ボリュームコント ロール」の機能で調節します。

ハウリングについて

マイクロホンを本体のスピーカに近づけると、スピーカから「キーン」と いう大きな音が出ることがあります。これをハウリング現象といいます。 故障ではありません。この場合は、次の対策を行ってください。

・マイクロホンをスピーカから遠ざける

・「ボリュームコントロール」で入力音量(ボリューム)を小さくする

取り込んだ音声の利用

マイクロホンから取り込んだ音声は、「サウンドレコーダー」というアプリケーションを使って録音し、ファイルに保存することができます。詳しくは、サウンドレコーダーのヘルプをご覧ください。



マイクロホン端子は本体背面にあり ます。

LINE IN 端子

この端子に外部オーディオ機器を接続し て、パソコンで音を聞いたり録音したり できます。この端子に接続できるのは、 ステレオミニプラグ付きのオーディオ ケーブルです。



LINE OUT 端子

この端子に外付けスピーカや外部オーディオ機器を接続して、パソコンの音を聞いたり、テープレコーダ等に録音したりできます。

この端子に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのオーディオケーブルです。ミニプラグ付きのオーディオケーブルは、パソコン本体とは別売なので、電器店などで購入してください。

ケーブルを外部オーディオ機器側に接続するときは、「LINE IN」、「AUX IN」などの入力端子に接続してください。また、 外部オーディオ機器に「MIC IN」しかない場合は、「抵抗入り」のオーディオケーブルを購入してください。

ヘッドホン端子

この端子にイヤホンやヘッドホンを接続して、パソコンの音を聞くことができます。この端子に接続できるのは、ステレ オミニプラグ付きのヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、電器店などで「ステレオ 標準プラグ ステレオミニプラグ」変換プラグを購入してください。

・液晶ディスプレイセットモデルの場合
 ヘッドホンは液晶ディスプレイのヘッドホン端子に接続します。



・CRT ディスプレイセットモデルの場合
 外付けスピーカのヘッドホン端子に接続します。



PART このパソコンで使える周辺機器

ターミナルアダプタ

ここでは、より高速にインターネットを楽しむのことができる ISDN 回線と、このパソコンにつ なげられるターミナルアダプタ(ISDN ターミナルアダプタ)について簡単に説明します。

ISDN回線を利用すると、モデムと比べてより高速なデータ通信速度でインターネットを楽しむことができます。さらに、 次のようなメリットがあります。

・ノイズの混入や信号の減衰がない

・一本の回線で二本分利用できるため、インターネットに接続しながら電話をかけられる

ISDN 回線を利用するときには、ターミナルアダプタのほかに DSU という装置が必要です。DSU を内蔵するタイプの ターミナルアダプタもあります。



€ チェック!!

ISDN 回線を使って高速でインター ネットに接続するには、プロバイダ が ISDN 回線に対応していないと接 続できません。

ISDN ターミナルアダプタを使う前に次のことを確認してください。

・ISDN回線の契約をしていること

- ・DSU が内蔵されていること(ターミナルアダプタに DSU が内蔵されていない場合、別途用意してください)
- ・ISDN回線用のコンセントがモジュラー式になっていること

このパソコンにターミナルアダプタを接続するときは、USB コネクタか、シリアルコネクタに接続します。

ターミナルアダプタを使う

接続後、ドライバやターミナルアダプタを使うためのアプリケーションのインストールが必要になります。 詳しくはターミナルアダプタに添付のマニュアルをご覧ください。



デジタルカメラ

デジタルカメラで撮影した写真(画像)をこのパソコンに取り込んで、画像データとして保存する と、いろいろなアプリケーションで活用できます。

用意するもの

・デジタルカメラ

・フラッシュメモリカードまたは PC カードスロット用のアダプタ

フラッシュメモリカードに写真を記録するタイプのデジ タルカメラの場合、カメラからフラッシュメモリカード を取り出して、そのままこのパソコンのPC カードス ロットに取り付けることができます。

コンパクトフラッシュやスマートメディアなど、小型の メモリカードに写真を記録するデジタルカメラの場合、 小型のメモリカードをPCカードスロットにセットでき るようにするための専用のアダプタが必要になります。







口参照

PCカードの取り扱い方 「PART4 PCカードを使う」 (p.43)

画像データを取り込む

その他の機器のご紹介

その他の周辺機器の紹介です。ここでは比較的よく使われる周辺機器を簡単に説明します。周辺 機器選びの参考にしてください。

CD-RW ドライブ

通常の CD-ROM は、データを保存 できない読み取り専用のメディアで す。CD にデータを保存するには、 CD-R(1 回だけ書き込み可能で書 き換え不可)やCD-RW(何度も書き 込み/書き換え可能)など専用のメ ディアと、CD-RW ドライブという 装置が必要です。CD-R やCD-RW には最大650M バイトと大量の データが保存できるため、ハード ディスクドライブのバックアップな ど、大量のデータを保存したいとき に、CD-RW ドライブがあると便利 です。



CD-RWドライブでデータを保存したCD-RやCD-RWは、このパソコンに内蔵のDVD-ROMドライブ(またはCD-RWドライブ)で利用できます。

CD-RWドライブを購入するときは、接続の規格に注意してください。SCSIインターフェイス対応のものは、別途SCSI ボード(PCIスロットに取り付けます)または、SCSIカード(PCカードスロットに取り付けます)が必要です。

その他の大容量記憶装置には、以下のようなものがあります。これらも SCSI インターフェイス対応機器です。

・外付け用ハードディスクドライブ

データをたくさん保存したり、多くのアプリケーションをインストールしていくとハードディスクが足りなくなって きます。そんなときは外付け用ハードディスクを増設して容量を増やすことができます。

・MOディスクドライブ

3.5 インチMOディスク(光磁気ディスク)を扱うことができるドライブです。3.5 インチMOディスクの記憶容量は 128M バイト、230M バイト、540M バイト、640M バイト、1.3G バイトがあり、扱えるディスクがドライブの種 類によって異なります。日本国内でもっとも普及している大容量メディアです。

そのほかにPD、Zip、Jazなどの大容量メディアがあります。

USB**リンクケーブル**



USB インターフェイスを使って、複数のパソコン同士 (4~5台までを推奨)をUSB リンクケーブル(PK-UP010)で接続すると、LANボードやLANカードで接 続したときと同じようにデータの移動、ファイルやプリ ンタの共有などができるようになります。

USBインターフェイスを搭載したパソコン同士なら LANボードやLANカードを使うよりも手軽で簡単に接 続できます。

口参照

USB 対応機器の使い方 「PART3 USB 対応機器を使う」(p.33)



PCI ボードには次のようなものがあります。

・SCSIインターフェイスボード このパソコンにハードディスクドライブや、MOディス クドライブなどのSCSIインターフェイス対応機器を接 続するためのボードです。

□□参照

SCSIインターフェイスボードを使う「PART7 SCSI インターフェイス対応機器を使う」(p.67)

・3Dグラフィックアクセラレータボード
 3Dグラフィック、2Dグラフィックを高速描画することができるボードです。CADや3Dグラフィックス、3D
 ゲームなどに対応しています。また、動画の再生もなめらかに表示することができます。2Dアクセラレーション
 機能もありますので、アプリケーションでも高速画面描画することができます。

・衛星インターネットボード

衛星を利用したインターネット高速接続サービスを利用するためのボードです。ホームページの閲覧やダウンロードサー ビスなどのスピードが最大1Mbps(受信側のみ)と高速なので、何十メガバイトもあるデータや情報を短時間でダウン ロードすることができます。また、電話回線を利用したときのようにインターネットの混雑などで通信速度が遅くなった りすることもありません。

・LANボード

LAN ボードはこのパソコンを LAN に接続するための PCI ボードです。

LAN(Local Area Network)は同じ建物の中など比較的近距離で、複数のコンピュータを接続したネットワークのことです。LAN でコンピュータ同士を接続すれば、データの移動、ファイルやプリンタの共有などが簡単にできるようになります。

LAN に接続するためのコネクタには、いくつかの異なる規格があります。現在市販されている LAN ボードの多くは 10BASE-Tまたは100BASE-TXという規格のコネクタに対応するものです。それ以外のコネクタに接続する場合、パ ソコンの販売店などにご相談ください。

LAN ボードと同じ機能を持つものに LAN カードがあります。 LAN カードは PC カードスロットに取り付けます。

PCIボードは、ここで紹介しているものの他にもいろいろなメーカーから、多種多様な機能を持つものが発売されています。

これらの PCI ボード購入時には、必ずこのパソコンで動くかどうかメーカー、ご購入元で確認してください。

口参照

PCIボードの使い方 「PART5 PCIボードを使う」(p.51)

赤外線通信インタフェースユニット

赤外線通信インタフェースユニット(PK-UP007)を使 えば、赤外線通信に対応したノートパソコンなどとケー ブルで接続せずにデータをやりとりできます。

赤外線通信は、無線でデータのやりとりができますが、通 信できる距離や角度などに制限があります。詳しくは赤 外線通信インタフェースユニットのマニュアルを参照し てください。

このパソコンで赤外線通信インタフェースユニットを使 うときは、USB コネクタに接続します。USB コネクタ に接続できるものを選んでください。



口参照

USB対応機器の使い方 「PART3 USB対応機器を使う」(p.33)

プレイパッド



ゲーム専用のコントローラで、パソコンでゲームを楽し むときに接続して使います。このパソコンには、プレイ パッド(PK-GP101E)が接続できます。 このパソコンでプレイパッドを使うときは、USBコネク タに接続します。USBコネクタに接続できるものを選ん

口参照

でください。

USB 対応機器の使い方 「PART3 USB 対応機器を使う」(p.33)
PART

パワーアップのための基礎知識

メモリを増設したり、いろいろなボードや周辺 機器を取り付けることで、より快適な使用環境 を整えることができます。しかし、周辺機器の中 には、接続してからさまざまな設定や準備が必 要になるものがあります。

ここでは、これらの機器を取り付けるときに必 要な準備と作業の方法について説明します。

接続から準備完了までの流れ

周辺機器を接続すると、パソコンの画面に見慣れない表示が出てきて、そのまま止まってしまったように思えることがあります。「故障かな?」とあわてる必要はありません。はじめて新しい機器を接続したあとの流れは、次の3通りのパターンに分かれます。あらかじめ頭に入れておきましょう。



ドライバなどをインストールする

接続した周辺機器を使うためにはほとんどの場合、ドライバや専用のアプ リケーションのインストールが必要になります。 ドライバは、周辺機器によって異なります。あらかじめパソコンに用意さ れているドライバが使える場合と、周辺機器に添付されているドライバが 必要な場合があります。

プラグ&プレイに対応していない周辺機器の場合

プラグ&プレイに対応していない周辺機器の場合、ドライバや、専用のア プリケーションのインストールは手動で行います。 詳しくは周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

プラグ&プレイに対応している周辺機器の場合

下のような画面が表示されたら、まずは画面の指示にしたがって作業を進めます(かへ) をクリックしていってください)。

スの時わしいアライハを使来しています: USB ヒューマン・インターフェイス デバイス デバイスドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソ
/MJI/C\$.

・パソコンに用意されていたドライバが使える場合

下のような画面が表示された場合は、このパソコンにあらかじめ用意されていたドライバがインストールされました。そのまま (177) をクリックしてください。



これでドライバのインストールは終了です。



プラグ&プレイ

パソコン本体に周辺機器をつなぐ と自動的に種類を認識して必要な 設定を行う機構。 つなぐ(プラグ)だけですぐに使え る(プレイ)ことから付いた呼び名 です。

Windowsを再起動する必要がある 場合があります。そのときは画面の 指示にしたがって、再起動してくだ さい。

・周辺機器に添付のドライバが必要な場合

下のような画面が表示された場合は、周辺機器に添付のドライバが必要な 場合です。この場合は周辺機器に添付のマニュアルにしたがってドライバ をインストールしてください。



周辺機器によっては専用のアプリ ケーションをインストールする必要 がある場合があります。詳しくは、周 辺機器に添付のマニュアルをご覧く ださい。

Windowsを再起動する必要がある 場合があります。そのときは画面の 指示にしたがって、再起動してくだ さい。

周辺機器の取り外しと再接続

プリンタなどのUSB対応機器、メモリカードなどのPCカードは、パソコ ンの電源を入れたまま、いつでも取り付け、取り外しができます。 同じ周辺機器を再接続したときは、ドライバなどをインストールする必要 はありません。ただし、画面が少しのあいだ止まったり、何かウィンドウが 表示されたりすることがあります。これは装置の故障ではありません。し ばらく待てば使えるようになります。



本体を開けて、機器を取り付けるときには、次の点にご 注意ください。

⚠警告



 「お鳴り出したら、パソコンやアンテナ線、電源ケー ブル、ディスプレイケーブル、AC アダプタ、モジュ ラーケーブル(電話線)、USB ケーブルに触れたり、 周辺機器の取り付け、取り外しをしないでください。 落雷による感電のおそれがあります。

⚠注意

本体内部に手を入れるときは、指をはさんだり、ぶつ
けたり、切ったりしないように注意してください。

濡れた手で触らないでください。

電源ケーブル、ACアダプタがコンセントに接続されているとき、濡れた手で本体に触れると感電の原因となります。



電源ケーブル、AC アダプタがコンセントに接続されているときは、本体のカバー類を外さないでください。
 感電の原因となります。
 周辺機器の取り付けや取り外しをするときは、
 必ず電源ケーブル、AC アダプタのプラグを、
 コンセントから抜いてください。
 パソコンや周辺機器の故障や感電の原因となります。
 このパソコンの使用直後は、CPU やCPU の周辺に触れないでください。
 CPU が高温になっていますので、手を触れるとやけ

どをするおそれがあります。電源を切ったあと、30 分以上たってから行うことをおすすめします。



電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って
 抜いてください。
 ケーブルを引っ張って抜くと、断線して火災の原因となります。



本体を解体した状態で使用しないでください。 感電や火災の原因となります。



メモリを増設したり、いろいろなボードをパソコンに組 み込むときには、本体のルーフカバー(本体上面をお おっているカバー)を外す作業が必要となります。ここ では、その作業について説明します。

用意するもの

プラス(+)ドライバー

ネジ山に合った先 -端のものを使って ください



ネジの取り外し、取り付けの際に、本 体内部にネジを落とす可能性がある ため、なるべくドライバーの先端が 磁石になったものをおすすめします。

ルーフカバーの外し方



●チェック!!

ここで取り外したケーブルは、メモ リやボードなどの増設が終わり、 ルーフカバーを取り付けたあとで、 もとどおりに接続することになりま す。外す前に、どのコネクタにどの ケーブルが接続されているのかを確 認しておきましょう。





このネジは、手で回して外せます。

ジチェック!!

外したネジをなくさないように、気 をつけてください。

●チェック!!

- ・ルーフカバーを取り外す際、PC カードスロットのイジェクトボタンが押し込まれていることを確認してください。
- ・ルーフカバーを取り外す際は、CD-ROMドライブのカバーをひっぱっ たりしないでください。カバーが破 損する場合があります。





ルーフカバーの取り付け方

機器の取り付けが終わって、カバーをもとどおりに取り付けるときは、外 すときと逆の順番で作業を進めてください。



ジチェック!!

- このとき、内部のケーブルや部品を 引っかけたり、はさんだりしないよ うに気をつけてください。
- ・ルーフカバーを取り付ける際、PC カードスロットのイジェクトボタンが押し込まれていることを確認 してください。
- ・ルーフカバーを取り付ける際は、 CD-ROMドライブのカバーを押し たりしないでください。カバーが破 損する場合があります。





口参照

スタビライザの取り付けについて 『まずこれ! 接続と準備』PART2の 「パソコン本体にスタビライザを取り 付ける」

山参照

ケーブルの接続 『まずこれ! 接続と 準備』の「PART2 パソコンの接続を する」



USBコネクタには、すでに接続されているキー ボードやマウス以外にも、いろいろな周辺機器 を接続して利用することができます。ここでは、 USB対応機器の使い方について説明します。

ユーエス ビー **USB とは** USB(ユーエスビー)は、パソコン用インターフェイス の新しい規格です。まずは、このパソコンで USB 対応 機器を使うための基礎知識を知っておきましょう。

USBは、Universal Serial Bus(ユ ニバーサル シリアルバス)の頭文字 をとったものです。



インターフェイス パソコンと周辺機器を接続するコ ネクタなど、機器を接続するときに 必要な共有される部分のことです。

USB **なら簡単接続**

USB 対応機器は、電源を入れた状態のままで接続します。



USB対応機器は、一般の周辺機器とは異なり、パソコンの電源を入れた状態のまま、接続したり取り外したりできるようになっています。ふだんは取り外しておいて、必要になったときだけ接続し、使い終わったら取り外す、というような使い方ができるのです。

プリンタなど、電源スイッチのある 周辺機器を利用する場合、あらかじ め周辺機器の電源を入れてから接続 してください。

機器によっては、ドライバの設定作 業が必要になることがあります。 また、プラグを差し込む前にドライ バをインストールする必要のある機 器もあります。

機器によっては、この後、ソフトウェ アのインストールなどの作業が必要 になります。詳しくは、機器に添付の マニュアルをご覧ください。

þ

0

0

USB コネクタについて





キーボードの裏側にも、2つのUSBコネクタが用意されています。ここに もUSB対応機器を接続することができますが、機器によっては接続でき ない場合があるので、注意が必要です。

	USB コネクタの数	実際に使える数()
液晶ディスプレイ セットモデル	5 個	3 個
CRT ディスプレイ セットモデル	4 個	2 個

通常、USBコネクタには添付のキーボードやマウスが接続されているので、空いているコネクタの数は少なくなります。

なお、標準で用意されているUSBコネクタだけで足りないときは、別売の「USBハブ」を接続して、コネクタの数を増やすことができます。

口参照

各 USB コネクタへの差し込み方 この PARTの「USB コネクタにプラ グを差し込む」(p.37)

ジチェック!

キーボードの裏側の USB コネクタ には、「ハイパワーデバイス」は接続 できません。

口参照

バイパワーデバイス この PART の 「ハイパワーデバイスについて (p.41)

口参照

USB ハブについて この PART の 「 USB ハブを使う」(p.41)



富が鳴り出したら、パソコンやアンテナ線、電源ケーブル、ディスプレイケーブル、AC アダプタ、モジュ
 ブル、ディスプレイケーブル、AC アダプタ、モジュ
 ラーケーブル(電話線)、USB ケーブルに触れたり、
 周辺機器の取り付け、取り外しをしないでください。
 落雷による感電のおそれがあります。

接続する前に

USB 対応機器を接続する前に、次の準備が必要です。

接続する USB 対応機器のマニュアルを読む

あらかじめ、機器に添付のマニュアルをよく読んでおきます。 機器によっては、接続する前にドライバのインストールや、各種設定ス イッチ等の設定が必要な場合があるので、マニュアルにしたがって設定し ます。

接続後に設定が必要になることがあるので、CD-ROMやフロッピーディ スクが添付されていれば、用意しておきます。

パソコンとディスプレイの電源を入れておく

USB対応機器は、パソコンの電源を入れたままの状態で接続できます。あ らかじめパソコンの電源を入れて、Windowsが使えるようにしておきま しょう。



USB 対応機器に、Windows 95 対応のドライバしか添付されていない こともあります。その場合、USB対応機器をWindows 98 で使うために専用のドライバが別に必要となることがあります。詳しくは、機器に添付のマニュアルや、機器のメーカーまたはご購入元などにお問い合わせください。

ジチェック!

キーボード裏側の USB コネクタに 接続するときには、USB 機器のマ ニュアルを読んで、その機器が「ハイ パワーデバイス」なのかどうか調べ ておいてください。「ハイパワーデバ イス」は、キーボードの USB コネク タには接続できません。

口参照

ハイパワーデバイス この PART の 「ハイパワーデバイスについて(p.41)



本体前面の USB コネクタを使う

本体前面のUSBコネクタを使う場合は、プラグの・く・マークを左に向けてコネクタに差し込みます。



〈 戻る(日) 【二次へ入二】 キャンセル

本体背面の USB コネクタを使う (CRT ディスプレイセットモデルの場合)

本体背面のUSBコネクタを使う場合は、プラグの・←マークを右に向け てコネクタに差し込みます。



セットの液晶ディスプレイ側面のUSB コネクタを使う (液晶ディスプレイセットモデルの場合)

液晶ディスプレイセットモデルにセットの液晶ディスプレイのUSBコネ クタを使う場合は、プラグの**・** てークを上に向けてコネクタに差し込み ます。



液晶ディスプレイの側面には、図の ように2つのUSBコネクタが並んで いますが、通常、一方のコネクタには 添付のキーボードが接続されていま す。周辺機器を接続する場合は、空い ている方のコネクタに接続してくだ さい。

PART 3 USB対応機器を使う

キーボード裏側の USB コネクタを使う

キーボード裏側のUSB コネクタを使う場合は、下図のように、プラグの ←→マークが見えるように上向きにして差し込みます。



キーボードの裏側には、図のように 2つのUSBコネクタが用意されてい ますが、通常、一方のコネクタには、 添付の USB マウスが接続されてい ます。周辺機器を接続する場合は、空 いている方のコネクタに接続してく ださい。

ジチェック!

キーボード裏側のUSBコネクタに は、「ハイパワーデバイス」を接続で きません。ハイパワーデバイスの USB対応機器は、別のUSBコネク タに接続してください。

口参照

ハイパワーデバイス この PARTの 「ハイパワーデバイスについて」 (p.41)

正しく接続できたかどうか確認する

接続したUSB対応機器が正しくパソコンに認識されるかどうかを確認します。確認する方法は、機器の種類によって異なります。また、機器によって下記の方法では確認できない場合もあります。詳しくは、各USB対応機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

USB 対応プレイパッド

「コントロールパネル」の「ゲームコントローラ」をダブルクリックして表 示される画面から、操作テストを行えます。

USB 対応プリンタ

「コントロールパネル」の「プリンタ」をダブルクリックし、接続したプリ ンタ名が表示されることを確認します。

その他の USB 対応機器

接続を確認する方法は、機器のマニュアルをご覧ください。

一般に、「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」を表示して、接続した USB 対応機器が登録されていれば、正しく接続されています。なお、この操作を行うためには、CyberTrio-NXのモードを「アドバンストモード」にする必要があります。

機器によっては、この後さらに別の 設定作業が必要になります。USB対 応機器に添付のマニュアルなどで確 認してください。

口参照

デバイスマネージャについて PART9の「デバイスのリソース設 定の変更」(p.92)



ハイパワーデバイスについて

USB対応機器は、その機器が動作するために必要な電流の取り方によって、次の3つのタイプに分かれます。

- ・セルフパワードデバイス
 独自に電源を持っている機器です。USBコネクタからは100mA以下の電流を消費します。
- ・ローパワーデバイス 添付のUSBマウスのように、自分では電源を持たない機器です。必要な 電流をUSBコネクタから消費して動作しますが、消費するのは100mA 以下と比較的少量です。
- ・ハイパワーデバイス ローパワーデバイスと同様、自分では電源を持たない機器です。必要な 電流をUSBコネクタから消費して動作しますが、比較的大きな電流 最 大500mA)を消費します。

このパソコンに添付のキーボード(USB バスパスワードハブ付きキー ボード)の裏側にあるUSBコネクタに接続できるのは、このうち「セルフ パワードデバイス」と「ローパワーデバイス」のみです。「ハイパワーデバ イス」はパソコン本体か、USBセルフパワードバスに接続してください。

USB **ハブを使う**

別売の USB ハブ(PK-UP002 など)を使えば、1 つの USB コネクタを 4 つの USB コネクタに分岐して増やすことができます。この USB ハブ を何台も使えば、規格上 127 台(パソコン 1 台あたり: USB ハブの数も 入れて)までの周辺機器を接続することができます。



ハイパワーデバイスの例

- (NEC製:2000年1月現在)
- PK-IN800U、PK-IN800U2
 (フルカラーモバイルスキャナ)
 PK-UP001
 - (フルカラーイメージスキャナ)
- ・PK-MC201、PK-MC201E (デジタルビデオカメラ)
- ・ PK-MC201S、 PK-MC201SE
 (デジタルビデオカメラ)
- ・ PK-MC202、 PK-MC202E
 (デジタルビデオカメラ)
- PK-UP007

(赤外線通信インタフェースユニット) 上記の機器以外にもハイパワーデバ イスの機器があります。詳しくは、周 辺機器に添付のマニュアルなどで確 認してください。

ジチェック!!

USBハブにキーボードやUSB対応 機器を接続する場合、本体に先に USBハブを接続してから接続してく ださい。USBキーボードを別売の USBハブに接続するときは、次の手 順で接続してください。

- 1. 本体の USB コネクタにキーボー ドを接続する
- 本体の空いている USB コネクタ に USB ハブを接続して認識させ る
- USB ハブにキーボードを接続する

PK-UP002の場合、4つのUSB対応機器を接続することができます。

USBハブの詳しい使い方について は、USBハブのマニュアルをご覧く ださい。

USBハブには、CRTディスプレイの 下に置くことのできるタイプ (PK-UP003)もあります。



PCカードは、クレジットカードを厚くしたよう な形をしている周辺機器です。PCカードは種類 が豊富な上に、取り扱いやすく、パソコン側の設 定も簡単にできるので、このパソコンの機能を 手軽に拡張することができます。



PC カードスロットは、PC カードをセットするためのスロットです。 このパソコンには、図のように左右 2 つの PC カードスロットがあり、そ れぞれのスロットに TYPE または TYPE の PC カードを 1 枚ずつ、 または左右のスロットを合わせて TYPE の PC カードを 1 枚、セット して使用できます。



CardBus 対応 PC カードについて

CardBus(カードバス)はPCカードの拡張仕様で、高速にデータ転送が できます。

このパソコンでは、CardBus対応のPCカードを、左右のスロットに1枚ずつ、計2枚同時に使用することができます。

PC Card Standard準拠のPCカー ドは、カードの厚さによってTYPE 、TYPE 、TYPE の3種類に 分けられます。

- ・TYPE のPCカード
 厚さ約3.3mm
- ・TYPE のPCカード
 厚さ約 5.0mm
- ・TYPE のPCカード
 厚さ約10.5mm

ダチェック!

- このパソコンでは ZV ポート対応の PC カードは使用できません。
 PCカードを購入する際は注意してください。
- ・LANカードの使用中は、スタンバイ状態にしないでください。購入時には、約20分間何も操作しないと、自動的にスタンバイ状態になるように設定されています。LANカードを使用する場合は、「コントロールパネル」の「電源の管理」で「電源設定」を「常にオン」に変更してください。

口参照

スタンバイ状態について PART10 の「省電力機能(スタンバイ)(p.126)

P C **カードの入れ**方と 出し方

PCカードは、パソコン本体の電源を入れたままの状態 でも、PCカードスロットにセットすることができます。 セットすると自動的に設定が始まり、設定が終わった ら、すぐに使えます。

⚠注意

PCカードを取り出すときは、ゆっくりイジェクトボ タンを押してください。 イジェクトボタンを強く押しすぎると、PCカードの 取り出し口に指をぶつけてけがをする恐れがありま

PC カードをセットする

100

ナが注意

す。

パソコンの電源が入っている場合は、すべてのアプリ ケーションが終了していることを確認する

本体前面の PC カードスロットカバーを開ける ツメに指を引っかけて、矢印の方向に開きます。



ジチェック!!

PC カードは大変精密にできていま す。PCカードやPCカードスロット の故障を防ぐため、次の点に注意し てください。

- ・高温、多湿、低温の場所に放置しない
- ・濡らさない
- ・重いものを載せない
- ぶつけたり、落としたりして、衝撃
 を与えない
- ・曲げない
- ・PCカードの端子部分に金属などを 入れない
- ・PC Card Standardに準拠してい ないカードを無理に押し込まない

PC カードはパソコンの電源を入れ たまま、抜き差しができます。

*** F**xy**0**!!

PCカードをセットする前に、このパ ソコンで使える PC カードかどうか もう一度確認してください。



PC **カードの設定**

PCカードをPCカードスロットにセットすると、パソコンが自動的に設定を行い、すぐに使用可能な状態になります。

ただし、一度も使ったことのないPCカードをセットしたときは、設定が 自動的には行われず、ドライバのインストールを行うための画面が表示さ れることがあります。この場合は、画面の指示にしたがって操作してくだ さい。

なお、この操作を一回行えば、次回以降そのPCカードを使うときは、セットしたらすぐに使えるようになります。

●チェック!!

- PCカードをセットする前にイジェ クトボタンが収納されているか確 認してください。ボタンが飛び出 したままの状態でPCカードを セットすると、イジェクトボタン が収納できなくなり、PCカードス ロットカバーが閉まりません。
- PCカードには表面と裏面があり、 スロットへ差し込む方向も決まっています。間違った向きでむりやり差し込むと、コネクタやスロットを破損する恐れがあります。詳しくは、PCカードのマニュアルをご覧ください。
- ・アプリケーションソフトを使用中は、PCカードを差し込んだり、取り出したりしないでください。
- ・スタンバイ状態で、PCカードの抜き差しを行わないでください。スタンバイ時のデータが消えてしまい、復元できなくなってしまうことがあります。

ジチェック!!

コネクタを破損する恐れがあります ので、PCカードを押し込むときに無 理な力をかけないように注意してく ださい。

口参照

ドライバのインストールについて PART2の「接続から準備完了までの 流れ」(p.22)







ボタンが飛び出した状態でイジェク トボタンを押し込むと、PCカードス ロットにセットされていた PC カー ドが、少しだけ飛び出します。

ジチェック!!

イジェクトボタンは、カチッと音が するまでしっかり押し込んでくださ い。

●チェック!!

PCカードを取り出したときに「予期 せぬ PC カードの取り外しが行なわ れました」という画面が表示された 場合は、「OK」をクリックしてくださ い。

ジチェック!

イジェクトボタンが出ている状態で はカバーを閉めることができません。



このパソコンには、ハードディスクの増設に必要 な SCSI インターフェイスボードをはじめ、いろ いろな種類の PCI ボードを取り付けることがで きます。

PCIボードについて

ここでは、このパソコンに取り付けることのできるPCI ボードについて簡単に説明します。

いろいろな PCIボード

PCIボードには、主に次のようなものがあります。

SCSI **インターフェイスボード**

このパソコンにハードディスクなどのSCSIインターフェイス対応機器を 接続するためのボードです。

LAN(ネットワーク)ボード

このパソコンを LAN に接続するためのボードです。

3D グラフィックアクセラレータボード

3DCG(立体的なコンピュータグラフィックス)の表示を高速にするボー ドです。

PCIボードは、ここで紹介しているものの他にもいろいろなメーカーから、 多種多様な機能を持つものが発売されています。 これらのPCIボード購入時には、必ずこのパソコンで動くかどうかメー カー、ご購入元で確認してください。

口参照

SCSI インターフェイス対応機器 「PART7 SCSIインターフェイス対 応機器を使う」(p.67)

ジチェック!!

- 液晶ディスプレイセットモデルに セットの液晶ディスプレイは、本機 の液晶ディスプレイ専用コネクタ しか取り付けられません。アクセラ レータボードにディスプレイを接 続する場合は、別途ディスプレイが 必要です。
- ・1Mバイト空間のメモリリソース
 を使用するPCIボードは、正常に
 動作しない場合があります。

PCI **スロット**

このパソコンでは、下の図のように、1つのPCIスロットを使用できます。 スロットにはハーフサイズの PCIボードを取り付けることができます。



●チェック!!

 ・このパソコンには、フルサイズの PCIボードは取り付けられません。
 ・ハーフサイズのPCIボードであっても特殊な形状のボードは取り付けられない場合があります。ハーフサイズのPCIボードとは、次のような大きさのボードのことです。



🍼 チェック!

TV モデルでは、スロットに地上波 TV& データ放送ボードが、標準で取 り付けられています。新たにPCIボー ドを取り付けることはできません。

PART 5

PCI*ボード*を取り付け る

ここでは、このパソコンにPCIボードを取り付ける方法 を説明します。

正しい手順で本体のルーフカバーを外す



PCIコニットを上へ引き抜くようにして取り外す



PCI ユニットを下の図のような向きにする



●チェック!

以降の手順では、本体のカバーを開 けて作業します。

PCIボードを取り付けるときには、 必ず PCIボードに付属のマニュアル もご覧ください。

山参照

ルーフカバーの外し方 PART2の 「本体の開け方と閉め方」(p.26)

ダチェック!!

- ディスプレイケーブルなど、本体に 接続されているケーブルは本体から すべて取り外してください。
- 机やテーブルを傷つけたりしないように、下に厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。
- PCI ユニットの取り付け、取り外し をするときは、PCI ユニットやパソ コン本体内部の部品、ケーブルなど を破損しないよう、慎重に行ってく ださい。

ジチェック!!

TVモデルでは、地上波TV&データ放 送ボードが、標準で取り付けられて います(空きスロットはありませ ん)、標準で取り付けられているPCI ボードを取り外すことは未サポート となります。



●チェック!!

- スロットカバーは、ここで取り付け たボードを取り外さないかぎり、不 要となりますが、なくさないように 大切に保管してください。
- PCIボードを持つときは、ボード上の部品やツメ(端子)部分に触れないように注意してください。
- 外したネジは、PCIボードを固定するときに使います。なくさないように気をつけてください。

PCIボードをしっかり差し込むには、 強い力が必要です。ボードのツメの 先端が PCI ユニットのスロットにき ちんと合っていれば壊れることはあ りませんので、強く押し込むように してください。

●チェック!

しっかり差し込んでおかないと、故 障の原因になります。



PCIユニットをしっかり差し込むに は、強い力が必要です。PCIユニット のツメの先端が本体のコネクタにき ちんと、合っていれば壊れることは ありませんので、強く押し込むよう にしてください。

8 正しい手順で本体のルーフカパーを取り付ける

PCIボードによっては、ボードの取り付け後、パソコン側で設定作業が必要なものもあります。詳しくは、PCIボードに付属のマニュアルをご覧ください。

また、PCIボードの使い方についても、PCIボードに付属のマニュアルを ご覧ください。

口参照

ルーフカバーの取り付け方 PART2 の「本体の開け方と閉め方」(p.26)


メモリは、パソコンで作業をするときの「作業 机」のようなものです。机の上が広いと作業がし やすいのと同じように、メモリの量が多いとパ ソコンの「作業机」も広くなり処理がしやすくな ります。一度に複数のアプリケーションを使っ ているときなどに、パソコンの処理速度が遅い と感じるようであれば、メモリを増やしてみま しょう。



このパソコンで使える増設 RAM サブボード

パソコンのメモリを増やすときには、「増設RAMサブボード」というボー ドを使います。

このパソコンでは、「DIMM」と呼ばれるタイプの次のような増設RAMサ ブボードを使うことができます。

型名	メモリ容量
PK-UG-M015	32Mバイト
PK-UG-M016	64Mバイト
PK-UG-M017	128M バイト

メモリの増やし方の例

このパソコンには、増設RAM サブボード(DIMM)を差し込むコネクタ (スロット)が、2つ用意されています。標準では、この内の1つのコネク タに128M バイトまたは64M バイトのRAM サブボードが付いていま す。

標準で付いている RAM サブボードは機種によって異なります。 下の表で確認してください。

型名	標準	最 大
VC750J/2	120M / X L	
VC600J/2	120101/(11	
VT550J/2	×I	256M バイト
VC550J/2	GAMUTAL	(128Mバイト×2)
VC500J/2	041017(11-	
VE500J/2		

ここでは、標準で64MバイトのRAMサブボードが付いている場合を例に、メモリの増やし方を説明します。



空いている残りの1スロットに、増設RAMサブボードを追加することで、 メモリを増やします。また、標準で付いている RAM サブボードを取り外 して、より大きな容量の増設RAM サブボードに取り替えることも可能で す。

メモリは、最大で 256M バイト(128M バイトの増設 RAM サブボード × 2 枚)まで増やすことができます。

·例1:96M バイトにする場合

空いているコネクタの1つに32Mバイトの増設RAMサブボードを追加 すれば、標準で付いている64Mバイトのメモリと合わせて96Mバイト にすることができます。

64M バイト(標準で付いているもの)

32Mバイト(別途購入したもの)

合計 96M バイト

DIMM(ディム)は、Dual Inline Memory Moduleの頭文字をとった ものです。

ジチェック!!

このパソコンでは、「SIMM(シム)」 と呼ばれるタイプの増設 RAM サブ ボードは使用できません。間違って購 入しないように注意してください。

増設RAMサブボードに対して、パソ コンに最初から取り付けられている メモリのことを「RAM サブボード」 といいます。

標準で付いている RAM サブボード が128Mバイトの場合、128Mバイ トの増設 RAM サブボードを追加す ることで、最大(256Mバイト)にす ることができます。 標準で付いている RAM サブボード が64M バイトの場合は次のページ

の例3をご覧ください。

実際に利用できるメモリ容量は、取 り付けたメモリの総容量より 0.4 M バイト少ない値になります。

·例 2:192M バイトにする場合

128M バイトの増設 RAM サブボードを1枚追加します。

64M バイト(標準で付いているもの) 128M バイト(別途購入したもの)

合計 192 M バイト

・例 3:256M バイト(最大)にする場合

標準で付いているRAMサブボードを外し、128Mバイトの増設RAMサ ブボードを2枚追加します。

一 標準で付いているものは外す

128M バイト(別途購入したもの)

128M バイト(別途購入したもの)

- 合計 256M バイト

●チェック!

メモリは、大変壊れやすい部品です。 取り外した標準のRAM サブボード は大切に保管してください。

PART メモリを増やす



ここでは、増設 RAM サブボード(RAM サブボード)の 取り付け方と、取り外し方を説明します。

⚠注意

増設RAMサブボードは以下の手順に従って正しく取 り付けてください。

正しく取り付けられていないと、発煙、火災の原因と なります。

ボードを取り扱うときに気をつけること

増設RAMサブボードおよび標準で付いているRAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でこれらのボードに触れると、ボードが破損する原因となります。ボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

増設 RAM サブボードの取り付け方

正しい手順で本体のルーフカバーを外す

1 参照

ルーフカバーの外し方 PART2の 「本体の開け方と閉め方」(p.26)

ジチェック!

以降の手順では、本体のカバーを開 けて作業します。 ここで、増設RAMサブボード用のコネクタの位置を確認しておいてください。



●チェック!!

お使いの機種によって、本体内部の 形状が異なります。

左の図にはありませんが、実際には 2 つあるコネクタのうち、#0(本体 外面に近い方)のコネクタには、標 準でRAMサブボードが差し込まれ ています。

増設RAMサブボードは、両手で持っ てください。



ジチェック!!

- ・増設RAMサブボードの端子部分に は手を触れないでください。接触不 良など、故障の原因となります。
- ・ボード上の部品やハンダ付け面に
 は触れないよう注意してください。

コネクタの溝とボードの切り欠き⑦ の位置を確認してから差し込んでく ださい。







確認のしかた



「サポートセンタ」の画面が表示されます



メモリはWindows 98の「システム 情報」からも確認することができま す。

(「スタート」-「プログラム」-「アクセ サリ」-「システムツール」-「システム 情報」)



ここに表示されたメモリ容量を確認する (ここには、増やした後の全メモリ容量(標準で入っている容量+増設 した容量)が表示されます)

メモリが増えていなかったら

表示されたメモリの大きさが増えていなかった場合には、次のことを確認 してください。

メモリが正しく取り付けられているか?

このパソコンで使える増設 RAM サブボードを取り付けてい るか? **ジ**チェック!!

ここでは、増やした後の全メモリ容 量より数 M バイト少なく表示される 場合がありますが故障ではありませ ん。



SCSI インターフェイス対応機器を使う

このパソコンで SCSI(スカジー)インターフェ イスに対応した周辺機器を使うには、SCSIイン ターフェイスボードが必要です。ここでは、 SCSIの基礎知識、SCSIインターフェイスボード の取り付け方、SCSIインターフェイス対応機器 を接続する方法を説明します。





SCSI **インターフェイ** スについて

ここでは、SCSIインターフェイスを使って周辺機器を 接続するとき、覚えておいて欲しいことを説明します。

接続できる SCSI 機器

SCSIインターフェイスを使って接続できる機器には、次のようなものが あります。

- ・ハードディスク
- ・CD-ROM ユニット
- ・CD-RW ドライブ
- ・MO ディスク(光磁気ディスク)ドライブ
- ・PDユニット
- ・Zip ドライブ
- ・ミニカートリッジテープユニット
- ・カセット磁気テープユニット
- ・イメージスキャナ など

SCSI に関する基礎知識

SCSI機器の接続方法について

SCSI機器は、「デイジーチェーン」と呼ばれる「数珠つなぎ」のような形式 で、複数(最大7台)の機器をつなぐことができます。 また、その終端となるSCSI機器には「ターミネータ」と呼ばれる装置を付 けることになっています。



SCSI 機器が 1 台の場合



SCSI機器が3台の場合



ターミネータは、「終端 BOX」とも呼ばれます。

SCSI機器によっては、タ - ミネータ 機能を内蔵しているものもあります。 使用する SCSI 機器のマニュアルを よくご覧になり、正しく設定してく ださい。

SCSI ID EONT

SCSI機器は、SCSI IDという0~7の認識番号で区別します。このSCSI IDが重複すると、SCSI機器が正常に動作しなくなりますのでご注意ください。

通常、SCSIインターフェイスボード自身が7番を使用します。一般的に、 外付けのSCSI機器のSCSIIDは0~6番を使います。また、通常、0番 はSCSIハードディスクで使います(その他の機器でも0番を使えないわ けではありません)。

SCSI機器接続ケーブルの長さについて

複数のSCSI機器を接続するとき、ケーブルの総延長が3m以内になるようにしてください。

SCSI インターフェイスの種類

現在一般に使われているSCSIインターフェイスの規格には、次の4種類があります。

- ・SCSIインターフェイス
- ・SCSI-2 インターフェイス
- ・Ultra SCSI インターフェイス
- ・Ultra Wide SCSIインターフェイス

SCSI-2 インターフェイスは、SCSIインターフェイスのデータ転送速度 を2 倍にしたものです。また、Ultra SCSIインターフェイスは、SCSIイ ンターフェイスのデータ転送速度を4 倍に、Ultra Wide SCSIインター フェイスは、SCSIインターフェイスのデータ転送速度を8 倍にしたもの です。

それぞれ、対応したインターフェイスボード、SCSI機器、ケーブルがあり ます。SCSIインターフェイスで、SCSI-2インターフェイスに対応した機 器を使うことはできませんが、SCSI-2 インターフェイスで、SCSIイン ターフェイスに対応した機器を使うことはできます。

ジチェック!!

Ultraに設定したUltra SCSIインター フェイス対応機器を4台以上接続する 場合は、ケーブルの総延長が1.5m以 内になるようにしてください。 ケーブルの総延長は取り付ける機器な どによって異なります。ボードや機器 のマニュアルで確認してください。



用意するもの

市販のSCSIインターフェイスボードやSCSI機器接続 ケーブルなどが必要になります。あらかじめ用意してお きましょう。

接続する SCSI 機器とそのマニュアル

SCSI インターフェイスボード

PCIスロットに対応した SCSIインターフェイスボードが1つ必要です。 このパソコンで使用できる SCSIインターフェイスボードには、次のよう なものがあります。

・Ultra SCSI インタフェースボード(Wide 対応)(PK-UG-X007) ・Ultra SCSI インタフェースボード(PK-UG-X014)



SCSI機器接続ケーブル



ターミネータ(終端 BOX)



このパソコンで使用できるのは、「ハ ーフサイズ」のSCSIインターフェイ スボード(長さが約176mm以下の もの)です。

また、SCSIカードを使うこともでき ます。SCSIカードはPCカードス ロットに差し込みます。

山参照

ハーフサイズ PART5の「PCIス ロット」(p.52)

●チェック!!

SCSI機器接続ケーブルは、プラグ部 分の形状やケーブルの長さ、対応し ている SCSI インターフェイス規格 の違いによって、いくつかの種類が あります。ボードや機器に添付のマ ニュアルを参照して、適切なケープ ルを用意してください。

口参照

SCSI インターフェイスの種類 前 ページの「SCSIインターフェイスの 種類」

ターミネータ(終端)機能を内蔵して いるタイプの SCSI 機器を接続する ときは、不要です。詳しくは、SCSI機 器に添付のマニュアルをご覧くださ い。

SCSIインターフェイスについて / 用意するもの 71

SCSI **インターフェイ** スボードを取り付ける

SCSIインターフェイスボードは、パソコン本体の PCI スロットに取り付けます。取り付け方は、一般の PCI ボードと同様です。



正しい手順で、SCSIインターフェイスボードをPCI スロットに取り付ける

PCIスロットのスロットカバーを取り外してから、SCSIイ ンターフェイスボードをスロットに慎重に差し込み、ネジで 固定します。



ジチェック!

SCSIインターフェイスボードを取 り付ける際は、本体のカバーを開け て作業します。

ジチェック!!

ディスプレイケーブルなど本体背面 に接続されているケーブルは、本体 からすべて取り外してください。

口参照

ルーフカバーの外し方 PART2の「本体の開け方と閉め方」(p.26)

机やテーブルを傷つけたりしないよ うに、下に厚手の紙や布などを敷い ておくことをおすすめします。

口参照

ボードの取り付け方について詳しく は 「PART5 PCIボードを使う」 (p.51)

ジチェック!!

SCSIインターフェイスボードは、 しっかり差し込んでください。故障 の原因になります。

SCSIインターフェイスボードを取 り付けるときには、必ず SCSIイン ターフェイスボードに添付のマニュ アルもご覧ください。





SCSI ID の設定方法については、各 SCSI 機器に添付のマニュアルをご 覧ください。

ジチェック!!

- ・ 接続はパソコン本体と SCSI 機器の 電源を切ってから行ってください。
- SCSIケーブルのコネクタは、逆向き に差し込めないようになっています。
 向きをよく確認して、無理に押し込 まないようにしてください。

コネクタによっては、左右のフック でコネクタが外れないように固定す ることができます。このようなフッ クがある場合には、必ず固定するよ うにしてください。

SCSI機器のSCSIコネクタは通常2 つ用意されています。どちらのコネ クタを使っても構いません。

複数の SCSI 機器を接続する場合に は、ターミネータのかわりにもう 1 本の SCSIケーブルを差し込み、数珠 つなぎの方法で SCSI 機器を接続し ていきます。そして終端となる機器 にターミネータを差し込みます。



ケーブルがきちんと接続されていますか?

見落としがちなことですが、パソコンを移動したときなど、ケーブルが外れかかっていたりすることがよくあります。SCSIインターフェイスボードと各機器、または各機器どうしを接続しているケーブルやターミネータが、きちんと接続されているかどうか、確認してください。

ケーブルが長すぎませんか?

また、SCSIインターフェイスや機器に対応したケーブルを 使っていますか?

SCSI-2のデイジーチェーンには、ケーブルの総延長が3m以内という制限があります。短いケーブルなどを使って、制限を超えない総延長にしてください。また、SCSIケーブルは取り付けるSCSI機器のインターフェイスによって使用できるケーブルが異なります。機器のコネクタの形をよく確認して適したものを使用してください。機器によっては変換アダプタが必要な場合もあります。

SCSI インターフェイスボードは認識されていますか?

SCSIインターフェイスボードのリソースの設定、ドライバの組み込みが 正しくできていない場合、SCSIインターフェイスボードが認識されませ ん。「コントロールパネル」の「システム」の「デバイスマネージャ」で確認 してください。正しく認識されていない場合には、SCSIインターフェイス ボードのところに、赤い「×」や黄色い「!」のマークが表示されます。

SCSIID の設定は正しくできていますか?

複数の機器で同じ番号を設定していたりすると、各機器を認識できません。 各機器の SCSI ID の設定を確認してください。

電源を入れる順序は正しいですか?

SCSIインターフェイス対応機器を取り付けたときは、本体の電源を入れ る前にSCSI機器の電源を入れておかないと、本体の起動時に認識されま せん。電源を入れる順序をまちがっていた場合は、一度、本体の電源を切っ てからSCSI機器の電源を入れ、その後でもう一度本体の電源を入れ直し てください。 □□参照

使用できるケーブルについて SCSIインターフェイスボードのマ ニュアル、SCSIインターフェイス対 応機器のマニュアル

口参照

正しく認識されない場合の対処 PART9の「リソースに関する問題」 (p.91)

CyberTrio-NXのモードが「ベーシッ クモード」の場合は、デバイスマネー ジャでの設定はできません。「アドバ ンストモード」に変更してください。



データをたくさん保存したり、多くのアプリ ケーションをインストールしていくと、だんだ んハードディスクがいっぱいになってきます。 もっとたくさんの容量が必要な場合はハード ディスクを増設します。このパソコンでは、ハー ドディスクは外部機器として接続します。



用意するもの

作業を始める前に、あらかじめ、市販の外付け用ハード ディスクやSCSIインターフェイスボードなどを購入し て、用意しておきます。

ハードディスク

市販の「SCSIインターフェイス対応」の外付け用ハードディスクを用意します。容量や性能、大きさ、形などの違いにより、さまざまな種類のハードディスクがありますので、用途に合わせて、適切なものを選びましょう。



SCSI インターフェイスボードなど

ハードディスクをパソコン本体に接続するために、市販のSCSIインターフェイスボードやSCSI機器接続ケーブル、ターミネータ(終端 BOX)などが必要です。PART7の説明や機器に添付のマニュアルをご覧になり、あらかじめ必要なものを用意してください。



ハードディスクやボードのマニュアル

ハードディスクと SCSI インター フェイスボードの組み合わせによっ ては、うまく接続できなかったり、専 用の変換コネクタが必要になったり するので、購入する前にお店で確認 してください。

口参照

SCSIインターフェイスボード 「PART7 SCSIインターフェイス対 応機器を使う」(p.67)

本体にハードディスク を接続する

先にパソコン本体に SCSI インターフェイスボードを取 り付け、ボードのSCSIコネクタにハードディスクを接続 します。

本体とハードディスクの電源が 切れていることを確認する

正しい手順で、本体にSCSIインターフェイスボードを 取り付け、必要な設定を行う

接続しようとするハードディスクのSCSIIDを確認し、 必要ならば設定を変更する 0~6のいずれかの番号に設定します。他のSCSI機器も接続 している場合には、それらの機器の番号と重複しないように気 をつけてください。

本体に取り付けたSCSIインターフェイスボードの SCSIコネクタにSCSI機器接続ケーブルのプラグを 差し込む



外付け用のハードディスクを増設す るときには、必ずハードディスクに 付属のマニュアル、SCSIインター フェイスボードに付属のマニュアル もご覧ください。

▼チェック!

SCSIインターフェイスボードを取 り付ける際は、本体のカバーを開け て作業します。

□□参照

SCSIインターフェイスボードの取 り付けと設定 「PART7 SCSIイ ンターフェイス対応機器を使う」 (p.67)

SCSI機器は、SCSI ID という0~7 の番号で装置を識別します。ハード ディスクにはこの番号を設定するボ タンが付いているので、それを使っ て設定してください。

ジチェック!!

SCSI機器接続ケーブルのプラグは、 逆向きに差し込めないようになって います。コネクタの向きをよく確認 し、無理に押し込まないようにして ください。

コネクタによっては、左右のフック でプラグが外れないように固定する ことができます。このようなフック がある場合には、必ず固定するよう にしてください。



ハードディスクの SCSI コネクタは 通常 2 つ用意されています。どちら のコネクタを使ってもかまいません。

ジチェック!!

ハードディスクを接続するときは、 ハードディスクに衝撃を加えないよ うに十分取り扱いに気をつけてくだ さい。

口参照

ターミネータについては PART7 の「SCSIに関する基礎知識(p.69)

ジチェック!!

ターミネータを取り付けないと、 ハードディスクが正しく認識されな い場合があります。

SCSI ハードディスクのフォーマッ トについては、ハードディスクに付 属のマニュアルもご覧ください。

ハードディスクをフォー マットする 一般的に、ハードディスクは取り付けただけでは使えま せん。情報を保存するためにハードディスクの区画整理 をして、番地をつける「フォーマット作業」が必要です。

ハードディスクのフォーマットは次の手順で行います。



フォーマットには時間がかかります。 そのため、フォーマット済みの状態 で販売しているハードディスクもあ ります。この場合にはフォーマット の作業は必要ありません。ハード ディスクのマニュアルで確認してく ださい。

ジチェック!!

- ・すでに使用されているハードディス クをフォーマットすると、その中に 保存されていたすべてのデータが消 えてしまいます。必要なデータは、フ ロッピーディスク、MOディスクな どにバックアップしておいてください。
- ・すでに PC-9800 シリーズ用に フォーマットされているときでも、
 もう一度領域を作成しフォーマット する必要があります。
- ・ハードディスクのボリュームラベル が全角文字または半角カタカナで入 力されているときは、領域の削除が できません。「マイコンピュータ」で ハードディスクドライブのアイコン を右クリックして、「プロパティ」で 半角英数字に入力し直すかボリュー ムラベルを削除してください。
- 本体内蔵ハードディスク内に論理 MS-DOSドライブを持たない拡張 MS-DOS領域があるときは、ハード ディスクを増設する前に削除してく ださい。



増設したドライブのドライブ名について

ハードディスクを増設したときに、通常(基本 MS-DOS 領域を作成しな い場合)は、あらかじめ取り付けられている内蔵ハードディスクの最後の ドライブ名に続けてドライブ名が割りあてられます。

基本 MS-DOS 領域を作成しない場合

 内蔵ハードディスク
 増設したハードディスク

 増設前
 C



ハードディスクの領域を確保するときに基本MS-DOS領域を作成した場合は、複数の領域を作成したドライブのドライブ名が変更されます。 以下の順序でドライブ名が割り当てられますので、ハードディスクを増設した後は、ハードディスクのドライブ名を一度確認してください。

> 内蔵ハードディスクの先頭ドライブ 増設したハードディスクの先頭ドライブ 内蔵ハードディスクの残りのドライブ 増設したハードディスクの残りのドライブ

基本 MS-DOS 領域を作成する場合

内蔵ハードディスク

増設したハードディスク



	D	F	G	
(領	東域を	3 つにし	」た場合)



ジチェック!!

手順 4 でのハードディスクの容量は 1G バイト = 1,000,000,000 バイ ト換算です。

Yを選択すると、FAT32でフォー マットされます(ただし、512Mバ イトより小さい領域を作成すると、 ここでYを選択していてもFAT16 でフォーマットされます)。 Nを選択すると、FAT16でフォー マットされます(ただし、2,047M バイト以下の領域しか作成できませ ん)。 なお、2,048Mバイト以上の領域

は、FAT32でないと作成できません。

PART ON-ドディスクを増設する

「現在のハードディスクドライブを変更」の画面が表示される。



画面には接続されているハードディ スクが一覧表示されます。この中か ら増設したハードディスクを探して、 その番号を入力します。通常は「2」 と入力します。

● チェック!!

「1」は、あらかじめ取り付けられて いる内蔵ハードディスクです。ドラ イブをまちがえないように、十分注 意してください。

ジチェック!

すでに使用しているハードディスク の領域を削除すると、その中に保存さ れていたすべてのデータが消えてし まいます。十分気をつけてください。

論理ドライブが設定されているとき は、手順9の前に3を入力し、拡張 MS-DOS領域内の論理MS-DOSド ライブをすべて削除してください。 また、基本MS-DOS領域が設定され ていれば、手順11のあとにそれも削 除してください。

ジチェック? FDISKを終了しないで次の手順に進んでください。



の画面に戻る



* オブション

いま入力した番号が^r 現在のハード ディスク」の右に表示される

買ってきたばかりのハードディスクを接続して使うときは、以下の手順は 不要です。このまま、次ページの「領域を作成する」に進んでください。 以前使っていたハードディスクを接続した場合で、ハードディスクに領域 が設定されているときは、手順8からの記述にしたがって領域を削除して ください。



「拡張 MS-DOS 領域を削除しました .」と表示される。

FDISK オプション画面が表示される。

領域を作成する



「論理 MS-DOS ドライブを作成しました.ドライブ名は変更または追加されました」と表示される。

「領域作成の準備をする」の手順5で Nを入力したとき、ひとつの領域の 大きさは2,047Mバイトまでです。 それより大きなハードディスクを使 う場合には、領域を分けて作成しま す。

領域作成の途中で電源を切ったりす ると、ハードディスクが使えなく なってしまうこともありますので、 気をつけてください。



ここで、新しく作成した論理ドライ プ名をメモにひかえておいてくださ い。フォーマットするときに必要で す。

ハードディスクの領域



1 参照

ハードディスクの増設によるドライ ブ名の変更について このPARTの 「増設したドライブのドライブ名につ いて」(p.81)

増設したハードディスクを確認する

ハードディスクを増設したあとでWindows 98のマイコンピュータを見 ると、増設した分だけ、ハードディスクアイコンが増えて表示されます。



「領域を作成する (p.84)の手順で、増設したハードディスクを複数の領域に分割した場合は、その分だけハードディスクアイコンも多く表示されているはずです。

もしも表示されていない場合は、増設に失敗しています。

もう一度、「領域作成の準備をする (p.82)の手順からやり直してみてく ださい。

または、ケーブルが正しく接続できているか、確認してください。

ドライブをフォーマットする

続いてWindows 98で、増設したハードディスクをフォーマットします。

データをハードディスクに保存できるように、Windows 98で区画ごと に番地をつけ、またどのデータをどこにしまったかを記録しておく、一覧 表のようなものを作成します。





ダチェック!

すでに使用されているドライブを フォーマットすると、その中に保存 されていたすべてのデータが消えて しまいます。十分気をつけてくださ い。

増設したドライブが、どれかわから ない場合には、マイコンピュータの ハードディスクのアイコンを次々と ダブルクリックしてみてください。 増設したハードディスクの場合には、 未フォーマットであることを示す ウィンドウが表示されます。



このウィンドウが表示されたら、 「キャンセル」をクリックし、ウィン ドウを閉じてください。

しばらくするとフォーマットが終了し、フォーマットの結果が表示 される。



スキャンディスクの実行をうながす画面とヘルプが表示される。



スキャンディスクが正常に終了したら、フォーマット作業は終わりです。

スキャンディスクは、ハードディス クに壊れている部分がないか、問題 なく使えるかをチェックするもので す。破損している部分が見つかった 場合には、自動的にその部分を使わ ないように設定します。



手順通りに作業したのに増設した周辺機器が使 えない、周辺機器を増設したらパソコンが起動 しなくなったといったときには、このPARTを 読んでみてください。トラブルを解決するヒン トを説明しています。

困ったときのチェック ポイント

増設した周辺機器やパソコンがうまく動かないときは、 次の点をチェックしてみてください。

電源は入っていますか?

外付けの周辺機器の場合には、取り付けた周辺機器の電源が入っていることを確認してください。

取り付けた周辺機器は、このパソコンで使えるものですか? 取り付けた周辺機器がこのパソコンで使えるものかどうか、周辺機器のマ ニュアルを読んだりメーカーへ問い合わせて、確認してください。

ケーブルは正しく接続されていますか?

見落としがちなことですが、パソコンや周辺機器を動かしたときなどに、 ケーブルが外れたり、ずれたりしていることがよくあります。ケーブルが きちんと接続されているか、確認してください。

本体内部のケーブル類はきちんと接続されていますか?

本体内部に機器を取り付けたときに、気づかないうちに内部の信号ケーブ ルなどを引っぱって、接続がゆるんでしまうことがあります。本体内部の ケーブル類がきちんと接続されているかどうか、確認してください。

ドライバは組み込みましたか?

周辺機器によっては、機器を取り付けた後、パソコン側にドライバ(やソフト)を組み込む必要のあるものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧になり、正しくドライバを組み込んでください。

ドライバの情報は、このパソコンや周辺機器のReadmeファイルに書いてあることがあります。

また、周辺機器のドライバは、知らないうちに改善されて新しくなってい ることもあります。「ドライバの組み込み方は正しいのに、うまく動かな い」といった場合は、ドライバを最新のものにするとうまく動くようにな ることもあります。周辺機器のメーカーに問い合わせて、最新のドライバ を入手してください。

周辺機器を、一度に複数取り付けませんでしたか?

周辺機器を一度に複数取り付けると、不具合があったとき、原因究明が困難になります。このような場合は、取り付けた機器をいったん全部外し、1 つずつ取り付けてパソコンの動作を確認してください。

設定はしましたか?

プレイパッドのように、接続したあとで設定の必要な機器があります。

他の機器とリソースが競合していませんか?

システムのリソースが足りない場合、他の使用していないリソースを一時 的に外し、そのリソースを割り当てる必要があります。 口参照

リソースの問題について このPART の「リソースに関する問題」(p.91)



リソースに関する問題

パソコンには、周辺機器が使用するための「リソース」 という概念があります。ここでは、少しだけこのリソー スについて説明します。

リソースって何?

リソースは、パソコンの中心となる「CPU」と周辺機器が、円滑に情報をやりとりするために必要な設定項目です。大きく「割り込みレベル(IRQ)」、「DMAチャネル」に分けられます。

これらのリソースは、それぞれの機器ごとに違う設定を割り当てなければ いけませんが、リソースの数は限られており、このパソコンをご購入時に は、すでにいくつかのリソースが使用されています。周辺機器を増設した ら、それらの機器に空いているリソースを割り当てることになるのです。

リソースの競合とは

周辺機器を増設した際、通常は、パソコン(Windows 98)が自動的にこれらのリソースの設定を管理するので、自分で設定を変更したり、確認する必要はほとんどありません。

ところが、機器によっては、パソコンまかせだとうまく設定できないこと があります。設定がうまくできずに、同じリソースが複数の機器に重複し て割り当てられている状態を「リソースの競合」といいます。リソースが競 合していると、機器が正常に使用できなかったり、システム全体の動作が 不安定になってしまいます。

Windows 98 などでは、ひとつの割り込みレベルを複数の機器で使用で きることがあります。このようにリソースを共有することを「リソースを シェアする」と表現します。この場合は、そのまま機器を利用できます。 リソースについて詳しく知りたい方 は、市販のWindows 98の解説本や パソコン専門誌などをご覧ください。

口参照

ご購入時のリソースの割り当て この PARTの「このパソコンが使用しているリソース」(p.95)

増設したPCIボードや周辺機器にリソースの競合が起こっているかどうかは、「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」で調べることができます。



デバイスマネージャを表示したときに、その機器のアイコンに「!」マークや「×」マークが付いていたら、その機器の「プロパティ」を表示してみます。「デバイスの状態」の欄に「競合」を示すメッセージが表示されていたら、リソースが競合しています。

リソースが競合していたら

増設した周辺機器のリソースが競合していて使えないときは、リソースの 割り当てを変更する必要があります。

たとえば、当面使わない機器を一時的に「使用しない」設定に変えること で、その機器が使用していたリソースを解放して、増設した周辺機器に割 り当て直すことができます。また、競合している相手の機器のリソースの 割り当てを変更することで使用できるようになる場合もあります。

リソースの割り当ての変更やリソースの解放は、デバイスマネージャで行います。

デバイスのリソース設定の変更

通常、プラグ&プレイ対応のデバイスは、デバイスマネージャによって、自動的に設定されています。リソース設定が変更できないデバイスはそのままにして、変更できるデバイスを設定変更します。

ここではプリンタポートのリソースを変更してみます。

「スタート」「プログラム」「CyberTrio-NX」の順に ポイントして「Go to アドバンスモード」をクリック

「スタート」「設定」「コントロールパネル」の順に クリックして「コントロールパネル」を開く

ジチェック!!

CyberTrio-NXのモードが「ベー シックモード」のとき(購入時の状態)は、デバイスマネージャの設定が 行えません。「アドバンストモード」 に変更してください。

🍼 チェック!!

- ・リソースの競合などを避けるため、 ある機器のリソースを解放すると、 その機器は使えなくなります。再び その機器を使う場合には、リソース を設定し直してください。
- ・機器によっては、リソースの割り当
 て方に制限がある場合があります。
 詳しくは、機器に添付のマニュアル
 をご覧ください。

ジチェック!!

CyberTrio-NXのモードが「ベー シックモード」のとき(購入時の状態)は、デバイスマネージャの設定が 行えません。「アドバンストモード」 に変更してください。

2


ダチェック!!

「CyberTrio-NX」のモードが「ベー シックモード」の場合は、リソース設 定の変更はできません。「アドバンス トモード」に変更してください。



6

7- l''	リソース」タブをクリック	
	フリンタ ボート (LPT) フリンス 全般 ドライ (リソース) ブリン・・ (LPT1) デバイスの種類: ボート (COM / LPT) 製造元: (標準ボート) パトやコアのパージョン: 情報なし デバイスの状態 このデバイスは正常に動作しています。	? X
	- デバイスの使用 「このパードウェア プロファイルで使用不可(にする)0) ▼ すべてのハードウェア プロファイルで使用する(E)	±w`/t7II.

「リソース」タブのウィンドウが表示されます。

動設定を使う」のチェックを外す
競合はありません。
OK キャンセル

「設定の変更」ボタンが有効になります。

ここで、「リソースの種類」から変更したい「I/Oの範囲」または「割り込み 要求をクリックして、「設定の変更」をクリックすると、リソースの変更が できます。ただし、次のようなメッセージが表示されたデバイスは、リソー スの変更はできません。



ダチェック!!

デバイスによっては、readmeファ イル(「はじめにお読みください」)に 変更方法が記載されていることがあ ります。

このパソコンが使用しているリソース

このパソコンは、次のようにリソースを使用しています(購入時の設定)。

割り込みレベル(IRQ)

IRQ	機能
0	システムタイマ
1	キーボード
2	割り込みコントローラ
3	(空き)
4	シリアルポート(COM1)
5	(空き)
6	フロッピーディスクコントローラ
7	パラレルポート
8	リアルタイムクロック
9	FAXモデムボード/アクセラレータ/ACPI
10	サウンド/USBインターフェイス/SMBus/CardBus
11	(空き)
12	マウス
13	数値データプロセッサ
14	IDEコントローラ(プライマリ)
15	IDEコントローラ(セカンダリ)

ダチェック!

TV モデルの購入時のリソース設定 (割り込みレベルおよびDMAチャネ ル)については、別冊の[®]TVモデルガ イド』をご覧ください。

口参照

TV モデルのリソース設定 『TV モ デルガイド』付録の「このパソコンが 使用しているリソース」

DMA **チャネル**

DMA	機能
#0	(空き)
#1	(空き)
#2	フロッピーディスクコントローラ
#3	(空き)
#4	DMAコントローラ
#5	(空き)
#6	(空き)
#7	(空き)



活用ガイド

後編「活用ガイド」は、ハードウェアの機能の紹介やパソ コンの設定の変更方法などの説明です。少し難しいとこ ろもあるかもしれませんが、よく読んでパソコンを使い こなしてください。



ハードウェアの機能は、自分の好みに合わせて 設定することができます。本機の設定を変更し たいとき、ハードウェアについて詳しく知りた いときなどには、ここをご覧ください。

マウス キーボード ワンタッチスタートボタン ハードディスク CD-RW ドライブ フロッピーディスク ディスプレイ 省電力機能(スタンバイ) サウンド機能 FAX モデムボード

マウス

スクロールボタンを使って画面を上下左 右にスクロールすることができます。「マ ウス プロパティ」ウィンドウでは、ダブ ルクリックの速さの調整、マウスポイン タの形の変更や動きの調整、左ききの方 のためのマウスの設定などができます。

口参照

マウスの使い方について 『練習! パソコンの基本』の「PART1 マウスに慣れよう」

スクロールボタンを使う

スクロールボタンを使うと、画面を上下左右にスク ロールさせたり、画面を拡大縮小させることができま す。

ジチェック!!

スクロールボタンの機能に対応していないアプリケー ションではスクロールボタンは使えません。

画面を上下方向にスクロールする

アプリケーションの上下スクロールバーがある画面を クリックしてアクティブにします。

スクロールボタンを前方に押す。または手前に引く。



前方に押すと画面が上にスクロールし、手前に引くと 画面が下にスクロールします。 スクロールボタンを押しつづけると、画面が連続的に スクロールします。 画面を上下、左右方向にスクロールする

スクロールさせたい画面にマウスポインタを移動す る。

スクロールボタンを真下に押す。



マウスポインタの形が 💽 や 🕄 のように変わりま す。

ジチェック!!

スクロールボタンは、真下に押し込むようにしてくだ さい。スクロールボタンを前後に動かすと、通常の上 下のスクロールになります。

や
 ・
 が表示されたらスクロールしたい方向に
 マウスを動かす。



マウスを動かした方向に画面がスクロールしていきます。

もう一度スクロールボタンを押すと、マウスポインタの形が元に戻ります。

ジチェック!!

 ・アプリケーションによってスクロールできる方向は 異なります。

・
 ・
 が表示されているときは上下にだけスクロール
 することができます。

PART ハードウェア

ズーム機能を使う

ジチェック! アプリケーションによっては、この機能は使えません。

拡大、縮小したい画面にマウスポインタを動かす。

キーボードの【Ctrl】を押したまま、スクロールボタン を前方に押す。または手前に引く。 前方に押すと画面の表示が拡大し、手前に引くと画面 の表示が縮小します。

「マウス プロパティ 」 ウィンドウでの設定

「コントロールパネル」を開く。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」)



この画面は機種によって異なる場合があります。

「マウス」をダブルクリック。



「マウス プロパティ」ウィンドウには、ここで表示されている「ボタン」タブのウィンドウの他に「ポインタ」「動作」タブのウィンドウがあります。タブをクリックすると、そのタブに対応するウィンドウを表示できます。各ウィンドウで行える設定は次の通りです。

「ボタン」タブのウィンドウ

ボタンの選択 マウスのボタンの左右の機能を交換して、右きき用 / 左きき用に設定できます。



状況に応じたメニュー

現在の本機の状況や、ポインタの位置で可能な操作の一 覧が表示されているメニュー。

補助ドラッグ ファイルやフォルダのコピー、ショートカットアイコン の作成などができるドラッグ。

■ ダブルクリックの速度

マウスのボタンを2回続けてクリックするときの、間隔(タイミング)を調整します。「遅く」にすると間隔が長く、「速く」にすると間隔が短くなります。調整したタイミングを「テスト」にあるアイコン(びっくり箱)で確認できます。調整したタイミングでアイコンをダブルクリックすると、箱が開いて中から人形が飛び出してきます。

購入時状態では、遅めに設定されています。

「ポインタ」タブのウィンドウ



このウィンドウでは、マウスポインタの形を選択でき ます。例として、マウスポインタの形を 🗟 から十字の 形に変更してみます。 「通常の選択」が反転表示している状態で「参照」をク リック。

「参照」ウィンドウ(「Cursors」フォルダ)が表示され ます。



「Cross_1」をダブルクリック。

「Cross_1」のアイコンが「ポインタ」タブのウィンド ウに表示されます。

-テサイン(S)			
1.00	名前を付けて保存(型)	百印余(1)	+
通常の選択			+ -
ヘルプの選択			\}?
バックグラウンド	で作業中		2
待ち状態			X
領域選択			+
テキスト選択			т 💵

「OK」をクリック。

マウスポインタの形が十字の形になります。

●チェック!!

マウスポインタを元に戻すには、「既定の設定」をク リックします。

「動作」タブのウィンドウ

マウスプロパティ ? [×] また、「また」あ 新作 [
パラン 1 M 1 2 (1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1
ポインタの軌跡の
())) 「 表示する(2)
超() 型()
「「「「」」 「「」 「「」 「「」 「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「

マウスポインタが移動する速度とマウスポインタの軌 跡表示を設定できます。



 ・文字を入力するキー 英数字やカタカナ、記号などの文字を入力します。下 の図で白くなっている部分のキーです。

・コンピュータに指示を与えるためのキー コンピュータに直接指示を与えるためのキーです。 下の図でグレーの色が付いている部分のキーです。 このキーの働きは、お使いになるアプリケーション によって違います。詳しくは、各アプリケーションの マニュアルをご覧ください。



設定ができます。

1 参照

てみよう」

けられます。

キーの役割

- プリントスクリーンキー / システムリクエストキー
- 18【ScrollLock】: スクロールロックキー
- 19 【Pause/Break】: ポーズ / ブレークキー
- 20 【Insert】: インサートキー
- 21 【Home】: ホームキー
- 22【PageUp】:ページアップキー
- 23【Delete】: デリートキー
- 24 【End】: エンドキー
- 25 【PageDown】: ページダウンキー
- 26【】【】【】】 】: カーソルキー
- 27 【NumLock】: ニューメリックロックキー



28 ニューメリックロックキーランプ
 29 キャップスロックキーランプ
 30 スクロールロックキーランプ
 31 CD/DVD制御ボタン
 32 ワンタッチスタートボタン
 33 【スリープ】: スリープボタン
 34 ガイドラベル
 35 メール着信ランプ

●チェック!!

CD/DVD 制御ボタン、ワンタッチスタートボタン、 メール着信ランプについての詳しい説明は、p.108の 「ワンタッチスタートボタン」をご覧ください。 キーボード裏面

USB コネクタ

USB対応機器を接続するコネクタ。 このコネクタには、添付のマウスをはじめとする USB対応機器が接続できます。

ジチェック!

この USB コネクタには、限られた機器しか接続できません。接続できる機器については、「PART3 USB 対応機器を使う (p.33)をご覧になり、確認してください。



キーのロック

【NumLock】と【CapsLock】がロックされているか いないかでキーの機能は異なります。 ロック状態はそれぞれのキーを押すたびに切り替わり ます。

それぞれのキーがロックされているときにはキーボー ド右上のランプが点灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
【NumLock】	テンキーから数字が入力できます。	テンキーの数字の下に表示されている 機能が使えます。
【CapsLock】	アルファベットが表示されているキー を押すと大文字が入力されます。	アルファベットが表示されているキー を押すと小文字が入力されます。

PART (



アプリケーションキーとWindowsキーはWindows 98 で使用できるキーです。アプリケーションによっ てどのように利用するかは異なりますが、標準で次の ような機能が割り当てられています。

アプリケーションキー(
 アプリケーションキーを押すと、マウスで右クリックしたときと同じ状態になります。

Windows キー(回) Windows キーを押すと、「スタート」メニューが表示 されます。

Windows キーを押しながら次のキーを押すと、次の ような機能を利用することができます。

- 【回】+【R】 「ファイル名を指定して実行」 ウィンドウを表示する
- 【【】+【M】 現在起動しているウィンドウを すべてアイコン化する
- 【Shift】+【回】+【M】【回】+【M】でアイコン化して いるウィンドウを元に戻す
- 【
 囲】+【F1】 Windowsのヘルプを起動する
- 【111] + 【F】 ファイルやフォルダを検索する ウィンドウを表示する
- 【Ctrl】+【111] +【112] +【112] コンピュータを検索するウィン ドウを表示する
- 【
 [
] + 【Tab 】 タスクバーに表示されているボ タンを順番に切り替える

「コントロールパネル」を開く。

(「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」)



この画面は機種によって異なる場合があります。 「キーボード」をダブルクリック。

II. In A star	177 100
キーボード プロパティ	? ×
速度 言語	
文字の入力心	
茶 示までの約54時間(D): 長く」	
AA 表示の間隔(12):	:
このボックス内でキーを押し続けて、文字の入力をテストしてください(T)	
- カーソルの.点滅速度(B)	
1 ³⁰ ¹ ³⁰	:
OK キャンセル デ	â用(G)

「キーボード プロパティ」ウィンドウには、ここで表示されている「速度」タブのウィンドウの他に「言語」 タブのウィンドウがあります。タブをクリックすると、 そのタブに対応するウィンドウを表示できます。各 ウィンドウで行える設定は次の通りです。

「速度」タブのウィンドウ

■ 文字の入力

「表示までの待ち時間」では、キーを押し続けたとき に、入力の繰り返しが始まるまでの時間を調整します。 「表示の間隔」では、キーを押し続けたときに、文字の 入力が繰り返される間隔を調整します。

調整後に、ボックスでテストすることができます。例 えば「A」のキーを押し続けて感じをつかむことがで きます。

購入時の状態では、「表示の間隔」は遅めに設定されています。

■ カーソルの点滅速度

カーソルの点滅する間隔を調整します。

______ 「言語」タブのウィンドウ

キーボードのブロパティ	? ×
速度 言語	
キーボードの言語とレイアウト	
言語(<u>□</u>):	レイアウト(<u>)</u>)
△ 日本語	ATOK13
 〇〇日本語 	Microsoft IME 98
為日本語	VoiceATOK3
追加(D) プロパティ(R)	<u>前期除(M)</u>
既定の言語: ATOK13	既定値として設定(S)
言語の切り替え	
● 左 Alt+Shift キー() ● Ctrl+Shift キー()	2 C なし10
	he had here
OK	キャンセル 道用(6)

●チェック!!

画面は一太郎モデルの場合です。画面はお使いのモデ ルによって異なります。

■ インストールされている言語とレイアウト

言語(日本語入力システム)の選択

よく使う日本語入力システムを一覧から選んで(反転 表示にする)「既定値として設定」をクリックすると、 その日本語入力システムが「既定の言語」の欄に表示 されます。

通常使う日本語入力システムを変更する場合に設定し てください。

言語の追加

新たに言語を追加することができます。 「追加」をクリックすると、「言語の追加」ウィンドウが 表示されます。

言語の追加					×
言語(1):					
アイスランド語					
	_				
		OK	<u></u> ++	ンセル	J

▼をクリックして、追加したい言語を選びます。

語の追加
言語(1):
アイスランド語
1例7篇(272)
1997年間 (長年)
しん キャンセル

キーボードレイアウトの設定

日本語入力システムを一覧から選んで(反転表示にする)、「プロパティ」をクリックすると、日本語入力シス テムの環境を設定するウィンドウが表示されます。 ローマ字/かな入力、入力モード/方式、句読点の種類 などを設定できます。

画面は「Microsoft IME 2000」の場合です。



ジチェック!

画面は使用している日本語入力システムによって異な ります。

- 言語の切り替え 言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選びます。
- タスクバー上に状態を表示 複数のキーボード言語や日本語入力システムがインス トールされているときに、多国語インジケータをタス クバーに表示します。このインジケータをクリックす ると、言語や日本語入力システムを簡単に切り替える ことができるメニューが表示されます。

▲ ATOK13
 ● Microsoft IME 98 日本語入力システム
 ▲ VoiceATOK3
 □ 2 小拾く:

(画面は一太郎モデルの場合です。)



PC-9800**シリーズの キーボードとのキーの違い**

PC-9800シリーズに添付されているキーボードとこ のパソコンのキーボードとのキーの違いは以下のとお りです。

PC-9800シリーズのキーボード	本機のキーボード	備考
【リターン】	[Enter]	
[GRPH]	【Alt】	
[BS]	【BackSpace】	
[STOP]	【Pause】	
[CAPS]	[Shift]+[CapsLock]	大文字
[ROLL UP]	【PageDown】	
[ROLL DOWN]	【PageUp】	
[CTRL]	【Ctrl】	
[DEL]	【Delete】	
[HELP]	【End】	
[ESC]	[Esc]	
[f•1]-[f•10]	[F1]-[F10]	
【vf• 1]-【vf• 2 】	[F11]-[F12]	
[HOME CLR]	【Home】	
[INS]	[Insert]	
[SHIFT]	【Shift】	
[COPY]	【PrintScreen】	
【TAB】	【Tab】	
[XFER]	【変換】	
[NFER]	【無変換】	
[CTRL]+[XFER]	【Alt】+【半角/全角】	日本語入力
【かな】	【Ctrl】+【英数】	

ワンタッチスタート ボタン

このパソコンには、ボタンを押すだけで アプリケーションを起動できる機能があ ります。

各ボタンの名前と役割

ボタンを押すだけでアプリケーションを起動すること ができるボタンを「ワンタッチスタートボタン」とい います。「ワンタッチスタートボタン」はキーボードの 上部に並んでいます。また、「ワンタッチスタートボタ ン」の左側には「CD/DVD制御ボタン」、右側には【ス リープ】ボタンがあります。

1.CD/DVD 制御ボタン

音楽CDやフォトCD、カラオケCD、ビデオCD、DVD VIDEOディスクなどの再生をコントロールしたり音 量の調節ができます。

各ボタンの役割は次の通りです。

【■】:停止	再生をコン
【▶I】: 再生 / 一時停止	トロールで きます。
【 ▶ 】:次のトラック / 早送り 【 ▼ 】:ボリュームダウン	音量を調節
【 ▲ 】: ボリュームアップ	できます。

2. ワンタッチスタートボタン

【メール】ボタン このボタンを押すと、「Outlook Express」が起動 します(ご購入時の状態では、メールボタンのご案 内が表示されます)。 【インターネット】ボタン

このボタンを押すとインターネットエクスプロー ラが起動します(ご購入時の状態では、「インター ネット無料体験」がスタートします)。

【サポートセンタ】ボタン このボタンを押すと、「サポートセンタ」が起動し ます。

【ランチ-NX】ボタン このボタンを押すと、「ランチ-NX」が起動します。 起動している状態で押すと最小化されます。

【ソフト終了】ボタン このボタンを押すと、アクティブになっているソフ トが終了します。 (TVモデルでは【テレビ】ボタン、PureDIVA for NEC が起動します)

3.【スリープ】ボタン

パソコン本体をスタンバイ状態にする、またはスタン バイ状態から復帰させることができます。

4. ガイドラベル

ワンタッチスタートボタンにどんなアプリケーション が割り当てられているかを示すラベルです。アプリ ケーションの割り当てを変えたときなどは新しいラベ ルを作ることもできます。使い方は、「ワンタッチス タートボタンの設定」ユーティリティのヘルプをご覧 ください。

€ チェック!!

- ・CD-RW モデルでは、DVD VIDEO ディスクは再生 できません。
- ・MS-DOSモードで起動した場合やWindows 98の Safeモードなど、Windows 98のキーボードドラ イバが動作しない状態では、CD/DVD制御ボタン、 ワンタッチスタートボタン、【スリープ】ボタンの機 能は使えません。
- ・【インターネット】ボタンと【メール】ボタンは、 「BIGLOBE サインアップナビ」または「BIGLOBE 電話で入会ナビ」を使ってBIGLOBEに入会すると、





それぞれインターネットエクスプローラとOutlook Express が起動するようになります。 それ以外の方法でプロバイダに入会した場合に【イ ンターネット】ボタンと【メール】ボタンでインター ネットエクスプローラとOutlook Express を起動 させるには、ワンタッチスタートボタンの設定が必 要です。

口参照

ワンタッチスタートボタンの設定 🎤 サポートセン タ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い 方」-「ワンタッチスタートボタンの設定」

ハードディスク

ハードディスクの取り扱いかたとドライ ブコンバータの使いかたについて説明し ます。

口参照

ハードディスクを増設する 「PART8 ハードディス クを増設する」(p.75)

概要

ハードディスクは、外部記憶装置のひとつです。正確 に表現すれば、実際に磁気を利用してデータを記録す る円盤(ディスク)と、ディスクを高速に回転させて、 データの読み書きをするヘッドやアーム、モーターな どからなる装置全体を指し、ハードディスク装置とい います。ディスクと磁気ヘッドなどの装置は、密封さ れた容器に収められているために、他の外部記憶装置 のメディアのように、記憶媒体(ディスク)自体を単独 で取り出すことはできません。しかし、ディスクを高 速で回転できるために、フロッピーディスクや光磁気 ディスクなどに比べて、読み書きするスピードは格段 に速くなります。

ハードディスクは外部記憶装置のひとつには違いあり ませんが、CPUやメモリとともに、パソコンの中心的 な存在です。オペレーティングシステム(OS)やアプ リケーションソフトなどは、すべてハードディスクに 格納されます。ハードディスクのドライブ名は通常は 「C」です。

取り扱いの注意

ハードディスクは、たいへん精密な機械です。 取り扱いには、次のことに十分注意してください。

- ・電源が入っているときは、本体に振動や衝撃を加え たり、持ち運んだりしないでください。
- ・電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重 に扱ってください。
- ・電源を切るときは、『まずこれ! 接続と準備』で説明 されている手順に従ってください。Windows 98以 外のOSを使用している場合、キーボードの【Esc】 を押してから電源スイッチを押してください。

- ・温度・湿度条件を守ってください。
- 温度10 ~35 、湿度20%~80%(ただし、結露しないこと)
- ・ゴミやホコリの多い場所での使用・保管は避けてく ださい。

バックアップをこまめにとる

本機に内蔵されているハードディスクは、非常に精密 に作られています。毎分数千回転するディスク面と情 報を読み取る磁気ヘッドの間は、わずかしか空いてい ません。このため、データを読み書きしていることを 示すハードディスクアクセスランプの点灯中には、少 しの衝撃を与えても故障の原因となることがありま す。ハードディスクが故障すると、大切なデータが一 瞬にして消滅してしまい、復帰できない可能性があり ます。二度と同じものを作れないような大切なデータ は、バックアップをこまめにとることをおすすめしま す。

山参照

バックアップ デザサポートセンタ」「パソコンを使 いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」

ドライブコンバータ(FAT32)

「ドライブコンバータ(FAT32)」を使うと、ハード ディスクのファイルシステムをFAT32に変換するこ とができます。

ジチェック!!

- ・本機の購入時の内蔵ハードディスクは、FAT32で フォーマットされています。
- ・現在のファイルシステムの状態は、次の手順で確認 できます。

デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルク リック。

情報を表示したいドライブのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリック。 FAT16の場合は「ファイルシステム:」に「FAT」 と表示され、FAT32の場合は「ファイルシステム:」に「FAT32」

PART]

FAT32 について

FAT(File Allocation Table)16ファイルシステム (以降、FAT16)は、MS-DOSや従来のWindowsで 使用されている基本的なファイルシステムです。 FAT32ファイルシステム(以降、FAT32)はFAT16 を拡張したファイルシステムで、次のような特長があ ります。

- ・従来のFAT16では、2Gバイトの容量を超える領域 を扱えませんでしたが、FAT32では理論上2T(テ ラ)バイト(2,047Gバイト)の容量まで扱えます。
- ・クラスタサイズが FAT16 よりも小さいため、ハー ドディスクをより効率よく使用できます。

\$Fxy0!!

- ・FAT32に対応していないアプリケーションなどは、
 FAT32のハードディスクでは、正しく動作しない
 場合があります。
- ・スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグ など、「システムツール」グループにあるディスク管 理ツールはFAT32に対応しています。ただし、「ド ライブスペース」ではFAT32のドライブを圧縮で きません。
- ・FAT32は、本機にインストールされているWindows 98でのみ使用できます。Windows NT 4.0 では、FAT32のドライブに保存されたデータや ファイルにアクセスできません。
- ・Windows NT 4.0 を利用する場合は、カスタム再 セットアップを利用してフォーマットしてください。

ドライブコンバータ(FAT32)の起動

「ドライブコンバータ(FAT32)」を起動する。 (「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」 「ドライブコンバータ (FAT32)」)

「次へ」をクリック。

変換するドライブを選んで、「次へ」をクリック。

「OK」をクリック。

FAT32に対応していないプログラムの検出が始まり ます。

検出が終わると次のウィンドウが表示されます。



ジチェック!!

このウィンドウで、FAT32 に対応していないプログ ラムが検出された場合は、「キャンセル」をクリックし て、「ドライブコンバータ(FAT32)」を終了させてく ださい。検出されたプログラムを使用する場合は、 FAT32 には変換できません。

「次へ」をクリック。

FAT16に戻す可能性がある場合には、「バックアップの作成」をクリックして、バックアップを作成してください。

「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。 変換が始まります。変換には、時間がかかります。 変換が終わると「変換が完了しました」のメッセージ が表示されます。

「完了」をクリック。

CD-RW **ドライブ**

CD-RW モデルでは、CD-RW ドライブ を使ってCD-R やCD-RW へ大量のデー タを書き込むことができます。

概要

CD-RW ドライブは、CD-R や CD-RW に大量のデー タ(650M バイトまたは 740M バイト)を記録でき る装置です。ハードディスクのように装置本体にデー タを保存するのではなく、CD-R や CD-RW という CD-ROM と同じサイズの持ち運び可能なメディア (記録媒体)にデータを保存します。また、多くの CD-ROM ドライブで読み込むことができるため、CD-ROMドライブのある他のパソコンとのデータの受け 渡しに適しています。

CD-R とCD-RW の特長

CD-RW ドライブでデータを書き込む(記録する)こ とができるメディアには、CD-R(CD-Recordable) とCD-RW(CD-ReWritable)があります。それぞれ、 次のような特長があります。

- ・CD-R(CD-Recordable)
 一度だけデータを書き込むことができる
 CD-ROMドライブで読み込みが可能
 メディアが安価
- ・CD-RW(CD-ReWritable) データを繰り返し書き込むことができる
- データを書き込む際の注意事項
 - ・書き込みに失敗した CD-R は再生できなくなります。書き損じによる CD-R の補償はできませんのでご注意ください。
 - ・データを書き込むときは、書き込み中にスタンバイ 状態にならないように、省電力の設定を「なし」に設 定してください。

口参照

省電力の設定 この PART の「電源の管理のプロパ ティで設定する」(p.129)

- ・作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類 などにより、他のCD-ROMドライブ、CD-Rドライ ブ、CD-RWドライブでは使用できない場合があり ますのでご注意ください。
- ・お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオ CDなどからのコピーの作成およびそのための著作 権を所有していなかったり、著作権の所有者からの コピーの許可を得ていない場合は、使用許諾条件ま たは著作権法に違反する場合があります。コピーの 際は、オリジナルのCDの使用許諾条件、複製に関す る注意事項に従ってください。

他の C D - R O M ドライブでメディアを読み込むとき の注意事項

CD-RW ドライブでデータを記録したメディアを、他 のCD-ROM ドライブで読み込めるようにするには次 の点に注意してください。

- ・CD-Rの場合: ISO9660フォーマットに変更する ことによって、他のCD-ROMドライプで読み込む ことができます。
- ・CD-RWの場合:CD-RWは、光の反射率が弱いため、 お使いの CD-ROM ドライブによっては読み込めない場合があります。マルチリード対応の CD-ROM ドライブであれば読み込むことができます。マルチ リード対応の CD-ROM ドライブについては、各 メーカにお問い合わせください。

口参照

CD-RをCD-ROM ドライブで読めるようにするには この PART の「CD-R を他の CD-ROM ドライブで 読み込めるようにする」(p.114),「Easy CD Creator」または「DirectCD」のヘルプ

CD-RW やCD-R に書き込む

CD-RW や CD-R にデータを書き込むためには、専用 のアプリケーション(ライティングソフト)が必要で す。このパソコンには、次の二種類のライティングソ フトが用意されています。それぞれに特徴があります ので、目的に応じて適した方をお使いください。

- DirectCD
 - ・フロッピーディスクに保存するように、マイコン ピュータやエクスプローラ、アプリケーションなど からデータを直接書き込める
 - ・書き込む前に、メディアをDirectCD専用にフォー マットする必要がある

PART ハードウェア

- ・作成したCDを他のパソコンで読み込むには、
 DirectCDでの処理が必要
- ・いろいろなデータを頻繁に書き込むのに適している
- Easy CD Creator
 - ・データを書き込むときに、Easy CD Creator を起 動させる必要がある
 - ・いろいろな形式のCDをガイドに沿って簡単に作成 できる
 - ・作成したCDを他のパソコンでそのまま読み込むこ とができる
 - ・大きなデータをまとめて書き込むのに適している

なお、Easy CD Creator はご購入時にはインストー ルされていません。「アプリケーション CD-ROM」を 使って、パソコンにインストールしてください。

口参照

インストール方法 ジャポートセンタ」「困ったときのQ&A」-「アプリケーションの追加と削除」-「Easy CD Creator」

DirectCD を使う

DirectCDでは、フロッピーディスクに記録するよう にマイコンピュータやエクスプローラなどからメディ アにデータを直接書き込むことができます。

メディアをフォーマットする

DirectCDを使ってデータを書き込むには、メディアをDirectCD用にフォーマットする必要があります。

€ チェック!

Easy CD Creatorですでにデータを書き込んだCD-Rは、DirectCD用にフォーマットすることはできま せん。

未使用の CD-R または CD-RW を CD-RW ドライブ にセットする。 「DirectCD」を起動する。

 (「スタート」ボタン 「プログラム」 「Adaptec DirectCD」 「DirectCD ウィザード」)
 「Adaptec DirectCD ウィザード」ウィンドウが表示 されます。



「次へ」をクリック。 「レコーダ情報」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。 「CDのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。 「CD名を付ける」ウィンドウが表示されます。

必要なら CD 名を入力し、「完了」をクリック。 メディアのフォーマットが始まります。フォーマット が終了すると、「CDの準備ができました」と表示され ます。

「OK」をクリック。 これで、このメディアはDirectCDで利用できるよう になりました。

データを書き込む

DirectCD 用にフォーマットした CD-R または CD-RWを CD-RW ドライブにセットする。 「CD の準備ができました」と表示されます。すでに CD-RWドライブにメディアが入っている場合はこの メッセージは表示されません。

「OK」をクリック。 あとはフロッピーディスクにデータを記録するよう に、マイコンピュータやエクスプローラなどから直接 データをメディアに書き込むことができます。

メディアを取り出す

メディアを取り出すときは次の操作をして下さい。

CD-RW ドライブのイジェクトボタンを押す。 「CDの取り出し」ウィンドウが表示されます。 「完了」をクリック。

しばらくすると「CD は取り出されました」と表示され、CD-RW ドライブからメディアが排出されます。

口参照

メディアが取り出せないときは 『困ったときの Q&A』PART1の「CD-ROM などのメディアが取り 出せない」

メディアを取り出した後、「OK」をクリック。

CD-R を他のCD-ROM ドライブで読み込めるよう にする

DirectCD でデータを記録した CD-R を他の CD-ROM ドライプで読み込めるようにするには、次の手 順にしたがってください。

\$Fxy0!!

CD-RWはISO9660フォーマットに対応していない ため、この手順を行うことはできません。CD-RWを 読み込むには、マルチリード対応の CD-ROM ドライ ブが必要です。

CD-RW ドライブのイジェクトボタンを押して「CD の取り出し」ウィンドウを表示する。

「CD-ROM ドライブで読み込めるように CD を構成 します」の をクリックして、 (イン)にする。 必要なら、「再び書き込みができないように、 CD を書 き込みます」のチェックボックスを (イン)にしてく ださい。

「メディアを取り出す」の手順 にしたがってメディア を排出した後、「OK」をクリック。 これで、このCD-RはCD-ROMドライブで読み込め るようになりました。

€チェック!!

ー度この操作をしたメディアは、手順 で「再び書き 込みができないように、CDを書き込みます」の チェックボックスを (オフ)にしていれば再び書き 込むことができます。再び書き込むには、CD-RWド ライブにメディアをセットしてから、タスクトレイの 会右クリックして表示されるメニューから「書き 込み可能にする」をクリックして、画面の指示に従っ てください。

Easy CD Creator を使う

・Easy CD Creator はご購入時にはインストールさ れていません。「アプリケーション CD-ROM」を 使ってパソコンにインストールしてください。

口参照

インストール方法 『ゲートセンタ」「困ったときのQ&A」-「アプリケーションの追加と削除」-「Easy CD Creator」

- ・データを書き込むためにはEasy CD Creatorを起動する必要があります。マイコンピュータやエクスプローラから直接書き込むことはできません。
- ・Easy CD Creatorでデータをメディアに書き込む 前に、他のアプリケーションを終了し、スクリーン セーバーや常駐プログラムを解除することをおすす めします。データの書き込み中に他のアプリケー ションが起動していると、書き込みエラー(バッファ アンダーラン)が起こり、メディアへのデータの転送 が中断されて正しく書き込まれないことがあります。 なお、DirectCDでデータを書き込むときには、バッ ファアンダーランは起こりません。

データを書き込む

ここでは、例として「マイドキュメント」フォルダの データをCD-RまたはCD-RWへ書き込む方法を説明 します。詳しくは、「Easy CD Creator」のヘルプを ご覧ください。

●チェック!!

DirectCD でフォーマットした CD-R は、Easy CD Creator でデータを書き込むことはできません。

CD-RまたはCD-RWをCD-RWドライブにセットする。

「Easy CD Creator」を起動する。

(「スタート」ボタン 「プログラム」 「Adaptec Easy CD Creator 4」 「Features」 「Easy CD Creator」)

「Easy CD Creator」ウィンドウが表示されます。上 段にはWindowsエクスプローラ、下段にはメディア の内容が表示されます。

PART]



「Windows エクスプローラ」の「マイドキュメント」 フォルダをクリックして書き込みたいファイルやフォ ルダを画面右上に表示させる。



書き込みたいデータを選択して下段へドラッグ。



「CD作成セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。 メディアにデータが書き込まれます。 データの書き込みが終わると「CD作成が成功しまし た。」と表示されます。

「OK」をクリック。 「CD 作成セットアップ」ウィンドウが閉じます。 CD-RW ドライブのイジェクトボタンを押して、メ ディアを取り出す。

口参照

メディアが取り出せないときは 『困ったときの Q&A』PART1の「CD-ROM などのメディアが取り 出せない」

フロッピーディスク

使用できるフロッピーディスクの種類、 バックアップのとりかた、Windows 起 動ディスクの作成方法などについて説明し ます。

使用できるフロッピーディスク の種類

本機では、以下のようなフロッピーディスクを使用で きます。

カノゴ	フォーマット(容量) 1			
917	1.44MB	1.2MB	720KB	640KB
2HD		2	×	×
2DD	×	×		×

- 1:MS-DOSまたはWindowsでフォーマットされたもの が使えます。
- 2:読み書きはできますが、1.2Mバイトでのフォーマット はできません。また、ディスクのコピーもできません。

フロッピーディスクの バックアップ

フロッピーディスクは非常にデリケートです。ホコリ が入ってしまったり、折れてしまったりなど、何らか の事故によって、保存しているデータが壊れてしまう ことがあります。万一に備えて、大切なデータは、定期 的にバックアップをとることをおすすめします。

バックアップをとりたいフロッピーディスク(コピー 元)をフロッピーディスクドライブにセットする。

ジチェック!!

・誤って、データを消さないように、コピー元のフロッピーディスクには、あらかじめライトプロテクトしておくことをおすすめします。

 ・コピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフ ロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされた フロッピーディスクを使用してください(これは、 「MS-DOS プロンプト」の DISKCOPY コマンドで も同じです)。

口参照

ライトプロテクトについて ダ「サポートセンタ」 「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「フロッ ピーディスク」

「マイコンピュータ」をダブルクリック。

「3.5 インチ FD」をクリック。



「ファイル」をクリック。



「ディスクのコピー」をクリック。



PART]

「開始」をクリック。

?×
コピー先(①:
🛃 3.5 インチ FD (A:)
開始(5) キャンセル

しばらくして次の画面が表示されます。

ディスクのコ	ንሮ~	X
ţ	コピー先のディスクを入れて、[OK] をクリックしてくださ	() 。
	<u> のK</u> キャンセル	

コピー元のフロッピーディスクをフロッピーディスク ドライブから取り出して、コピー先のフロッピーディ スクをセットする。

「OK」をクリック。 ディスクのコピーが再開します。

ጫ ディスクወ⊐ピー	? ×
コピー元(<u>E)</u> :	コピー先(1):
<u>⊸</u> 35 インチ FD (A)	- <mark>35 インチ FD (A)</mark>
コピー先のディスクに書き込んでいます。	,
	開始(S) (キャンセル

コピーが終了すると次の画面が表示されます。

ً‰ ティスクወ⊐ピー	?×
コピー元(E): (1)35 インチ FD (A)	コピー先(①): (学)35 インチ FD (A)
」 コピーが正常に完了しました。	開始(S) [

「閉じる」をクリック。

ディスクのコピーが終了し、バックアップが作成され ました。

Windows 98 起動ディスク

ハードディスクやWindows 98のシステムに大きな 障害を受けると、本機の電源を入れてもWindows 98が起動しなくなってしまうことがあります。この ような場合には、「Windows 98起動ディスク」を使 うと、フロッピーディスクからWindows 98のシス テムを起動させることができます。万一、システムが 起動しなくなったときのために、Windows 起動ディ スクを作成することをおすすめします。

Windows 98 起動ディスクの作成

フロッピーディスクを2枚用意して、「Windows 98 起動ディスク 1」Windows 98 起動ディスク 2」と 書いたラベルを貼っておいてください。未フォーマッ トのものでもかまいません。

コントロールパネルを開く。

(「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネ ル」)



この画面は機種によって異なる場合があります。

「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック。



「起動ディスク」をクリック。



「ディスクの作成」をクリック。 起動ディスク作成の準備が始まり、すぐに次のメッ セージが表示されます。



「Windows 98 起動ディスク 1」をフロッピーディ スクドライブにセットして、「OK」をクリック。 起動ディスクの作成が始まります。 しばらくすると、次のメッセージが表示されます。



「Windows 98 起動ディスク 2」をセットして、 「OK」をクリック。 再び、起動ディスクの作成が始まります。

終了すると、「アプリケーションの追加と削除 プロパ ティ」ウィンドウに戻ります。

「OK」をクリック。 Windows 98 起動ディスクの作成が完了しました。 Windows 98 起動ディスクから本機を起動する

作成した「Windows 98 起動ディスク」を使って、起動します。

本機の電源を入れる。

すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows 98 起動ディスク 1」をセットする。 「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示 されます。

CD-ROM ドライブを使う場合は「1」を、使わない場 合は「2」を選んで、【Enter】を押す。 しばらくすると、「キーボードのタイプを判定します」 と表示されます。

【半角 / 全角】を押す。

「106キーボードが選択されました」と表示されます。 しばらくすると、「Windows 98 起動ディスク 2を 挿入してください .続けるにはどれかキーを押してく ださい」と表示されます。

フロッピーディスクドライブから、「Windows 98 起 動ディスク 1」を取り出し、「Windows 98 起動ディ スク 2」をセットして、何かキー(【Enter】など)を押 す。

しばらくするとコマンドプロンプト(「A:¥>_」)が表 示されます。

これで、Windows 98 起動ディスクからの起動が完 了しました。

再びハードディスクから起動したい場合は、フロッ ピーディスクドライブからWindows 98起動ディス クを取り出して、電源を入れなおしてください。

Windows 98 起動ディスクのコマンドツール

Windows 98起動ディスクで起動した場合にこれらのコマンドを使用できます。

edit	テキストファイルを編集します。
fdisk	ハードディスクの領域を確保します。
format	ディスクを初期化します。
scandisk	ディスクのエラーを検査し、修復します。
sys	起動用のシステムをドライブへ転送します。

Windows 98 のシステムに障害がある場合は、キー ボードから「scandisk」と入力してハードディスクの エラーを修復してください。

PART N-Forr

ディスプレイ

本機には、ウィンドウアクセラレータ機 能が標準で搭載されています。お使いの 用途に応じた解像度や、表示色に切り替 えて使用できます。

概要

解像度

ディスプレイでは文字やグラフィックを、小さな点 (ドット)の集まりで画面に表示しています。ディスプ レイの解像度とは、ディスプレイの画面上での文字や グラフィックを表現するときの、緻密さの度合いのこ とです。例えば、1,024 × 768 ドットというのは、 ディスプレイの横(水平)方向に1,024 個のドット (点)、縦(垂直)方向に768 個のドットで表示できる ことを示しています。ドット数が増えるほど、精細な 表示ができるようになります。

ー度に表示できるドット数を増やすことを「高解像度 にする」と表現します。高解像度にすると、緻密な画像 を表現できます。また、同じアプリケーションでも、高 解像度時には、より広い範囲を表示することができま す。ただし、解像度が高くなるにつれて、画面に表示さ れる文字は小さくなっていきます。画面の文字が読み にくくなるときには、解像度を下げるようにしてくだ さい。



表示色

ディスプレイの個々のドットを、何種類の色で表現で きるかを示す尺度を表示色といいます。本機では通常、 次の表示色が表示できます。

・16,777,216 色(1,677 万色)*

- 65,536色(6万5千色)
- 256色
- · 16色
- * 15型(広視野角)液晶ディスプレイ以外の液晶 ディスプレイの場合は、ディザリングにより 1,611万色となります。

また、6万5千色で表示することを、「High Color(八 イカラー)表示」、1,677万色で表示することを 「True Color(トゥルーカラー)表示」あるいは、「Full Color(フルカラー)表示」と呼ぶこともあります。

走查周波数

CRTディスプレイでは、電子ビームを管面の蛍光体に 当てて発光させ、文字やグラフィックを表示していま す。電子ビームが蛍光体に当たると、発光するのは一 瞬ですが、短時間(例えば1秒間)に何度も同じ点が発 光すると、残像効果により文字あるいはグラフィック として認識できるのです。

このとき、電子ビームが画面の左端から右端へ移動す ることを水平走査、画面の上端から下端へ移動するこ とを垂直走査といい、1秒間に走査する回数をそれぞ れ水平走査周波数、垂直走査周波数と呼びます。 液晶ディスプレイには、液晶の画素1つ1つに電極が あります。液晶ディスプレイは、この画素に電圧を加 えると、光の反射率や透過率が変化する性質を利用し て文字やグラフィックを表示しています。

画素1つ1つの電極に順次信号を与えることで、電極 のスイッチをしていき、これによって走査をしていま す。

本機にセットのディスプレイを使う場合

本機とセットのディスプレイは、標準で次の解像度と 表示色、走査周波数を表示できます。

					:表示可	×:表示不可
解像度 (ドット)	表示色	垂直走査 周 波 数 (Hz)	15型 CRTディスプレイ (DV15A3)	17型 CRTディスブレイ (DV17D1)	17型 CRTディスプレイ (DV17D2)	液晶 ディスプレイ
640	16色	60				*3 *4
×	256色 High Color ^{*1}	75				×
480	True Color ^{*2}	85				×
800	256色	60				*3 *4
×	High Color ^{*1}	75				×
600	600 True Color ^{*2}	85				×
1,024	256色	60				*4
×	High Color ^{*1}	75				×
768	True Color ^{*2}	85				×
1,280 ×	256色 High Color ^{*1}	60	×			×
1,024	True Color ^{*2}	75	×		×	×

* 1: High Color は 6 万 5 千色です。

- * 2: True Color は、1,677 万色です。15型(広視野角) 液晶ディスプレイ以外の液晶ディスプレイの場合は ディザリングにより1,611 万色になります。
- *3:拡大表示となります。拡大表示では、文字や線の太さが 不均一になったりぼやけた感じになることがあります。
- * 4 : 液晶ディスプレイでは、リフレッシュレートは常に 60Hz になります。

上記以外の解像度、走査周波数ではディスプレイによって は、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ側の微調 整が必要な場合もありますので、上記の解像度の中から選 択することをお勧めします。

■ リフレッシュレートの切り替えについての注意

リフレッシュレートの既定値は、本体とディスプレイ の組み合わせで最も適した値に設定されています。 この設定は「画面 プロパティ」で変更できる場合があ りますが、ディスプレイがサポートしていないリフ レッシュレートを選択すると表示が乱れたり、画面が 正しく表示されない場合があります。変更するときは 注意してください。

別売のディスプレイを使う場合

本機には、別売のディスプレイを接続することもでき ます。本機の表示機能は次の通りです。

解像度

- 640 × 480 ドット 800 × 600 ドット 1,024 × 768 ドット * 1,280 × 1,024 ドット
- *:購入時の設定

表示色数

- 16色
- 256色
- 65,536色*
- 1,677万色
- 表示できる色数は、各解像度によって異なります。
- * : 購入時の設定

走查周波数

水平走查周波数(31.5~80.0KHz) 垂直走查周波数(60~85Hz)

使用できる周波数は、各解像度、表示色数によって異な ります。別売のディスプレイを使用する場合は、左の表 を参考に対応した周波数を選んでください。

ジチェック!!

別売のディスプレイを使用する場合は、上記の条件を 満たしていることを確認してください。 ディスプレイによっては、特定の表示ができなかった り、ディスプレイ側の微調整が必要な場合もあります。 また、次の別売ディスプレイは使用できません。

• PC-KM212 • PC-KM174

€ チェック!!

液晶ディスプレイセットモデルの場合、液晶ディスプ レイのほかに別売のディスプレイをアナログRGBコ ネクタに接続できますが、「マルチモニタサポート機 能」は使えません。 解像度と表示色の変更

必要に応じて解像度や表示色を変更できます。

ジチェック!!

「画面 プロパティ」の画面は機種によって異なります が、基本的な操作は同じです。

解像度と表示色を変更する

コントロールパネルを開く。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネ ル」または「ランチ-NX」「ユーティリティ」「画 面の設定」の後、手順 へ進む)



画面は機種によって異なる場合があります。 「画面」をダブルクリック。



画面は機種によって異なる場合があります。

「設定」タブをクリック。



解像度を変更する。

「画面の領域」のつまみを「大」の方向にドラッグして ずらすと、高解像度になります。低解像度に設定する 場合は、つまみを「小」の方向へドラッグしてずらしま す。設定できる解像度は、本体やディスプレイの表示 機能によって変わります。

PART ハードウェア

「色」の 🔻 をクリック。



表示色を選ぶ。

(例「True Color(24 ビット)」を選ぶ)

「OK」をクリック。



「新しい色の設定でコンピュータを再起動する」を選ん で「OK」をクリック。 本機が再起動し、設定が変更されます。

解像度と表示色を変更する (簡易解像度切り替え機能)

解像度と表示色は、タスクバーから簡単に切り替える ことができま<u>す。</u>

タスクバーの影をクリック。

640×480 256 色
720×480 256 色
720×576 256 色
800×600 256 色
1024×768 256 色
1152×864 256 色
1280×1024 256 色
640x480 High Color (16 분%ト)
720x480 High Color (16 ビット)
720x576 High Color (16 ビット)
800x600 High Color (16 ビット)
・1024×768 High Color (16 ビット)
1152x864 High Color (16 ビット)
1280×1024 High Color (16 분ット)
640x480 True Color (24 ピット)
720x480 True Color (24 ビット)
720x576 True Color (24 ビット)
800x600 True Color (24 ビット)
1024x768 True Color (24 분%ト)
1152x864 True Color (24 ビット)
1280×1024 True Color (24 분ット)
ディスナレイ ナロパティの理整(A)

画面は機種によって異なる場合があります。

■にマウスポインタを当てると、現在の設定を表示できます。

1024x768 High Color (16 ビット)

変更したい解像度と表示色の組み合わせを選んでク リック。

次のメッセージが表示された場合は、手順 、 を 行ってください。

互換性の警告	×
コンピュータをここで再起動しないと、選択された設定が原因でプログラムが正常 動作しないことがあります。	162
次のどちらかを選んでください。	
○ 新しい設定でコンピュータを再起動する(B)	
 再起動しないで設定を適用する(A) 	
OK キャンセル	
□ 今後、このメッセージを表示しない(型)	

「再起動しないで設定を適用する」を選んで「OK」を クリック。 設定が変更されます。

「スタート」ボタン 「Windowsの終了」 「再起動 する」を選んで、「OK」をクリック。 本機が再起動し、設定が適用されます。

解像度と表示色を変更するときの注意

・表示色数を変更した後に、本機を再起動しなかった 場合、画面が正しく表示されないことがあります。ま た、アプリケーションソフトによっては、色が正常に 表示されないことがあります。 その場合は、Windowsを再起動してください。 ・解像度や表示色数を変更した場合には、画面位置が ずれることがあります。そのときは、ディスプレイの 画面位置を調整してください。画面位置の調整方法 は、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

ディスプレイの 省電力機能について

本機に、省電力機能を持つディスプレイを接続してい る場合、ディスプレイの省電力機能を使うことができ ます。ディスプレイセットモデルのディスプレイは、 省電力機能に対応しています。

ディスプレイの省電力機能は、Windows上で設定し ます。コントロールパネルで設定した時間内に、まっ たく操作をしなかった場合、ディスプレイの画面を暗 くして、消費電力を節約します。

ディスプレイの省電力機能を使う

「コントロールパネル」を開く。

(「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネ ル」)



画面は機種によって異なる場合があります。

「電源の管理」をダブルクリック。



このウィンドウで、次の設定を行います。



・モニタの電源を切る

時間を設定すると、設定時間経過後にディスプレイ の省電力機能が働き、画面を暗くします(セットの ディスプレイの場合、ディスプレイの電源ランプが オレンジ色に点灯します)。再度、ディスプレイの画 面を表示させる場合は、キーボードのキーを押すか、 マウスを軽く動かしてください。

購入時の状態では「なし」に設定されています。

€ チェック!

システムスタンバイを設定した場合も、ディスプレイの画面は暗くなります。

設定が終了したら、「OK」をクリック。 ディスプレイの省電力機能が設定されました。

ジチェック!!

ディスプレイ省電力機能が働くと、画面が消えますが、 本体の電源が切れている状態と間違わないようにして ください。

別売のディスプレイでディスプレイの省電力機能を使 用する場合の注意

別売のディスプレイで、ディスプレイの省電力機能を 使って画面が暗くなった場合、再度画面を表示させる 方法については、ディスプレイのマニュアルをご覧く ださい。

ディスプレイに合わせて 設定する

別売のディスプレイを使用する場合は、ディスプレイ に合わせて、本体の設定を変更する必要があります。 本体が、ディスプレイに合わせて正しく設定されてい ないと、ディスプレイに何も表示されないことがあり ます。また、設定できるはずの解像度が設定できない こともあります。

別売のディスプレイを使用するときの注意

プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合は、必ず、次の手順を行ってください。

プラグ&プレイに対応しているディスプレイの場合 は、起動時にモニタを検出したことを示すメッセージ が表示されます。このメッセージで、ディスプレイが 検出されたことが確認できた場合は、この手順は必要 ありません。 詳しくは、ディスプレイに添付されているマニュアル をご覧ください。

ただし、プラグ&プレイに対応しているディスプレイ であっても、そのディスプレイで表示できるはずの高 解像度が、この項の「解像度と表示色の変更」の手順で 設定できない場合があります。その場合は、「サポート センタ」の「困ったときのQ&A」-「トラブル解決 Q&A」-「画面」をご覧の上、ディスプレイの設定をや り直してください。

ディスプレイが本体に正しく接続されていることを確 認する。

Windows 起動後に、「コントロールパネル」を開く。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネ ル」または「ランチ-NX」「ユーティリティ」「画 面の設定」の後、手順 に進む)



この画面は機種によって異なる場合があります。

「画面」をダブルクリック。



「設定」タブをクリック。



「詳細」をクリック。

Intel(R) 810e Chipset Graphics Driver(NEC)のプロパティ	? ×
全般 アダプタ モニタ パフォーマンス 色の管理 創 カテー 創 バージョン	
「ディスプレイーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	_
フォント サイズ(E):	
<u>→</u>	
通常のサイズ (96 dpi)	
万換性	
●の設定を変更後、コンピュータを再起動しないと、正しく動作しないプログラムがあります。	
次のオブションを選択してください:	
○ 新しい色の設定を適用する前にコンピュータを再起動する(B)	
○ 再起動しないで新しい色の設定を適用する(A)	
● 新しい色の設定を適用する前に確認のメリセーンを設示する(型)	
OK キャンセル 道用	(<u>6</u>)

「モニタ」タブをクリック。



画面は、機種により異なる場合があります。

「変更」をクリック。



「次へ」をクリック。



「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、 インストールするドライバを選択する」をクリック。

マイス ドライバの更新ウィザード	
	検索方法を選択してください。
a l	○ 現在使用しているドライバはわさらに適したドライバを検索す る(推奨)
	○ 特定の場所にあるすべてのドライバシの一覧を作成し、インス トールするドライバを変更する
*	
	< 戻る(B) 次へ > キャンセル

「次へ」をクリック。

デバイスド	ライバの更新ウィザード				
Ē	ハードウェアの製造売とモデルを選択して(ださい。ディスクに更新されたドライバがある場合 は、「ディスクの使用」をクリックします。更新されたドライバをインストールするには、じたべ」をク リックしてください。				
モデル(D):				
NEC D	/1501 (11-18-1997)				
 ● 互換 ○ すべて 	性のあるハードウェアを表示(<u>C</u>) このハードウェアを表示(<u>A</u>)		[ディスク使用(出)	
		〈戻る(B)	()))))))))))))))))))))))))))))))))))))	キャンセル	



「すべてのハードウェアを表示」をクリック。

デバイス ドライバの更新ウィザード						
ハードウェアの教は造元とモデルを選択してください。ティスクは運動されたドライバがある場合 は、Fィスクの使用しを分らのします。更新されたドライバをインストールするには、D大く1をク リックしてください。						
製造元(<u>M</u>): モデル(<u>D</u>):						
Mittability Menatorial Mechanics, Boc NEG OVLEAN Not Service A Mandenics, Boc NEG DV1610 NEG DV1701 MANDO NEG DV1701 NEG DV1701 NAMAD NEG DV1701 NEG DV1701 NAMAD NEG DV1701 NEG DV1701						
< 戻る(B) 次へ > キャンセル						

ディスプレイのドライバファイルが見つかった場合 は、「このデバイス用に選択したドライバをインストー ルする準備ができました。」と表示され、ドライバのあ る場所が表示されます。

「製造元」と「モデル」を一覧から選ぶ。

ディスプレイ一覧に接続したディスプレイの種類が表示されない場合は、「製造元」の欄で「(標準モニタの種類)」を選び、「モデル」の欄で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選んでください。

デバイスドライルの夏時ウィザード □ □ ハードウェアの制造方とモデルを選択してだだい。ディスケに夏新されたドライバ防後を場合 は、FFズの防衛用を知っります。夏新されたドライバをインストールするはは、じたべ」をう リッラしてでだくい。
Rithで化ダ
〈戻る(8) 次へ〉 キャンセル

「次へ」をクリック。



「次へ」をクリック。

ディスクを用意するようなメッセージが表示された場 合は、メッセージに従って操作してください。



「完了」をクリック。 「モニタ」タブのウィンドウに戻ります。

「閉じる」をクリック。

「OK」をクリック。

Windowsを再起動するようにというメッセージが表示された場合は、ほかのアプリケーションが終了していることを確認して、「はい」をクリックしてください。

省電力機能 (スタンバイ)

本機を使っていないときに、電源を切ら なくても電力の消費を節約できる省電力 機能(スタンバイ)について説明します。

概要

本機を使っていないときには、本機の電源を切ってお くと、電力の節約になります。しかし、電源を切るに は、作業中の状態を終了(アプリケーションを終了し たり)して、Windowsを終了する必要がありますの で、少しの間だけ本機を使わない場合には、つい電源 を入れっぱなしにしがちです。

しかし、本機には、電源が入ったままでも電力消費を 抑える機能があります。これを省電力機能(スタンバ イ)といいます。この機能を使うと、本体は電源が入っ たままでも、ファンを止めたり、ディスプレイの画面 を暗くしたり、ハードディスクの電源を切ったりして、 電力消費を抑えることができます。

このようにして電力消費を抑えている状態を「スタン バイ状態」と呼びます。スタンバイ状態のときは、作業 していた内容は保持(記憶)されているので、もとの状 態に復帰させると、すぐに作業が再開できます。

\$Fxy0!!

- ・プリンタやスピーカなどの周辺機器や、通信回線な どは自動的に切れないので、注意してください。
- ・ファンは使用環境、温度などによっては、スタンバイ 状態になっていても、回転することがあります。
- ・アプリケーションによっては、省電力機能のことを 「サスペンド」という呼び方をしている場合がありま す。これは、スタンバイ状態にすることと同じ意味で すので、サスペンドをスタンバイに読みかえてくだ さい。また、アプリケーションによっては、スタンバ イ状態から、もとの状態に復帰することを「レジュー ム」と呼んでいる場合があります。
- ・ご使用になる周辺機器によっては、省電力機能を使 用できない場合があります。

電源の状態

本機の電源の状態について説明します。

- ・電源が入っている状態 通常、本機を使っている状態です。
- ・電源が切れている状態 Windowsを終了したり、電源スイッチを押したり して、本機の使用を終了している状態です。

・スタンバイ状態

さまざまな省電力機能ファンを止める、ディスプレイの表示を消す、ハードディスクの電源を切るなど) により、消費電力が抑えられている状態です。本体の 電源は入ったままですが、消費電力は、節約されています。

スタンバイ状態にする前の状態へ、すぐに復帰する ことができます。

■ スタンバイ状態での本機

スタンバイ状態になると、本機は次のようになります。

	本体	ディスプレイ		
	電源ランプ	表示	電源ランプ	
電源ON	緑色に点灯	表示される	緑色に点灯	
スタンバイ	オレンジ色に点灯	表示されない	オレンジ色に点灯	

別売のディスプレイの場合は、異なることがあります。

スタンバイ状態にする

スタンバイ状態にするには、次の4つの方法がありま す。

- ・キーボードの【スリープ】ボタンを押してスタンバイ状態にする
- 一定時間後に自動的にスタンバイ状態にする
- ・Windows 98 終了時にスタンバイ状態にする
- ・タイマー機能で指定した時間に自動的にスタンバイ 状態にする

PART (

キーボードの【スリープ】 ボタンを使ってスタンパイ 状態にする

キーボードの【スリープ】ボタンを押す。 スタンバイ状態になります。



一定時間後に自動的にスタンバイ状態にする

「コントロールパネル」の「電源の管理」で時間を設定 しておくと、マウスやキーボードからの入力および ハードディスクへのアクセスがなく、一定の時間が経 つと、自動的にスタンバイ状態になります。購入時に は、約20分間で自動的にスタンバイ状態になるように 設定されています。 設定についてはこの項の「電源の管理のプロパティで設定

設定についてはこの頃の、電源の管理のフロハティで設定 する」をご覧ください。

Windows 98 終了時にスタンバイ状態にする

「Windowsの終了」ウィンドウで、スタンバイ状態に する手順です。

「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック。 「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。



「スタンバイ」をクリック。



「OK」をクリック。 スタンバイ状態になります。 タイマー機能で指定した時間に自動的にスタンパイ状 態にする

「Timer-NX」のタイマー機能を使うと、指定した時間 にスタンバイ状態にすることができます。

口参照

「Timer-NX」 🌮 サポートセンタ」「パソコンを使 いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「Timer-NX」

スタンバイ状態から電源が 入っている状態に復帰する

スタンバイ状態から電源が入っている状態に復帰する には、次の5つの方法があります。

・キーボードの【スリープ】ボタンを使って復帰する
 (電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき)

・マウスやキーボードを操作して復帰する

- 「Timer-NX」のタイマー機能で指定した時間に自動
 的に復帰する
- ・電話やFAXを受信したときに自動的に復帰する(リング機能)
- ・タスク スケジューラで指定した時間に自動的に復帰 する

キーボードの【スリープ】ボタンを使って復帰する

本体の電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき に、キーボードの【スリープ】ボタンを押す。

マウスやキーボードを操作して復帰する

スタンバイ状態のときに、マウスを動かすか、キー ボードのキーをどれか押す。

タイマー機能で指定した時間に自動的に復帰する

「Timer-NX」のタイマー機能を使って、指定した時刻 に、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

□□参照

タイマー機能 デザサポートセンタ」「添付ソフトの 使い方」-「Timer-NX」

電話や FAX を受信したときに自動的に復帰する (リング機能)

電話やFAXを受信すると、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

■ Timer-NX で設定

「Timer-NX」のリング機能を使用して、電話やFAXを 受信したときに、自動的に電源が入っている状態に復 帰します。

口参照

「Timer-NX」 グサポートセンタ」「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「Timer-NX」

タスク スケジューラで指定した時間に自動的に復帰 する

タスク スケジューラ(「マイコンピュータ」-「タス ク」)を使うと、指定した時刻に自動的に電源が入って いる状態に復帰し、指定したアプリケーションを起動 することができます。

口参照

タスク スケジューラの使い方 Windows 98のヘ ルプ
PART ハードウェア

電源の管理のプロパティ<u>で</u> 設定する

「電源の管理 プロパティ」では、省電力の設定ができます。

「電源の管理 プロパティ」ウィンドウの表示方法

「コントロールパネル」を起動する。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」)



この画面は機種によって異なる場合があります。

「電源の管理」をダブルクリック。

「電源の管理 プロパティ」ウィンドウが表示されます。

電源の管理 ブロパティ	? ×
電源設定 詳細	
で源設定は、あらかじま ビュータの使い方に最も	設定された電源オプションをまとめたものです。コン 重切な電源設定を増択してください。
電源設定(0)	
ホーム/オフィス デスク	
	名前を付けて保存(S) 削除(D)
ホーム/オフィス デスクの電源の設立	ž
システム スタンバイ(①) 20 分	後
モニタの電源を切る(M) なし ハードディスクの電源を 切る(D):	×
	OK キャンセル 道用(A)

「電源設定」タブのウィンドウでの設定

「電源設定」タブのウィンドウでは、スタンバイ状態に なるまでの時間や、ディスプレイ、ハードディスクの 電源を切るまでの時間を設定したり、電源設定を新し く作成して、保存することができます。 ■ 電源の設定

次の設定ができます。設定が終了したら、「OK」をク リックしてください。

ジチェック!!

自動的にスタンバイ状態にならないようにするには、 「システムスタンバイ」を「なし」に設定してください。

・システムスタンバイ

▼をクリックして、時間を設定します。 時間を設定すると、設定時間経過後に本機がスタン バイ状態になり、消費電力を節約することができま す。

購入時の状態では「20分後」に設定されています。

・モニタの電源を切る

をクリックして、時間を設定します。 時間を設定すると、設定時間経過後にディスプレイの省電力機能が働き、画面が暗くなります(セットのディスプレイの場合、ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯します)。 購入時の状態では「なし」に設定されています。

・ハードディスクの電源を切る
 ◆をクリックして、時間を設定します。
 時間を設定すると、設定時間経過後にハードディスクのモータが停止します。
 購入時の状態では「30分後」に設定されています。

ジチェック!!

10分未満に設定した場合、設定した時間になっても、 ハードディスクのモータが停止しないことがあります。

設定するときの注意 ACPIモード時に、「システムスタンパイ」の設定時間 を「モニタの電源を切る」の設定時間よりも長くした 場合、「システムスタンパイ」は「モニタの電源を切る」 が実行されてからの時間となります。

下記のような設定がされている場合、実際にシステム スタンバイが実行されるのは「モニタの電源を切る」 の20分後である35分後となります。

システムスタンバイ:20分後 モニタの電源を切る:15分後

20分後にシステムスタンバイするように設定する場 合は、下記の例のように設定してください。 例1:

システムスタンバイ:15分後 モニタの電源を切る:5分後

例2: システムスタンバイ:20分後 モニタの電源を切る:なし

新しい電源設定の作成 次の手順で、新しい電源設定を作成することができます。

「電源設定」タブのウィンドウで「名前を付けて保存」 をクリック。

次のウィンドウが表示されます。

電源設定の保存			×
電源設定の保存名			
ホーム/オフィス デスク			
	ОК	キャンセル	

新しい名前を付ける。 (例「ValueStar」)

電源設定の保存

电原設定0.1本1+				
電源設定の保存名				
ValueStar				
	Ok	(キャンセル	

「OK」をクリック。 新しい電源設定が作成されます。

電源の管理 ブロパティ 電源設定 詳細			? >
で、 電源設定は、あ ビュータの使い方	らかじめ設定された電源。 方に最も通切な電源設定	オブションをまとめたも を選択してください。	のです。コン
電源設定(2) ValueStar			•
	名前を付けて	(1¥775)) A	\$\$\$€
ValueStarの電源の設定			
システム スタンバイ (T):	20 分後		•
モニタの電源を切る(M):	なし		-
ハードディスクの電源を 切る(型:	30 分後		•
	OK	キャンセル	適用(<u>A</u>)

必要に応じて、各電源の設定を行う。

設定が終了したら「OK」をクリック。

€ チェック!!

購入時の状態では、「ホーム / オフィスディスク」に設定されています。この設定では、キーボードやマウスに触れない状態が20分以上続くと、スタンバイ状態になり、電源ランプがオレンジ色に点灯します。

スタンバイ状態にするときの 注意

スタンバイ状態にするときには、次のような注意が必要です。これを怠ると、スタンバイ状態にする前の内容が失われたり、スタンバイ状態にする前の内容が復元できないこともあります。

■ スタンバイ状態にできないとき

使用するアプリケーションソフトによっては、スタン バイ状態からの復帰ができなかったり、アプリケー ションソフトが正常に動作しないことがあります。こ のようなアプリケーションの使用時には、スタンバイ 状態にしないでください。また、使用する周辺機器に よっては、スタンバイ状態から復帰できないことがあ ります。

- スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき スタンバイ状態にするときに次のことが起きると、電 源が切れた状態になるため、スタンバイ状態にする前 の内容は失われます。
 - ・電源ケーブルが本体やACコンセントからはずれたとき
 - ・停電が起きたとき
 - ・電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

このような場合は、次に電源を入れたときに、 「Windowsが正しく終了されませんでした…」と表示 され、スキャンディスクが実行されます。画面の指示 にしたがってください。

スタンバイ状態にする前の内容の復元が保証されない
 場合

次のような場合は、スタンバイ状態にする前の内容は 保証されません。

- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復 元中にフロッピーディスクを入れ替えたとき
- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復 元中にCD-ROMやDVD-ROMなどを入れ替えたと き
- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復 元中に本機の環境を変更したとき
- ・スタンバイ状態のときに本機の機器構成を変更した
 とき

また、次のような状態でスタンバイ状態にしても、ス タンバイ状態から復帰後の内容は保証されません。

PART ハードウェア

- ・プリンタへ出力中のとき
- ・モデムなどを使って通信中のとき
- ・サウンド機能により音声を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- ・CD-ROM やDVD-ROMを読み取り中のとき
- ・スタンバイに対応していない周辺機器、拡張ボード を取り付けたとき
- スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されない場合 次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正 しく実行されなかったことを表しています。
 - ・アプリケーションソフトが動作しない
 - ・キーボードの【スリープ】ボタンを押すまたは、キー ボードやマウスを操作しても、スタンバイ状態から 復帰しない

このような状態になるアプリケーションソフトを使用 中には、スタンバイ状態にしないでください。万一、 キーボードの【スリープ】ボタンを押したり、キーボー ドやマウスを操作してもスタンバイ状態から復帰でき なかったときには、電源スイッチを約4秒以上、押し 続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に 切れます。この場合、BIOS セットアップメニューの 内容が、ご購入時の状態に戻っていることがあります。 必要な場合は、再設定してください。

- その他の注意
 - ・画面が暗くなっていても本体の電源ランプがオレン ジ色に点灯していないときは、キーボードの【スリー プ】ボタンを押しても復帰しません。
 - ・通信ソフトを使用中の場合は、必ず通信を終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のままスタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場合があります。
 - ・CD-ROM ドライブにフォトCD が入っているとき にスタンバイ状態にした場合は、復帰に多少の時間 がかかることがあります。
 - ・CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再 生され続ける場合があります。スタンバイ状態にす る前にCDの再生を止めてください。

- 「デバイスマネージャ」でドライバなどの設定をして いるときや、「プリンタウィザード」や「ハードウェ アウィザード」、「モデムウィザード」実行中は、スタ ンバイ状態にしないでください。これらの画面を表 示しているときに、スタンバイ状態になると、復帰し た後、キーボードとマウスを使用することができな くなります。
- ・「Windows Media Player」でビデオCDやMPEG データを再生しているときは、スタンバイ状態にで きない場合があります。
- ・「SmartVoice」起動中は、スタンバイ状態にすることはできません。

サウンド機能

本機は、PCM録音/再生機能、MIDI音源 機能を備えています。

概要

PCM 録音 / 再生機能

PCM録音/再生機能は、マイクロホンから入力した音 声などのアナログ信号をデジタル信号に変換していろ いろな処理を加える機能です。人の音声などを、原音 に近い音で再現できます。

インストールされているWindowsのサウンド機能を 使えば、ソフトに含まれる音声データを再生したり、 入力した音声を編集したり、文書などに貼り付けたり できます。

MIDI

MIDIは、Musical Instruments Digital Interface の頭文字をとったもので、楽器同士を接続して、演奏 情報や音色情報をやり取りするための規格です。 MIDIでは、音程や音色などの演奏に関する情報のほ か、設定を切り替えるための情報、テンポをコント ロールするための情報などのさまざまな情報をやり取 りできるので、表現力豊かな演奏ができます。

スピーカ

液晶ディスプレイセットモデルの場合は、液晶ディス プレイにスピーカが内蔵されています。



音量ボリュームは右に回すと小さくなり、左に回すと 大きくなります。

CRT ディスプレイセットモデルには外付けスピーカ が添付されています。

本機の音量を調節する場合は、外付けスピーカのボ リュームつまみを使います。右に回すと大きく、左に まわすと小さくなります。

外付けスピーカの各部の名称

前面



電源スイッチやボリュームがついている方がスピーカ (L)です。

背面

スピーカ(L) スピーカ(R)



電源スイッチ(🕕)

スピーカの電源を入れたり切ったりするスイッチで す。1回押すと電源が入り、もう1回押すと電源が切 れます。

音量ボリューム(**(い))**) スピーカの音量を調節します。右に回すと大きくなり、 左に回すと小さくなります。 電源ランプ

スピーカの電源が入っているときは緑色に点灯しま す。

PART (

ヘッドホン端子(ステレオ)(♥) 市販のオーディオ用ヘッドホンなどを接続するための ミニジャック端子。ヘッドホンプラグの形状によって は、使用できないものがありますので注意してくださ い。 スピーカケーブル

本体とスピーカを接続するためのケーブルです。 出力コネクタ(**〔**) 左右のスピーカを接続するためのコネクタです。 電源コネクタ(DC 9V) 添付の AC アダプタを接続するためのコネクタです。 スピーカケーブル 左右のスピーカを接続するためのケーブルです。ス ピーカ(L)の出力コネクタ(**〔**)に接続します。

マイクロホン

マイクロホン端子にマイクロホンを接続すると、本機 に音声を取り込むことができます。取り込んだサウン ドは、ファイルとして保存できます。 本機にはヘッドセットマイクが添付されています。

ボリュームコントロール

「ボリュームコントロール」ウィンドウは、内蔵音源を 通じて再生される音声の量や、内蔵音源を通じて録音 するときの入力レベルをコントロールすることができ ます。

各音源の音量が小さい場合や、音量が大き過ぎて音割 れ(音が途切れる現象)があるときに調整してください。

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法は次の通りです。

「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」 「エンターテイメント」 「ボリュームコントロール」 をクリック。

「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



「プロパティ」ウィンドウ

「ボリュームコントロール」ウィンドウのメニューバー から「オプション」 「プロパティ」をクリックすると、 「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



「プロパティ」ウィンドウでは、「音量の調整」欄で、 「再生」「録音」「その他」のどれが選ばれているかによ り、表示される項目を切り替えることができます。 表示できる項目と、各項目の説明を一覧で示すと次の ようになります。

< VC750J/2、VC600J/2 >

項目名	音量調節の種類		説明
	再生	録音	
ポリューム コントロール			スピーカから出力される全ての音量 を調整します。
WAVE			WAVEなどのPCM音源のポリュー ムを調整します。
SW Synth			MIDIデバイスとして"Microsoft GS Wavetable SW Synth"を選択した 場合のMIDIのボリュームを調整しま す。
テレフォン			本機では使用できません。
マイクロフォン			マイクロホン端子から入力される音 声をスピーカから出力するとき、また は録音するときのポリュームを調整 します。
ライン			Line inに接続している機器から入力 される音をスピーカから出力すると き、または録音するときのボリューム を調整します。
CD オーディオ			CD-ROMで再生した音楽CDを再生、 または録音する時のボリュームを調整 します。
XG Synth			MIDIデバイスとして"YAMAHA XG" を選択した場合のMIDIのボリュームを 調整します。
モノアウト			本機では使用できません。
3Dワイド			3Dワイドステレオの効果の広がりを 設定します。
ステレオアウト			Line Outへ出力する音声をループバ ックさせて録音する時のボリュームを 調整します。

< VC550J/2、VC500J/2、VE500J/2、 VT550J/2 >

項目名	音量調節の種類		説明	
	再生	録音		
Volume Control			スピーカから出力される全ての音量 を調整します。	
WAVE			WAVEなどのPCM音源のボリュー ムを調整します。	
SW Synth			MIDIデバイスとして"Microsoft GS Wavetable SW Synth"を選択した 場合のMIDIのボリュームを調整しま す。	
3D Wide			"3Dエンハンスメントの効果を調整 します。3Dエンハンスメントはステレ オ音声に対して効果がかかります。"	
CD Audio			CD-ROMで再生した音楽CDを再生、 または録音する時のポリュームを調整 します。	
Line In			Line inに接続している機器から入力 される音をスピーカから出力すると き、または録音するときのポリューム を調整します。	
Microphone			マイクロホン端子から入力される音 声をスピーカから出力するとき、また は録音するときのボリュームを調整 します。	
Telephony			本機では使用できません。	
XG Synth			MIDIデバイスとして"YAMAHA AC- XG WDM XG Synth"を選択した場 合のMIDIのボリュームを調整します。	
Mono Out			本機では使用できません。	
Stereo Mix			Line Outへ出力する音声をループパ ックさせて録音する時のポリュームを 調整します。ステレオのまま録音され ます。	

CD/DVD 制御ボタンでの音量調整

キーボードの CD/DVD 制御ボタンの「ボリューム アップボタン」、「ボリュームダウンボタン」を使って も、音量が調整できます。【▲】を押すと音量が大きく なり、【▼】を押すと小さくなります。



●チェック!!

外付けスピーカのボリュームつまみが最小になってい ると、【▲】を押しても音量が大きくなりません。

口参照

CD/DVD 制御ボタン この PART の「ワンタッチス タートボタン」(p.108)

マイクロホンの音量調整

別売のマイクロホンを接続したときは、次のように、 音量を調節します。

(ご使用の機種によって表示される内容は異なります。)

「音量の調整」欄の「録音」をクリックして**ご**にする。 「表示するコントロール」欄の項目も変わります。



「OK」をクリック。

王 総合 コントロール オブション(P) ヘルプ(E	Ð		
Carlan KCEN B	RCEN RCEN	CD#-9'48 1/522 0	2(3024)(5x0 N5∪2 € — — ↓ ↓
音量	谷묘	音量	音量
☑ 選択(S)	□ 選択(S)	「湿沢⑤)	□ 選択公>
Yamaha Sound			

「マイクロフォン」または「Microphone」の音量つま みの部分をドラッグしてボリュームを調節する。



調節が終わったら、 🗙 をクリックして、このウィン ドウを閉じる。

ハウリング抑止

接続するマイクロホンによっては、マイクロホンのボ リュームを最小にしてもハウリングを起こすことがあ ります。このようなときは、次の手順でマイクロホン のボリュームを調整してください。

「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」 「エンターテイメント」 「ボリュームコントロール」 をクリック。

「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。 メニューバーの「オプション」 「プロパティ」をク リック。

プロパティ		? ×
ミキサー デバイス(<u>M</u>): 一音量の調整	Yamaha Sound	
 再生 		
○ 錄音		
O その他 「		V
表示するコントロール:		
■ ホリューム コントロール		<u> </u>
WAVE SW Synth 7µ7ォン		•
	OK	キャンセル

「再生」をクリックしてでにする。

「マイクロフォン」または「Microphone」のチェック ボックスをチェックする。

プロパティ		? ×
ミキサー デバイス(M):	Yamaha Sound	•
音量の調整		
 再生 		
○ 錄音		
C 4012 [Y
- 表示するコントロール :		
SW Synth		
□ 70/32 ■ マイクロフォン		
▼ 5 12		•
	OK ++>	rtn

「OK」をクリック。

顧 ホリューム コントロール		
オプション(P) ヘルプ(H)	
ホリューム コントロール	WAVE	SW Synth
バランス	バランス	バランス
音量	音量	音量
:T:	ELE -	E
	iT:	iT:
□ 全ミュート(២)	□ ≷⊒~F(M)	⊏≋⊥−⊦⊚
Yamaha Sound		

「オプション」 「トーン調整」をクリック。 「トーン」ボタンが追加表示されます。

SW Synth	7/bn7#'/	547
バランス	バランス	バランス
	₽−┣-₫	le −⊢ o
音量	音量	音量
111	(上)	連
記	: :	: : :
	-]-	-] -
I ≤1~F(M)	(M) 1- L> V	1 11-1-10 <u>0</u> 0
	<u>トーン(A)</u>	

「トーン」をクリック。

マイクロフォン の話手級語会定	×
オーディオのサウンド トーンを調整します。	
低音(图): 低 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
高音①: 低 ,	
そのほかの調整 サウンドトーン以外の調整ができます。詳細については、ハードウェアのマニュアルを 参照してください。 ア <u>(「Mic 2008(0)</u>	
開じる	

「そのほかの調整」の「Mic20dB 有効」のチェック ボックスのチェックを外す。 なお、本機では「トーン調整」は使えません。

設定が終わったら、「閉じる」をクリック。 「ボリュームコントロール」ウィンドウの画面に戻ります。

をクリックして、ウィンドウを閉じる。 トーン調整が完了です。

ヤマハ DS-XG 設定 / ヤマハ AC-XG 設定

(VC750J/2、VC600J/2のみ)

シンセサイザーやマイクエコーの設定をすることがで きます。

コントロールパネルを開く。 (「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネ ル」)

「ヤマハ DS-XG 設定」または「ヤマハ AC-XG 設定」 アイコンをダブルクリック。

詳しい使い方は、ヘルプを参照してください。

サウンド全般についての注意

ボリュームコントロールを使用するときの注意

・ディスプレイの解像度が640×480ドットなどの 低解像度の場合、「ボリュームコントロール」ですべ ての音源コントロールが表示されない、または右端 の音源コントロールの表示が一部欠ける場合があり ます。

この場合には、ディスプレイの解像度を変更するか、 「プロパティ」ウィンドウの「表示するコントロール」 欄で、使用しない音源の選択を解除し、必要なコント ロールが表示されるよう変更してください。

なお、「ボリュームコントロール」の表示が一部欠け た状態で解像度の切り替えを行っても、「ボリューム コントロール」の表示は変更されません。一度、「ボ リュームコントロール」を終了し、もう一度「ボ リュームコントロール」を起動してください。

 ・CDまたはTVの音を録音し、そのデータを再生した とき、音が小さく感じられる場合があります。これは CD/TVの録音の音量は、CD/TVの出力ボリューム の大きさに依存するためです。したがって、CDまた はTVの録音を行うときにはあらかじめ「ボリュー ムコントロール」を使用し、CD/TVの音量を大きく しておいてください。

サウンド機能を使用するときの注意

本機では、本体内蔵のサウンド機能や周辺機器を増設 して、Windows 98上でマルチメディア機能を利用 することができます。

利用できるマルチメディアの各機能については次の通 りです。

ウェーブフォーム MIDI データの演奏 MIDI データの記録 データの録音・再生

×

:本体内蔵のサウンド機能で利用することができます。

PART]

FAX モデムボード

本機に標準で内蔵されている FAX モデ ムボードには、ファクシミリ通信機能、 データ通信機能などがあります。また市 販の電話機を接続するためのコネクタが ついています。

口参照

AT コマンドについて 🍠 サポートセンタ」-「パソ コンを使いこなそう」-「ハードウェア情報」-「 AT コマ ンド」

概要

ここでは、FAX モデムボードの機能を説明します。

データ通信機能

本機にセットアップ / 添付されているソフトウェア で、インターネットやパソコン通信などのデータ通信 を行うことができます。

その他のソフトウェアでは正常に動作しない可能性が あります。

FAX 通信機能

本機で作成したワープロ文書などのデータをダイレクトにFAXに送信できます。また、本機でFAXを受信でき、効率的にFAX送受信をサポートします。 FAXモデムボードのFAX通信機能は、本機にインストールされている次のFAXソフトウェアでの動作を保証しています。

•FAX-NX

その他のFAX ソフトウェアでは正常に動作しない可能性があります。

■ FAX テスト交信サービス

「FAX-NX」を使用して、FAXの送受信のテストがで きます。

口参照

FAX-NXの使い方 デザポートセンタ」「パソコンを使いこなそう」「添付ソフトの使い方」「FAX-NX」

最高56,000bpsまでの各種通信

電話回線を利用して最高 56,000bpsの全二重デー 夕通信と最高 14,400bpsの半二重 FAX 通信ができま す。

- 送受信: 300/1,200/2,400/4,800/7,200 9,600/12,000/14,400/16,800 19,200/21,600/24,000/26,400 28,800/31,200/33,600bps
- 受信のみ: 28,000/29,333/30,667/32,000 33,333/34,000/34,667/36,000 37,333/38,000/38,667/40,000 41,333/42,000/42,667/44,000 45,333/46,000/46,667/48,000 49,333/50,000/50,667/52,000 53,333/54,000/54,667 56,000bps
- FAX: 300/2,400/4,800/7,200/9,600 /12,000/14,400bps

■ リング機能

本機がスタンバイ状態のときに、電話やFAXを受信 すると、自動的に本機をスタンバイ状態から復帰させ る機能があります。

リング機能を使うには「Timer-NX」での設定または 「FAX-NX」での自動受信の設定が必要です。

□□参照

Timer-NXの使い方 デサポートセンタ」-「パソコ ンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「Timer-NX」

口参照

FAX-NXの使い方 デザサポートセンタ」「パソコンを使いこなそう」「添付ソフトの使い方」「FAX-NX」

FAX **モデムボードを** 使用するときの注意

ジチェック!!

標準で取り付けられているFAXモデムボードは、ご 購入時に取り付けられていたスロットで使用してくだ さい。

適合電話回線について

FAXモデムボードは、加入電話回線に適合するように 設計されています。加入電話回線以外と接続すると、 FAXモデムボードやパソコン本体等を破損する場合 があります。

送信レベルについての注意

通常の電話回線を使用する場合、送信レベルは購入時 の設定から変更する必要はありません。ただし、回線 状態が悪く、うまく接続できない場合は送信レベルの 調整が必要な場合があります。送信レベルの調整は、 認定された工事担任者以外が行うことは法律で禁じら れていますので、送信レベルの調整については、当社 指定のサービス窓口にお問い合わせください。

当社指定のサービス窓口の電話番号、受付時間については、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

通信するときの注意

- ・通信中は、電話機用モジュラーコネクタに接続した
 電話機の受話器を外さないようにしてください。受
 話器が外れると、通信が中断されることがあります。
- ・電話機用モジュラーコネクタには、他のモデムを接続しないでください。他の外付けモデムなどが、電話 機用モジュラーコネクタに接続されている場合は取 り外してください。
- ・キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで 通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信 が切れる場合があります。キャッチホンのサービ スを利用すれば、通信が切れることはありません。 キャッチホン についてはNTTにご相談ください。

- ・FAXモデムボードのダイヤル信号は、ご使用になる 加入電話回線のダイヤル信号に合わせた調整が必要 です。加入電話回線のダイヤル方法がトーンかパル スかわからないときは、NTT に確認してください。
- ・コードレスホンや親子電話、構内回線など、公衆回 線以外の回線をご使用の場合は、正常なデータの送 受信ができない場合があります。
- ・FAX モデムボードはFAX 通信網には対応していま せん。
- ・FAX モデムボードに接続できる回線は2 線式のみ です。
- ・本体にアース線を接続していない場合や、回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できないことや、接続しにくい場合があります。
- ・FAX モデムボードに接続できる電話機などは2線式の回線用のみです。電話機などの種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。また、接続する電話機などによっては、FAX モデムボードが、正常に通信できない場合があります。正常に通信できない場合は、次のいずれかの方法で正常に通信できるようになります。
 - ・接続する電話機などにアース接続用の端子がある 場合は、アース線をつなぐ
 - ・電話機に別の電話を接続するためのコネクタがあ る場合は、接続の順番を変える(加入電話回線== 電話機 == パソコンのようにする)

接続については、電話機のマニュアルをご確認くだ さい。

・モデムによる通信の際は、電話機などを取り外す。

- ・FAXモデムボードの電話機用モジュラーコネクタに 電話機などを接続している場合や、市販の分岐コネ クタを使用して電話機などとパソコンとを加入電話 回線に接続している場合は、モデムによる通信の際 に電話機などを使用していないことを確認してくだ さい。また、モデムで通信中は電話機などを操作しな いようにしてください。電話機などを操作すると、通 信が妨害され、切断されることがあります。
- ・電話機用モジュラーコネクタに接続されている外付 け電話機をパソコン本体から離れたところに設置し ている場合は、送信 / 受信の際に外付け電話機が使 用されていないことを確認してください。
- ・データ通信を行う場合、フロー制御はハードウェア (RTS/CTS) 購入時の設定)に設定してください。 それ以外に設定するとデータ抜けが生じる可能性が あります。



- ・FAX を送信する相手が音声応答機能付きのFAXの 場合、相手からの音声の内容によってはFAXの送信 ができなくなることがあります。この場合は、外付け 電話機で相手からの音声が終わったのを確認してか ら送信を始めてください。
- ・回線の状態によっては希望の通信速度で通信できない場合があります。
- ・K56flex およびITU-T V.90の最大受信速度
 56,000bpsは、理論値であり、加入電話回線での
 通信速度とは異なります。
- ・電話局の交換機の種類によっては、14,400bpsで
 FAXの通信ができないことがあります。この場合は
 通信速度を9,600bps以下にしてください。
- ・海外と直接接続した場合、伝送路の特性のため正常
 に通信できない可能性があります。

■ ポート番号を変更する

購入時の状態では、内蔵FAXモデムボードのポート 番号はCOM2になっています。 ポート番号を変更するときは次の手順で変更してくだ さい。

ジチェック!!

「CyberTrio-NX」のモードが「ベーシックモード」の 場合は、「アドバンストモード」、「スタート」ボタン 「プログラム」 「Cyber Trio-NX」 「Go to アドバ ンストモード」をクリック)に変更してから次の手順 を行ってください。

起動している通信アプリケーションをすべて終了す る。

「コントロールパネル」を開く。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」)

「システム」をダブルクリック。 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「デバイスマネージャ」タブをクリック。 「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されま す。

「モデム」をダブルクリックし、表示された「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJP)」をクリック(反転 表示)。

「プロパティ」をクリック。 「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJP)のプロ パティ」ウィンドウが表示されます。 「リソース」タブをクリック。

「自動設定を使う」のチェックボックスのチェックをはずす。

「基にする設定」の値を変更し、「リソースの種類」にある「1/0範囲」の値を設定する。

COM1 の場合	:03F8-03FF
COM2 の場合	:02F8-02FF
COM3 の場合	:03E8-03EF
COM4 の場合	:02E8-02EF

リソースが競合していないことを確認してください。 競合している場合、そのポートへの変更はできません。

- 「OK」をクリック。
- 「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJP)のプロ パティ」ウィンドウに戻ります。
- 「OK」をクリック。 「変更不可の環境設定の作成」ウィンドウが表示されま す。
 - 「はい」をクリック。 しばらくすると、「システムのプロパティ」ウィンドウ に戻ります。

「閉じる」をクリック。

Windowsを再起動する。 コンピュータの再起動が始まります。 以上で、ポート番号の変更は終了です。



本機の設定を変更する

ここでは、本機の使用環境を設定する BIOS セットアップメニューと、省電力機能を使うた めの電源管理モードについて説明しています。 通常は、これらの設定を変更する必要はありま せん。

BIOS セットアップメニュー 電源管理モードについて

BIOS セットアップ メニュー

「BIOS セットアップメニュー」ではハー ドウェア環境の確認と変更、セキュリ ティ、省電力など本機の使用環境を設定 することができます。

ジチェック!!

BIOS セットアップメニューは画面上では「Phoenix BIOSセットアップユーティリティ」と表示されます。



次のような設定ができます。

- ・現在の日付と時間の設定
- ・BIOS セットアップメニューで使用する言語の選択
- ・ハードウェア環境の確認と変更
- ・セキュリティの設定
- ・省電力管理の設定
- ・起動の設定



BIOS セットアップメニューの起動とメイン画面

電源を入れ、「NEC」ロゴの画面で「<F2>キーを押 すと、BIOSセットアップメニューを起動します。」と 表示されたら、すぐに【F2】を押す。 「セットアップを起動しています。…」と表示された後、 BIOSセットアップメニューが起動します。

ジチェック!!

Windows が起動した場合は、Windows を終了して 電源を切り、もう一度手順からやり直してください。

PhoenixB	IOSセットアップユーティ!	リティ	
<u>メイン</u> 詳細 セキュ システム時刻: システム日付:	リティ 省電力管理 起動 [XX:XX:XX] [XX:XX:XX] [XX:XX/XX/XX]	終了 項目ヘルプ ab>キー、 <shift-t >キー、<enter>キー</enter></shift-t 	_メニューバ-
言語: フロッピィディスクA: プライマリマスタ プライマリスレーブ	[日本語(JP)] [1.44/1.25Mb 3.5 '] [XXXXMB] [なし]	項目を選択します。	
セカンダリマスタ セカンダリスレーブ キーボード機能 記動時の自己診断画面	[CD-ROM] [なし] [使用しない]		パラメータ
システムメモリ: 拡張メモリ: BIOS リビジョン	640KB ××KB XXXX		
F1 ヘルプ 項目の選択 Esc 終了 メニューの	-/+ 値の変更 選択 Enter サブメニューの選択	F9 デフォルトの設定 F10 保存して終了	キーステー タスバー

BIOS セットアップメニューの終了

変更した設定を有効にして終了する場合 【F10】を押す。 「セットアップ確認」ウィンドウが表示されます。

「はい」を選んで【Enter】を押す。 設定値が保存され、BIOS セットアップメニューが終 了します。また、メニューバーの「終了」でもBIOS セットアップメニューを終了することができます。

■ 起動前の設定のまま終了する場合

【 】【 】でメニューバーの「終了」を選ぶ。

【 】を押して「変更を保存せずに終了する」にカーソ ルを合わせ【Enter】を押す。

ジチェック!

ここで「設定が保存されていません!保存してから終 了しますか?」と表示された場合は、【 】を押して 「いいえ」にカーソルを合わせ【Enter】を押してくだ さい。

BIOSセットアップメニューを起動する前の設定のま ま(設定の変更を行った場合はすべて無効にして) BIOS セットアップメニューが終了します。

デフォルト値の設定

【F9】を押す。 「セットアップ確認」ウィンドウが表示されます。

【 】【 】で「はい」を選んで【Enter】を押す。 すべての設定値をデフォルト値(初期値)に戻します。 また、メニューバーの「終了」でもデフォルト値の設定 ができます。

次にメニューバーで選択された各画面について説明し ます。

BIOS セットアップメニューの基本操作

・操作はキーボードで行います。

- ・【】、【】でメニューバーのカーソルを選択し、
 【】、【】で設定項目を選択します。
- ・設定内容(例:システム時計の時、分、秒)のカーソル移動は【Tab】で選択します。設定内容の値は
 【+】、【-】で変更します。
- ・▶印がついた設定項目は【Enter】でサブメニューを 表示し、【Esc】で元の画面に戻ります。

メインの設定

- システム時刻 現在の時刻を「時/分/秒」で入力します。時間につい ては24時間形式で入力します。
- システム日付 日付を「年/月/日」で入力します。ただし、言語を英 語に設定しているときは、「月/日/年」で入力します。
- 言語 BIOS で使用する言語を設定します。日本語または英 語を選べます。
- 🔳 フロッピィディスク A

フロッピィディスクドライブのモードを選びます。

表中のは購入時の設定です。

設定項目	設定内	容
フロッピィディスクA	使用しない	
	360Kb	5.25 "
	1.2 Mb	5.25 "
	720Kb	3.5 "
	1.44/1.25Mb	3.5 "
	2.88Mb	3.5 "

■ プライマリマスタ

現在接続されているIDEデバイスが表示されます。この項目にカーソルを合わせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面になります。

【Esc】を押すと元の画面に戻ります。

設定項目	設定内容	説明
タイプ	自動	BIOSが自動的にシリンダ、ヘッ ド、セクタを設定します。
	/なし/CD-ROM/	
	取外し可能IDE/	
	取外し可能ATAPI/	
	Other ATAPI/ユーザ	
32ピット1/0	使用しない/使用する	32ビットIDEデータ転送を使用 するかどうかを設定します。

- プライマリスレーブ
 プライマリマスタの設定と同様です。
- セカンダリマスタ
 プライマリマスタの設定と同様です。
- セカンダリスレーブ
 プライマリマスタの設定と同様です。

ジチェック!!

本機に搭載されているハードディスクの容量を確認し たい場合は BIOS セットアップメニューの「メイン」 「プライマリマスタ」のサプメニューを開き、詳細表 示を行い「LBAフォーマット」の「最大容量」を参照し てください。

■ キーボード機能

キーボード機能を設定します。この項目にカーソルを 合わせ【Enter】を押すとサプメニュー設定画面にな ります。

【Esc】を押すと元の画面に戻ります。

表中のは購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Num lock	自動/オン/オフ	システム起動時にNum Lockをオ ンにするかどうかを設定します。
キークリック	使用しない/使用する	キークリック音を使用するか どうかを設定します。
キーボード自動 リピート間隔	30/秒、26.7/秒、21.8/秒 18.5/秒、13.3/秒、10/秒 6/秒、2/秒	キーリピート間隔を設定しま す。
キーボード自動 リピート待ち時間	1/4秒、 <mark>1/2秒</mark> 、3/4秒 1秒	キーリピートが開始されるま での待ち時間を設定します。
USBレガシー機能	使用しない/使用する	「使用する」を選択するとUSB レガシー機能を有効にします。

起動時の自己診断画面 起動時に自己診断画面を表示するかどうかを設定しま す。「使用する」にするとNECのロゴを表示せずに自 己診断画面を表示します。購入時は「使用しない」に設 定されています。

- システムメモリ 搭載されているシステムメモリ容量を表示します。
- 拡張メモリ

搭載されている拡張メモリを表示します。

- BIOS リビジョン
 BIOS のリビジョンを表示します。
- Processor Serial Number プロセッサシリアルナンバの読みとりを可能にするか どうかを設定します。

購入時は、「使用しない」に設定されています。この設 定では、プロセッサシリアルナンバの読みとりはでき ません。

ジチェック!!

プロセッサシリアルナンバは、Pentium® プロセッ サの新機能で、プロセッサの識別子です。プロセッサ ごとに固有になっているので、ホームページやアプリ ケーションを利用する際に、システムを識別するため のより詳細な情報として使われることがあります。 ホームページやアプリケーションを利用する際に、プ ロセッサシリアルナンバの読みとりが必要になった場 合には、この項目の設定を「使用する」にしてください。

詳細の設定

- プラグ&プレイO/S プラグ&プレイ対応のオペレーティングシステムを使 用している場合には、「はい」(購入時)を選びます。
- 設定値の初期化 システムの設定値を初期化したい場合には、「する」を 選びます。購入時には「しない」に設定されています。
- PCI設定

各 PCI デバイスの割込み番号(IRQ)を設定します。 この項目にカーソルを合わせ【Enter】を押すとサプ メニューの設定画面になります。

表中のは購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
PCI IRQ line 1	使用しない/ <mark>自動選択</mark> /3/4/5/7/9/10/ 11/12/14/15	PCI IRQ line 1で使用する IRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 2	使用しない/自動選択 /3/4/5/7/9/ <mark>10</mark> / 11/12/14/15	PCI IRQ line 2で使用する IRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 3	使用しない/ <mark>自動選択</mark> /3/4/5/7/9/10/ 11/12/14/15	PCI IRQ line 3で使用する IRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 4	使用しない/自動選択 /3/4/5/7/9/10/ 11/12/14/15	PCI IRQ line 4で使用する IRQ番号を設定します。

PCIデバイスはISAデバイスが使用している割込み番号を使用することはできません。割込み番号が重複しないように設定する必要があります。通常は、「自動選択」に設定してください。

■ キャッシュメモリ

この項目の設定は変更しないでください。

■ 周辺機器設定

各種周辺機器の設定を行います。この項目にカーソル を合わせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面 になります。

表中のは購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説 明
シリアルポートA	使用しない	シリアルポートAは使用でき ません。
	使用する	ユーザがI/Oベースアドレス と割込み番号を設定すること ができます。
	自動	BIOSがI/Oベースアドレス と割込み番号を自動的に設定 します。
1/0ベースアドレス	3F8/2F8/3E8/2E8	シリアルポートAにI/Oベース アドレスを設定します。
割込み	IRQ3/IRQ4	シリアルポートAに割込み番号 を設定します。
パラレルポート	使用しない	パラレルポートは使用できま せん。
	使用する	ユーザがパラレルポートのモ ード、I/Oペースアドレス、 割込み番号を設定することが できます。
	自動	BIOSが自動的にパラレルポ ートの設定を行います。
モード	出力のみ/ <mark>双方向</mark> /ECP	パラレルポートにモードを設 定します。
1/0ベースアドレス	378/278/3BC	パラレルポートにI/Oベース アドレスを設定します。
割込み	IRQ5/IRQ7	パラレルポートに割込み番号 を設定します。
フロッピィコント ローラ	使用しない/使用する /自動	オプションのフロッピィディ スクを使用する場合は「使用 する」に設定します。
I/Oベース アドレス	プライマリ/セカンダリ	オプションのフロッピィディ スクのI/Oベースアドレスを 設定します。

大容量ディスクアクセスモード この項目の設定は変更しないでください。

ローカルバス IDE アダプタ
 内蔵の IDE アダプタを使用するかどうかを設定します。購入時には「両方」に設定されています。

■ クイックブート

「使用する(購入時)に設定した場合、システム起動時 の一部のテストをスキップします。システム起動時間 が短縮されます。

■ サウンド

サウンドのリソースの設定を行います。この項目に カーソル合わせ【Enter】を押すとサプメニューの設 定画面になります。 この項目のない機種もあります。

表中のは購入時の設定です。

設定項目	設	定	内	容	説明
サウンド	使用	する			サウンドが使用できます。
	使用	しな	:61		サウンドを切り離します。

■ DMI イベントログ

起動時に起きたシステムのイベントログを参照できま す。

セキュリティの設定

セキュリティに関する各種設定を行います。

■ スーパバイザパスワード

スーパバイザパスワードの設定状態を表示します。 購入時の状態ではパスワードが設定されていないた め、「クリア」と表示されます。

表中のは購入時の設定です。

設定項目	設	定	内	容	説明
スーパバイザ パスワード	クリ	ア			スーパバイザパスワードが 設定されていません。
	設定	2			スーパバイザパスワードが 設定されています。

■ ユーザパスワード

ユーザパスワードの設定状態を表示します。 購入時の状態ではパスワードが設定されていないた め、「クリア」と表示されます。

表中のは購入時の設定です。

設定項目	設	定	内	容	説明
ユーザパスワード	クリ	ア			ユーザパスワードが設定さ れていません。
	設定	2			ユーザパスワードが設定さ れています。

● チェック!!

スーパバイザパスワードとユーザパスワードの設定や 入力のしかたについては後述の「パスワードの設定と 入力」をご覧ください。

■ スーパバイザパスワード設定

スーパバイザパスワードの設定を行います。設定方法 については、後述の「パスワードの設定と入力」をご覧 ください。

■ ユーザパスワード設定

ユーザパスワードの設定を行います。設定方法については、後述の「パスワードの設定と入力」をご覧ください。

■ 起動時のパスワード

システム起動時にスーパバイザパスワードやユーザパ スワードの入力を行うかどうかの設定を行います。購 入時には「使用しない」に設定されています。

■ ハードディスク起動セクタ

ハードディスク起動セクタを書き込み禁止にするかど うかの設定を行います。書き込み禁止にすると起動セ クタをウィルスから保護します。購入時には「通常動 作」に設定されています。

■ フロッピィアクセス

「スーパバイザ」に設定するとスーパバイザ以外フロッ ピィディスクドライブに対してアクセスできなくなり ます。購入時には「スーパバイザ」に設定されていま す。

■ ウィルスチェック警告

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイ ミングは「使用しない」、「毎日」、「毎週(月曜日)」、「毎 月(1日)」の中から選びます。購入時には「使用しな い」に設定されています。

■ システムのバックアップ警告

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイ ミングは「使用しない」、「毎日」、「毎週(月曜日)」、「毎 月(1日)」の中から選びます。購入時には「使用しな い」に設定されています。

省電力管理の設定

システムの省電力管理設定を行います。

■ 省電力

パワーマネジメントモードを選びます。モードを選ぶ ことによってシステムのパワーマネジメント設定を変 更します。

●チェック!!

Windows 98では、ACPIモード時は、この設定は無 効です。

表中のは購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
省電力	使用しない	パワーマネジメント機能を停止 します。
	カスタマイズ	各種タイムアウト時間をユーザ 自身で選べます。
	最大省電力	消費電力を最小限におさえるこ とができます。このときのタイ ムアウト時間は以下のとおりで す。
		自動サスペンドタイムアウト: 5分
		ハードディスクタイムアウト: 1分
	性能優先	電力をより多く消費しますが、性 能は最大限に発揮します。この ときのタイムアウト時間は以下 のとおりです。
		自動サスベンドタイムアウト: 60分 ハードディスクタイムアウト: 15分

■ 自動サスペンドタイムアウト

システムが自動的にサスペンドするまでの時間を設定 します。購入時には「20分」に設定されています。

€チェック!!

Windows 98 では、この設定は無効です。

ハードディスクタイムアウト ハードディスクのモータが停止するまでの、ハード ディスクの非アクティブ状態の時間を設定します。購 入時には「使用しない」に設定されています。

ジチェック!!

・「ハードディスクタイムアウト」の設定は、Windows 98の「コントロールパネル」「電源の管理」の「ハー ドディスクの電源を切る」でも設定できますが、これ らの設定は、設定時間の短いほうが有効になります。 通常は、BIOS セットアップメニューの「ハードディ スクタイムアウト」は「使用しない」に設定し、Windows 98 側で設定するようにしてください。 ・10分未満に設定した場合、設定した時間になって も、ハードディスクのモータが停止しないことがあ ります。

■ システムスイッチ

本体の電源スイッチの機能を設定します。 「パワーボタン」に設定すると、電源のオン/オフがで きます。「スリープボタン」に設定すると、サスペン ド/レジュームすることができます。購入時には、「パ ワーボタン」に設定されています。

ジチェック!!

Windows 98 では、ACPIモード時は、この設定は無 効です。ACPIモードのときに Windows 98 で電源 スイッチを使ってサスペンド / レジュームを行うに は、「コントロールパネル」「電源の管理」「詳細」 タブで「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の 設定を「スタンバイ」にしてください。

■ モデムリングによるレジューム

「オン」に設定すると、モデムが呼出し信号を受信した ときに、システムをサスペンド状態から復帰します。 購入時には「オフ」に設定されています。

ジチェック!!

Windows 98 では、この設定は無効です。

■ 時刻指定によるレジューム

「オン」に設定すると、レジューム時刻の設定時間でシ ステムをサスペンド状態から復帰します。購入時には 「オフ」に設定されています。

●チェック!!

Windows 98 では、ACPIモード時は、この設定は無 効です。

■ レジューム時刻

「時刻指定によるレジューム」で「オン」に設定した場 合、システムを復帰する時刻を設定します。

●チェック!!

Windows 98 では、ACPIモード時は、この設定は無 効です。

起動の設定

- AC投入時の電源状態 AC電源が失われ、再投入されたとき、どの状態に復旧 するかを設定します。購入時には「自動」に設定されて います。なお、この項目の設定は変更しないでください。
- PCIデバイスによる電源オン
 PCIデバイスによる電源オンおよびレジュームを有効
 にします。購入時には「しない」に設定されています。

起動するデバイスを優先順にしたがってリスト表示します。番号が小さいデバイスからオペレーティングシステムを起動します。オペレーティングシステムが存在しないなど起動に失敗した場合は、次のデバイスから起動します。

起動するデバイスを変更するには【 】【 】を使用して変更したいデバイスにカーソルを合わせます。【+】を押すとリストの上側に移動し、【-】を押すとリストの下側に移動します。

- ハードディスク 複数のデバイスが存在するため、さらにこの中で起動 する優先順位を設定することができます。
- 取り外し可能なデバイス 複数のデバイスが存在するため、さらにこの中で起動 する優先順位を設定することができます。
- 取り外し可能なフォーマット 取り外し可能なドライブに挿入されているメディアの フォーマットを設定します。

✓ チェック!? この項目は、スーパーディスクなどの取り外し可能な デバイスが接続された場合に表示されます。

セットアップ情報画面 「使用する」に設定すると起動時にシステム設定状況を 表示します。購入時には「使用しない」に設定されてい ます。

終了

BIOSセットアップメニューの終了とシステム設定の 読み込み / 保存を行います。

変更を保存して終了する システムの設定を終了して、変更を保存します。

- 変更を保存せずに終了する 設定値を保存せずにBIOSセットアップメニューを終 了します。
- デフォルト値をロードする すべての設定値にデフォルト値を書き込みます。
- 変更を取り消す すべての設定項目に対して変更前の値に戻します。
- 変更を保存する 設定値を保存します。

パスワードの設定と入力

パスワード(スーパバイザパスワード、ユーザパス ワード)を設定すると、BIOS セットアップメニュー 起動時に設定したパスワードを入力しないと BIOS セットアップメニューを起動できなくなります。

パスワードの設定

パスワードには、スーパバイザパスワードとユーザパ スワードがあります。 これらのパスワードを設定することにより、BIOSセッ トアップメニューで設定できる項目が制限されます。 BIOS セットアップメニュー起動時に、スーパバイザ パスワードを入力すると全項目が設定可能ですが、 ユーザパスワードを入力すると設定できる項目が制限 されます。

- パスワードに使用できる文字と記号 半角英数字のみがパスワードして使用でき、7文字以 内でなければなりません。大文字 / 小文字の区別はあ りません。
- スーパバイザパスワードの設定
 BIOS セットアップメニューで次の設定を行います。
 - 【 】 【 】 でメニューバーの「セキュリティ」を選ぶ。
 - 【 】 【 】 で「スーパバイザパスワード設定」を選ぶ。

【Enter】を押す。 「新しいパスワードを入力して下さい。」と表示されま す。

パスワードを入力し、【Enter】を押す。

もう一度同じパスワードを入力し、【Enter】を押す。 「変更が保存されました。」と表示されます。

【Enter】を押す。 これでスーパバイザパスワードが設定されました。 ユーザパスワードの設定
 BIOS セットアップメニューで次の設定を行います。

チェック? ユーザパスワードは、スーパバイザパスワードを設定 しないと設定できません。

【 】 【 】 でメニューバーの「セキュリティ」を選ぶ。

【 】 【 】 で「ユーザパスワード設定」を選ぶ。

【Enter】を押す。 「新しいパスワードを入力して下さい。」と表示されま す。

パスワードを入力し、【Enter】を押す。

もう一度同じパスワードを入力し、【Enter】を押す。 「変更が保存されました。」と表示されます。

【Enter】を押す。 これでユーザパスワードが設定されました。

_____ パスワードの変更

ジチェック!

パスワードが設定されている状態をクリアして、次回 BIOSセットアップメニュー起動時からパスワード入 力を行わないようにするには、手順、、でパスワー ドを入力しないで【Enter】を押してください。

スーパバイザパスワードの変更
 すでにスーパバイザパスワードが設定されている場合
 は、次の手順によりパスワードを変更することができます。

【 】 【 】 でメニューバーの「セキュリティ」を選ぶ。

【 】、【 】で「スーパバイザパスワード設定」を選ぶ。

【Enter】を押す。

「現在のパスワードを入力して下さい。」と表示されます。

今まで設定していたパスワードを入力し、【Enter】を 押す。

新しいパスワードを入力し、【Enter】を押す。

もう一度、手順と同じパスワードを入力し、【Enter】 を押す。 「変更が保存されました。」と表示されます。 【Enter】を押す。 これでスーパバイザパスワードが変更されました。

ユーザパスワードの変更 すでにユーザパスワードが設定されている場合は、次 の手順によりパスワードを変更することができます。

【 】【 】でメニューバーの「セキュリティ」を選ぶ。

【 】 【 】 で「ユーザパスワード設定」を選ぶ。

【Enter】を押す。 「現在のパスワードを入力して下さい。」と表示されま す。

今まで設定していたパスワードを入力し、【Enter】を 押す。

新しいパスワードを入力し、【Enter】を押す。

もう一度、手順 と同じパスワードを入力し、 【Enter】を押す。 「変更が保存されました。」と表示されます。

【Enter】を押す。 これでユーザパスワードが変更されました。

BIOSセットアップメニュー起動時のパスワード入力

パスワードを設定すると、次回BIOSセットアップメ ニュー起動時に、「パスワードを入力して下さい。」と 表示されます。

・スーパバイザパスワードのみを設定している場合

スーパバイザパスワードを入力して【Enter】を押す と、BIOS セットアップメニューが起動します。

・スーパバイザパスワードとユーザパスワードの両方
 を設定している場合

スーパバイザパスワード、またはユーザパスワード を入力して【Enter】を押すと、BIOS セットアップ メニューが起動します。

ただし、ユーザパスワードで BIOS セットアップメ ニューを起動すると、以下の項目が設定できなくなり ます。

・「メイン」メニュー フロッピィディスクA プライマリマスタ プライマリスレープ セカンダリマスタ セカンダリスレープ キーボード機能 起動時の自己診断画面
 Processor Serial Number
 ・「詳細」メニュー
 各項目
 ・「セキュリティ」メニュー
 ユーザパスワード設定以外の項目
 ・「起動」メニュー
 AC 投入時の電源状態
 セットアップ情報画面
 ・【F9】などによるデフォルトの設定

€ チェック!!

- ・パスワードの入力を間違えると、「パスワードが正し くありません。」と表示されますので、【Enter】を押 してもう一度パスワードを入力してください。
- ・パスワードを忘れてしまうと本機を起動できなくなります。この場合は、後述の「パスワードの解除」にしたがって、本体内部のストラップスイッチを取り外さなければなりません。パスワードは忘れないようにしてください。

パスワードの解除

本機では、ユーザパスワードとスーパバイザパスワー ドを設定できます。これらのパスワードを忘れると、 本機を起動できなくなります。パスワードを忘れた場 合は、本体内部のストラップスイッチを使ってパス ワードを解除します。

ストラップスイッチ

本体内部には、次の図のようなストラップスイッチが あります。このスイッチを取りはずすことでパスワー ドの解除ができます。

ジチェック!!

お使いの機種によって、本体内部の形状が異なります。



パスワードの解除のしかた



本機の電源を切り、電源ケーブルや背面に接続された ケーブルをすべて抜く。

正しい手順でルーフカバーを外す。

山参照

ルーフカバーの開け方 PART2の「本体の開け方と 閉め方」(p.26)

本体に取り付けられているRAMサブボードをすべて 外す。

口参照

RAMサブボードの外し方 PART6の「増設RAMサ ブボードの取り付けと取り外し」(p.61) ストラップスイッチを上に引き抜く。 ストラップスイッチを引き抜くには、ピンセットなど を使ってください。

●チェック!!

抜いたストラップスイッチはなくさないようにしてく ださい。

手順 で外したRAMサブボードを元通りに取りつける。

口参照

RAM サブボードの取り付け方 PART6の「増設 RAM サブボードの取り付けと取り外し」(p.61)

正しい順序でルーフカバーを取り付ける。

口参照

・ルーフカバーの閉め方 PART2の「本体の開け方 と閉め方」(p.26)

本体背面から外したケーブルをもとどおり接続して、 本機の電源を入れる。 Windowsが起動します。

Windowsを終了し、本機の電源を切り、電源ケーブルや背面に接続されたケーブルをすべて抜く。

手順 で引き抜いたストラップスイッチを元通りに差 し込む。

手順 と同じように RAM サブボードをすべて外し、 ピンセットなどを使ってストラップスイッチを元通り に取りつけ、手順 と同じように RAM サブボードを 取り付けます。

正しい手順でルーフカバーを取り付ける。

外したケーブルをもとどおりに接続する。



ACPIE-FEAPME-F

本機には、省電力機能を使うための電源管理のモード として、ACPIモードとAPMモードの2つのモード が使用できます。

ご購入時には ACPI モードに設定されています。

асрі **モード**

ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)を使って、電源管理を行うモードです。 ACPIとは、パソコンや周辺機器の電源管理を、本 機のOSであるWindows 98で行うためのしくみ です。

APM **モード**

APM(Advanced Power Management)を使って、 電源管理を行うモードです。

APMとは、パソコンや周辺機器の電源管理を、BIOS で行うためのしくみです。

次のような場合には、APM モードを使用します。

・「Timer-NX」を使って、電源が切れている状態から、 時間を指定して電源を入れる場合

モードの確認

本機がどちらのモードで動作しているかは、「Microsoft システム情報」または「デバイスマネージャ」で確認で きます。

 Microsoft システム情報で確認する 次の手順で確認します。

「Microsoft システム情報」を起動する。 (「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」 「システム情報」)

「コンポーネント」をダブルクリックして、「システム」 をクリック。 システムデバイスが表示されます。

表示されたデバイスリストをスクロールして、次のデ

・ACPIモードのとき

バイスがあることを確認します。

「Advanced Configuration and Power Interface(ACPI)BIOS」と表示される



・APM モードのとき

「アドバンスト パワー マネジメント サ ポート」と表示される

8 9 1 94		
ステム情報 - ハードウェアリソース - 数点/共有 - DMA - 手続イ/ストール ハードウェア	システム C 基本活動目 卒 [F48/500	i c RE
-1/0 -190 -349	アドバンスト パワー マネミ	J\$\/F. \$\$\$~F
 : Duft-20ト ※ マルラメディア ・ディスフレイ ・ ディスフレイ ・ デジム ・ その他 ・ モジム 	102319 米~ Alice リンース: Forceal リンース: Beat リンース: Filtered リンース: Basic リンース: INF 名(ドライリ)	19537,0004,09004068exxx800038x91900066000 667 667 667 667 867 867 867 867 867 867
8 4 57 2 - 57 - ポート - ストレージ - 908 - 12280 0 8-3 デバイス - US - US	BUILIN	6 - (2 - 1000) (2 - 20 - 1000) (2 - 20 - 1000) 2 - (4 - 0.01)(2 + 1 - (4 - 2) - 1000) (2 - 0.000) (2 - 20 - 1000) (2 - 20 - 1000)
いフトウェアの環境		Ser (LoCE)(十一675,27106-11 AM 後日(後) Herson Composition Ser (占 パージルン・4111998

■ デバイスマネージャで確認する

● チェック!!

「デバイスマネージャ」は、「CyberTrio-NX」のモード が「アドバンストモード」のときに使用できます。「ア ドバンストモード」に変更してから、確認の手順を 行ってください。 次の手順でモードを確認します。

「コントロールパネル」を起動する。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」) 「コントロールパネル」が起動します。

「システム」をダブルクリック。 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「デバイスマネージャ」タブをクリック。 「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されま す。

「システムデバイス」をダブルクリック。 「システムデバイス」フォルダの内容が表示されます。 このフォルダに次のデバイスがあることを確認しま す。

・ACPIモードのとき 「ACPI×××」など

・APM モードのとき 「アドバンスト パワーマネジメント サポート」

モードの切り替え

モードの切り替え時の注意

- ・ACPIモードでは、電源管理用に割り込み要求(IRQ) を1つ使用します。
- ・モードの切り替えは、購入時のセットアップ直後か、 再セットアップ直後のみできます。

・ACPIモード(購入時)からAPMモードに切り替え た後、APMモードからACPIモードに戻すには再 セットアップが必要です。

口参照

再セットアップ 『困ったときのQ&A』の「PART2 再セットアップするには」 ・モードの切り替え時にドライバを要求された場合は、
 画面の指示にしたがって、C: ¥Windows¥Options
 ¥Cabsよりドライバを組み込んでください。

ACPI モードから APM モードに切り替える

「APMモードに必要なデバイスを組み込む」、「ソフト ウェアパワーオフ機能を有効にする」、「ディスプレイ の表示の設定を元に戻す」の順に設定をしてください。

APM モードに必要なデバイスを組み込む

「C:¥Modechg」フォルダを開く。 (「マイコンピュータ」 「Windows 98(C:)」 「Modechg」)

「acpi_apm」をダブルクリック。 次の画面が表示されます。

ACPIを無効に設定します 現在、ACPIが有効です。ACPIを無効に設定する場合はOKボタンを押して下さい。

X

「OK」をクリック。 次の画面が表示されます。

```
設定が終わりました

ACPIを無効にする準備ができました。

コントロールパネル3のハードウェアの自動検出を実行してください。

のK
```

「OK」をクリック。

「ハードウェアの追加」を起動する。 (「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネ ル」 「ハードウェアの追加」) 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが 表示されます。

「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。

「デバイスは一覧にない」を選んで、「次へ」をクリッ ク。

「はい」が選ばれていることを確認して、「次へ」をク リック。

「次へ」をクリック。 ハードウェアの検出が始まります。 しばらくお待ちく ださい。

「完了」をクリック。

PART 本機の設定を変更する

「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら「はい」を クリック。 本機が再起動します。

640 × 480 ドット、16色画面となり、「ソフトウェ アパワーオフ機能は無効です。」と表示されたら「OK」 をクリック。

デバイスの組み込みが終了した後、「今すぐ再起動しま すか?」と表示されたら「はい」をクリック。 本機が再起動します。

「ソフトウェアパワーオフ機能は無効です。」と表示されたら「OK」をクリック。

ジチェック!!

「OK」をクリックできない場合は、キーボードの 【Enter】を押してください。

■ ソフトウェアパワーオフ機能を有効にする

「ハードウェアの追加」を起動する。 (「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネ ル」 「ハードウェアの追加」) 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが 表示されます。

「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。

「デバイスは一覧にない」を選んで、「次へ」をクリック。

「はい」が選ばれていることを確認して、「次へ」をク リック。

「次へ」をクリック。 ハードウェアの検出が始まります。しばらくお待ちく ださい。

「完了」をクリック。

本機を再起動する。 (「スタート」ボタン 「Windowsの終了」「再起動 する」 「OK」)

「C:¥Modechg」フォルダを開く。 (「マイコンピュータ」 「Windows 98(C:)」 「Modechg」)

「Acpioff2」をダブルクリック。

「C:¥MODECHG¥ACPIOFF2.REGの情報をレジス トリに追加しますか?」と表示されたら「はい」をク リック。 「C:¥MODECHG¥ACPIOFF2.REGの情報が、レジ ストリに正しく入力されました。」と表示されたら 「OK」をクリック。

本機を再起動する。

(「スタート」ボタン 「Windowsの終了」「再起動する」 「OK」)

切り替えた後の注意

 ・APMモードからACPIモードに切り替えるには、再 セットアップが必要です。

口参照

再セットアップ 『困ったときのQ&A』の「PART2 再セットアップするには」

- ・「今後、待機状態にならないようにしますか?」の メッセージが表示された場合は「いいえ」を選んでく ださい。
- ACPIモードからAPMモードに切り替えると「Sound Blaster Pro or Compatible/ゲームポートジョイスティック」が追加されることがあります。
 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」を開いて削除してください。
- ・別売の98 配列 USB キーボードをご利用の場合、 ACPI/APMのモードの切り替えを実行すると、キー ボードの設定が「106日本語(A01)」に変わってし まいます。切り替え完了後、98 配列 USB キーボー ドドライバを再設定してください。設定方法は、「ス タート」ボタン「プログラム」「追加情報」の「Q: 別売の98 配列 USB キーボード(PK-KB011)を 使いたい」をご覧ください。

APM モードでタイマー機能を 利用する場合の注意

APM モードを使用すると、タイマー機能(「Timer-NX」)を使って、電源が切れている状態から時刻を指 定して電源を入れることができます。

Timer-NX を利用するときの注意

- ・電源を切る時刻を指定しない場合は、自動的に電源 が入っても、自動的に電源を切ることができません。
- ・ネットワークの設定をしたり、「コントロールパネ ル」の「パスワード」や「ユーザー」の設定をして Windows 98を起動するときに、パスワードやユー ザー名を入力する画面が表示されるように設定して いると、「Timer-NX」を使用して本機の電源を入れ ても、ユーザ名、パスワードの入力待ちの状態で止 まってしまいます。

- ・BIOS セットアップメニューで、「ユーザパスワード」「スーパバイザパスワード」を設定していると、「Timer-NX」を使用して本機の電源を入れても、パスワード入力待ち状態で止まってしまいます。「Timer-NX」で自動的に本機の電源を入れる場合は、BIOS セットアップメニューで、「起動時のパスワード」を「使用しない」に設定してください。
- 「Timer-NX」で自動的に本機の電源を入れる場合 は、フロッピーディスクドライブにフロッピーディ スクをセットしないようにしてください。
- ・タイマプログラムで指定した時刻とほぼ同じ時刻に 手動で電源を入れた場合は、タイマーで起動したも のと判断される場合があります(2~3分の誤差が あります)。
- ・タイマプログラムを複数の曜日に設定している場合 は、Windowsの終了時に次回起動予定の曜日が保 存されます。このため、手動で電源を入れ、「Timer-NX」を起動すると、次回起動予定の曜日が初期値と して表示されます。
- ・設定後に電源を切った状態で、本機の電源ケーブ ルを抜いたり、停電になったりした場合は、設定が 無効になります。この場合、もう一度電源を入れ、 Windows が起動すると再設定されます。

ホームページスクラップブックで、Timer-NX と連 携してオートパイロットするときの注意

- ・APMモードを使用すると「Timer-NX」と連携して、 オートパイロットの開始時間に電源を入れ、オート パイロット終了後に電源を切ることができます。
- ・「Timer-NX」と連携してオートパイロットを行う場合は「オートパイロット終了と同時に」で設定されている内容とは関係なくオートパイロット終了後に回線を切断し、電源を切ります。

その他の注意

電源スイッチで、電源を切るときの動作

電源スイッチを押して、電源を切るときの動作は、 APM モードの場合と ACPI モードの場合で異なりま す。

APMモードの場合(*1)	終了確認のメッセージが表示されます。
ACPIモードの場合(*2)	終了確認のメッセージは表示されず、 シャットダウン処理を行い、そのまま電 源が切れます。 アプリケーションを使用中の場合は、ア プリケーションの終了確認のメッセージ (「保存しますか?」など)が表示される ことがあります。

(*1):BIOSセットアップメニューの「省電力」・「システムスイッチ」で「パワーボタン」に設定されている場合。
(*2):「コントロールパネル」の「電源の管理」・「詳細」タブ・「コンビュータの電源ボタンを押したとき」で「シャットダウン」に 設定されている場合。

付 録

Windows NT 4.0 **の利用** 本体の各部の名称 機能仕様 FAX モデムボード機能仕様

Windows NT 4.0 **の利用**

本機で別売のWindows NT Workstation 4.0(以下、Windows NT 4.0)を 利用する場合のセットアップ手順および アップグレード手順について説明します。

ジチェック!!

Windows NT 4.0の2000年問題対応について Windows NT 4.0をご使用になる場合には、2000 年問題対応が必要になります。NECのインターネット のホームページ「98Information」でコンピュータの 2000年問題対応について、情報を提供していますの で、必ず次のアドレスにアクセスし、Windows NT 4.0の2000年問題対応の情報および修正プログラ ムを入手して適用してください。

http://www.nec.co.jp/98/

口参照

コンピュータの 2 0 0 0 年問題 ダ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「よ くある質問」

ここでの説明では次のようなドライブ構成を想定して います。これと異なるドライプ構成で利用する場合は 読み替えてください。

 Windows 98 がインストールされて

 いるドライブおよび Windows NT4.0

 をインストールするドライブ
 :C ドライブ

 フロッピーディスクドライブ
 :A ドライブ

 CD-ROM ドライブ
 :E ドライブ

Windows NT_4.0 を セットアップする前に

まず、「セットアップする前の準備」を行ってください。

ジチェック!!

Windows NT Server 4.0 は使用できません。

セットアップする前の準備

セットアップを開始する前に、次のことを確認してく ださい。

- フロッピーディスクの用意
 - あらかじめ、フロッピーディスクを2枚用意してくだ さい。
 - ・1.44Mバイトでフォーマットしておくこと
 - ・フォーマット時にシステムの転送は行わないこと
 - ・「Windows NT 4.0 アップデートディスク」「シス テム修復ディスク」と書いたラベルを貼っておくこ と
- 「Service Pack5」CD-ROMの入手 セットアップの途中で「Service Pack5」をインス トールする手順がありますので、「Service Pack5」 CD-ROMを入手してください。 入手方法は以下のホームページを参照してください。

http://www.microsoft.com/japan/products/ ntupdate/NT4SP5/default.htm

■ README.TXT を読む

「アプリケーションCD-ROM Vol.1」の「NT40」フォ ルダ内にある「README.TXT」には、マニュアルに 記載されていない補足事項が書かれています。セット アップを行う前に必ずお読みください。

- ドライバのインストール ドライバのインストールを行う場合は、アドミニスト レータの権限を持ったユーザーが行ってください。
- 本体内蔵ハードディスクのフォーマット
 本体内蔵のハードディスクは、FAT32形式でフォーマットされているため、そのままではWindows NT
 4.0 はセットアップできません。Windows NT4.0
 セットアップ時に再フォーマットしてください。

Windows NT 4.0 を利用するための手順

必ず、ここに書いてある手順通りにセットアップ、 アップグレードを行ってください。

- 1. アップデートディスクの作成
- 2. システム設定の変更
- 3. Windows NT 4.0 のセットアップ
- 4. ドライバのコピー
- 5. USB接続のキーボードドライバのセットアップ
- 6. ドライバのアップデート

- 7. Windows NT 4.0 アップデートサービス Service Pack 5のセットアップ
- 8. 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ
- 9. 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
- 10. 内蔵 FAX モデムボード対応ドライバのセット アップ
- 11. FAX モデムカードの利用について

Windows NT 4.0 の セットアップとアップグレード

次の手順で、本機に Windows NT 4.0 をセットアッ プし、アップグレードを行います。

1. アップデートディスクの作成

内蔵ハードディスクから Windows 98 を起動する。

MS-DOS プロンプトを起動する。 「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOSプロ ンプト」

「アプリケーション CD-ROM Vol.1」を CD-ROM ド ライブに、「Windows NT 4.0 アップデートディス ク」をフロッピーディスクドライブにセットする。

次のように入力する E:【Enter】 CD ¥NT40【Enter】 CDNTUP A【Enter】

ジチェック!!

CDNTUP の後のフロッピーディスクドライブ名に は、コロン「:」を付けないでください。

後は画面の指示にしたがって「Windows NT 4.0 アップデートディスク」の作成を行ってください。

「「Windows NT 4.0 アップデートディスク」の作成 が完了しました。…」と表示されたらドライブよりフ ロッピーディスク、CD-ROM を取り出す。

「Service Pack5」をCD-ROM ドライブに、 「Windows NT 4.0アップデートディスク」をフロッ ピーディスクドライブにセットする。

「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOSプロ ンプト」をクリック。 次のように入力する E:【Enter】 CD ¥I386【Enter】 COPY HAL.DLL A:【Enter】

以上で、「アップデートディスクの作成」は終了です。

2. システム設定の変更

BIOS セットアップメニューで、次のようにシステム 設定を変更してください。

● チェック!

この操作は、Windows NT 4.0 を利用する場合のみ 行ってください。

本機の電源を入れる。

「NEC」のロゴ画面で、「<F2>キーを押すと、BIOS セットアップメニューを起動します。」と表示された ら、【F2】を押す。 「セットアップを起動しています。…」と表示された 後、BIOS セットアップメニューが起動します。

詳細メニューで、次のように設定する。

・プラグ&プレイO/S:いいえ

終了メニューの「変更を保存して終了する」で BIOS セットアップメニューを終了させて、本機の電源を切 る。

ジチェック!!

Windows NT 4.0 で PC カードを使用する場合は、 以下の手順でシステム設定を変更してください。

本体の電源を入れる。

「NEC」のロゴ画面で、「Press < F2 > -To Enter BIOS Setup」と表示されたら【F2】を押す。 「セットアップを起動しています。…」と表示された 後、BIOS セットアップメニューが起動します。

詳細メニューで、次のように設定する。

・PCI 設定 PCI IRQ line 1 :[5] PCI IRQ line 2 :[10] PCI IRQ line 3 :[5] PCI IRQ line 4 :[10]

「変更を保存して終了する」でBIOS セットアップメ ニューを終了させて、本体の電源を切る。

3.Windows NT 4.0 のセットアップ

Windows NT 4.0 添付のマニュアルをご覧になり、 次の手順でセットアップを行ってください。 ただし、次のことに注意してください。

- ・Windows NT 4.0のセットアップが正常に終了したら、USB接続キーボードをお使いのかたは「USB 接続キーボードドライバのセットアップ」に、それ以外のかたは、「ドライバのコピー」の手順に進むこと。
- ・Windows NT 4.0 のセットアップ中に「ディスプ レイの設定」ウィンドウが表示され、「 "Vga 互換 ディスプレイアダプタ "が検出されました。」と表示 されたら、そのまま「OK」をクリックして、処理を続 行すること。

「Windows NT 4.0 Setup Disk 1」を、フロッピー ディスクドライブにセットして本機の電源を入れる。

画面の指示にしたがってセットアップを行う。 セットアップの途中で、「キーボードの種類の選択」 ウィンドウが表示されます。

106日本語キーボードを選択する(【半角 / 全角】を 押す)。

ジチェック!!

ここでは接続しているキーボードの種類にかかわらず、「106日本語キーボード」を選択してください。

「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェア があります。」の画面で【 】を押して「コンピュータ: 標準 PC」にあわせ、【Enter】を押す。

「インストールするコンピュータの種類を変更しま す。」の画面で、「その他(ハードウェアメーカー提供の ディスクが必要)」を選択し、【Enter】を押す。

「Windows NT 4.0アップデートディスク」をフロッ ピーディスクドライブにセットし、【Enter】を押す。

「ハードウェアメーカーから提供されたディスク・・・」 の画面で、「PC98-NX ValueStar NX」を選択し、 【Enter】を押す。

「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェア があります。」の画面で、「コンピュータ:PC98-NX ValueStar NX」が表示されていることを確認して、 【Enter】を押す。

Windows NTをインストールするパーティション、 ファイルシステム、ディレクトリの設定を行なう。 ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシ ステムを使用してパーティションをフォーマット」を 選択してください。 NTFS ファイルシステムをご使用になる場合には、 FAT ファイルシステムで Windows NT 4.0 のセッ トアップを行なった後、ディスクアドミニストレータ、 もしくはコマンドプロンプトから convert コマンド を使用して NTFS ファイルシステムに変換してくだ さい。FAT ファイルシステムと NTFS ファイルシス テムの選択基準は『Windows NT 4.0 Workstation ファーストステップガイド』をご覧ください

画面の指示にしたがってセットアップを行う。

ファイルのコピー終了後、画面の指示にしたがいドラ イプよりフロッピーディスク、CD-ROMを取り出し て、本機を再起動する。

これでWindows NT 4.0のテキストセットアップは 終了しました。

再起動すると、CD-ROMの挿入要求のメッセージが 表示されます。

「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」を CD-ROM ドライブにセットして「OK」をクリック。 後は画面の指示にしたがってセットアップを行ってく ださい。

4. ドライバのコピー

コマンドプロンプトを起動する。 (「スタート」ボタン 「プログラム」「コマンドプロ ンプト」)

「アプリケーションCD-ROM Vol.1」をCD-ROMド ライブにセットする。

次のように入力する。

VE500J/2 の場合 E:【Enter】 CD ¥NT40【Enter】 DRVCOPY1.BAT【Enter】 VC750J/2、VC600J/2、VC550J/2、 VC500J/2 の場合 E:【Enter】 CD ¥NT40【Enter】 DRVCOPY2.BAT【Enter】

画面の指示に従って、コピーする。

本機に添付のキーボードおよび別売のUSB109キー ボード、USB小型キーボード、USB98配列キーボー ドをお使いになるための各USBキーボードドライバ が「アップデートディスク」に格納されています。

コピーが終了したら、CD-ROMドライプから「アプリ ケーション CD-ROM Vol.1」を取り出す。

5.USB 接続のキーボードドライバのセットアップ

ここでは、USB 接続のキーボードドライバのセット アップの手順について説明します。

コントロールパネルを起動する。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネ ル」)

「キーボード」をダブルクリック。

「全般」タブをクリック。

「変更」をクリック。

「ディスク使用」をクリック。

「フロッピーディスクからインストール」画面で次のように入力して、「OK」ボタンをクリック。 C:¥NT40¥USB 「デバイスの選択」ウィンドウが表示されます。

「USB109日本語キーボード(JIS配列)」を選択して 「OK」をクリック。

ジチェック!

USB98 配列キーボードの場合は「USB PC-9800 配列キーボード」を選択してください。

「閉じる」をクリック。 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動 する必要があります。今すぐ再起動しますか?」と表 示されます。

「はい」をクリック。

6. **ドライバのアップデート**

本機の機能を有効に使うために、次の手順で Windows NT 4.0 のドライバをアップデートします。

コマンドプロンプトを起動する。 (「スタート」ボタン 「プログラム」「コマンドプロ ンプト」)

アップデートを実行する。 コマンドプロンプトから次のように入力します。

C:[Enter] CD ¥NT40[Enter] UPDATE[Enter]

次のウィンドウの内容をよく読んで「OK」をクリッ ク。 ファイルのコピーが開始されます。



次のウィンドウが表示されたら、「Windows NTに戻る」をクリック。

本機対応 Windows NT 4.0 アップデート	×
Windows NT 40 7ヶ7ゲートが通用されました。 [Windows NT に戻る」本家が分かれて Windows NT システムに戻ってくださし。 変更内容を有効にするには、コピュージを再起動してくださし。	
Windows NT に戻る他	

Windows NT 4.0 を再起動する。

設定は、本機の再起動後に有効になります。

7.Windows NT 4.0 **アップデートサービス** Service Pack 5 **のセットアップ**

本機で Microsoft Windows NT 4.0 アップデート サービス「Service Pack 5 (以下Service Pack 5) を利用する場合は、必ず次の手順を行ってください。

Service Pack 5の「README.TXT」を読む。

Service Pack 5 のセットアップを行う。

● チェック!

ファイルのコピーの途中で、「コピー先には、コピー元 より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」 のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしな い」を選んでください。

- 「Authenticode(tm)Security Technology」の 画面が表示されたら、「Yes」ボタンをクリックして セットアップを続行してください。
- ・本機で新しいコンポーネント(ドライバ等)を追加 または変更した場合は、再度Service Pack 5 をイ ンストールする必要があります。
 例 チョントロールパネル」の「ネットワーク」を使用 してネットワークのインストールを行った場合
- ・本機に添付されていないアプリケーションやオプションボード等を追加される場合は、Service Pack
 5への対応状況をご確認の上でお使い下さい。

Window NT 4.0 を再起動する。

設定は、本機の再起動後に有効になります。

次に、「8. 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセット アップ」に進んでください。

8. 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

本機内蔵アクセラレータを利用するため、次の手順で ドライバをセットアップします。

コントロールパネルを起動する。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネ ル」)

「画面」をダブルクリック。

「ディスプレイの設定」タブをクリック。

「ディスプレイの種類」をクリック。

「変更」をクリック。

「ディスク使用」をクリック。 ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするよ う指示されます。

「フロッピーディスクからインストール」ウィンドウで 次のように入力して、「OK」をクリック。

C:¥NT40¥I810GRPH

「ディスプレイ」のリストから次のものを選び、「OK」 をクリック。

^rIntel Corporation 810 Graphics Controller Hub

ドライバ組み込み確認のメッセージが表示されるので 「はい」をクリック。

ドライバ組み込み結果が表示されるので「OK」をクリック。

「閉じる」をクリック。

「閉じる」をクリック。

再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」をク リック。 自動的に Windows NT 4.0 が再起動されます。

9. 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

本体内蔵サウンド機能を利用するため、次の手順でド ライバをセットアップします。

VC750J/2、VC600J/2の場合

コントロールパネルを起動する。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネ ル」をクリック) 「マルチメディア」をダブルクリック。

「デバイス」タブをクリック。

「追加」をクリック。

ドライバの一覧から「一覧にない、または更新された ドライバ」をクリックして、「OK」をクリック。

「ドライバのインストール」ウィンドウが表示された ら、ドライブ名と次のディレクトリを指定して「OK」 をクリック。

C: ¥NT40¥YMF740

ドライバの一覧で次のドライバを選択し、「OK」をク リック。

YAMAHA DS-XG AudioDriver(Japanese)

「YAMAHA DS-XGオーディオドライバ」ウィンドウ が表示されるので、「OK」をクリック。

再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動す る」をクリック。 自動的に Windows NT 4.0 が再起動されます。

VC550J/2、VC500J/2、VE500J/2の場合

本体内蔵のサウンド機能を利用するため、次の手順で ドライバをセットアップします。

Windows NT 4.0 が起動したら Administratorの 権限を持つユーザでログオンする。

「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」を クリック。

次のように入力して、「OK」をクリック。 C:¥NT40¥YMF752¥SETUP.EXE

「次へ」をクリック。

「OK」をクリック。

再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい、直ち にコンピュータを再起動します。」を選択して「OK」 をクリック。 Windows NT 4.0が再起動されます。

Windows NT 4.0 が起動したら、Administratorの 権限を持つユーザでログオンする。

「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」を クリック。

次のように入力して、「OK」をクリック。 C:¥NT40¥Y752MIDI¥DISK1¥SETUP.EXE 「次へ」をクリック。

「はい」をクリック。

「次へ」をクリック。

「OK」をクリック。

再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい、直ち にコンピュータを再起動します。」を選択して「OK」 をクリック。 Windows NT 4.0が再起動されます。

10. 内蔵FAX モデムボード対応ドライバのセット アップ

「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」を クリック。

次のように入力して、「OK」をクリック。

C:¥NT40¥MODEM¥SETUP.EXE

「次へ」をクリック。

「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJP)」が表 示されていることを確認し、「次へ」をクリック。

「完了」をクリック。

Windows NT 4.0 を再起動する。

以上で内蔵 FAX モデムボードのセットアップは完了しました。

11.FAX モデムカードの利用について

FAXモデムカードを利用する場合は、次のような設定が必要な場合があります。

 ・FAXモデムカードの認識確認 次の手順でFAXモデムカードがWindows NT 4.0
 で正しく認識されていることを確認してください。

PC カードスロットに FAX モデムカードを入れる。

本機を起動する。

コントロールパネルを起動する。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」 をクリック)

「PCカード(PCMCIA)」をダブルクリック。

「ソケットの状態」タブをクリック。

目的のFAX モデムカードを選択する。

●チェック!!

目的のFAXモデムカードの名前が見つからない場合 は、PCカードが正しく挿入されていない可能性があ ります。シャットダウン後、本機の電源を切って、 FAXモデムカードを差し込み直してください。

「プロパティ」ボタンをクリック。

「カード情報」タブをクリック。

FAX モデムカードが Windows NT 4.0 で正しく認 識されている場合には、「デバイスマップ」の画面が表 示され、使用するFAX モデムカードのCOM番号が表 示されます。この COM番号はモデムのセットアップ やリソース(IRQ)の変更時に使用しますので、控えて おいてください。

ジチェック!!

「利用不可」と表示された場合は、FAXモデムカード のリソース(IRQ)が他のデバイスと競合している可能 性があります。FAXモデムカードのリソース(IRQ)を 変更してください。

・モデムのセットアップ FAXモデムカードをダイヤルアップネットワークな どで使用する場合には、モデムのセットアップが必 要です。

次の手順で行ってください。

コントロールパネルを起動する。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」 をクリック)

「モデム」をダブルクリック。

初めてのモデムをセットアップする場合は、自動的に 「新しいモデムのインストール」の画面が表示されま す。既にモデムがセットアップされている場合は、「モ デムのプロパティ」が表示されます。「追加」ボタンを クリックすると「新しいモデムのインストール」の画 面が表示されます。

「次へ」ボタンをクリック。

ぐチェック!!

 ・モデムが検出されなかった場合、FAXモデムカード に割り当てられているリソース(IRQ)が妥当でない 可能性があります。「FAXモデムカードのリソース (IRQ)の変更」をご覧になり、FAXモデムカードのリ ソース(IRQ)を変更してからモデムのセットアップ をしてください。 ・使用するFAXモデムカードにWindows NT 4.0用 の.infファイルが添付されている場合は、次の手順 で.infファイルをインストールしてください。

.infファイルの入ったフロッピーディスクをフロッ ピーディスクドライブにセットする。

「変更」ボタンをクリック。

「ディスク使用」ボタンをクリック。 コピー元にフロッピーディスクドライブのドライブ名 を入力し、「OK」ボタンをクリック。

使用する FAX モデムカードの名称をクリックし、 「OK」ボタンをクリック。

使用する FAX モデムカードの COM 番号上のモデム 名が変更されたことを確認し、「次へ ボタンをクリッ ク。

「所在地情報」画面が表示された場合、所在地情報を入 力し、「次へ」 ボタンをクリック。

「完了」ボタンをクリック。

ジチェック!!

Windows NT 4.0用の .infファイルがない場合には、 Windows 98用の .infファイルで代用できることも あります。ただし、Windows 98用の .inf ファイル すべてがWindows NT 4.0で正しく動作するわけで はありません。上記の手順のあとに進むか、または FAX モデムカードの通信速度に合った「(標準のモデ ムドライバ)」に変更してください。

・モデムのセットアップ確認
 次の手順でモデムが正しくセットアップされている
 かを確認します。

ハイパーターミナルを起動する。
 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」の
 「ハイパーターミナル」をクリック。
 「新しい接続」ウィザードが表示されます。

「キャンセル」ボタンをクリック。

「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリック。

「接続方法」リストから使用するモデム名をクリック。

「モデムの設定」ボタンをクリックして「ポート」に正 しいCOM 番号が表示されているか確認し、「OK」ボ タンをクリック。

「OK」ボタンをクリック。

ハイパーターミナルのウィンドウ内に「AT」と入力。

【Enter】を押す。

モデムのセットアップが正しく行われている場合に は、「OK」のメッセージが表示されます。ハイパー ターミナルの画面に「AT」と表示されず、「OK」の メッセージも表示されない場合は、Windows NT 4.0 でFAX モデムカードが認識されていないか、モデム のセットアップが正常に終了していない可能性があり ます。「モデムのセットアップ」をご覧になり、FAXモ デムカードが正しくセットアップされているか確認し てください。

・FAX モデムカードのリソース(IRQ)の変更 FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認 識されなかったり、正しく動作しない場合はリソー ス(IRQ)が他のデバイスと競合している可能性があ ります。この場合は、次の手順でリソース(IRQ)を変 更してください。

●チェック!!

次の手順では FAX モデムカードレジストリ設定ツー ルを使用してレジストリを操作するため、使用方法を 誤ると重大な障害が発生する可能性があります。使用 に際しては、十分注意してください。またレジストリ のバックアップをとっておくことをおすすめします。

本機で利用可能なリソース(IRQ)を、このマニュアル の前編『拡張ガイド』で確認する。

Windows NT 診断プログラムを起動する。 (「スタート」ボタン 「 プログラム 」「管理ツール」 「 Windows NT 診断プログラム 」をクリック)

「リソース」タブをクリック。

現在のリソース(IRQ)の設定状況が表示されるので、 空いているリソース(IRQ)を確認してください。Windows NT 4.0では、FAXモデムカードは本機内蔵の シリアルポートと同じ「Serial」というデバイス名で 表示されます。IRQ4の「Serial」は本機内蔵のシリア ルポート、IRQ4以外の「Serial」が FAX モデムカー ドを表しています。

コントロールパネルを起動する。 (「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」 をクリック)

「シリアルポート」をダブルクリック。

ジチェック!!

「コントロールパネル」の「PCカード(PCMCIA)」で、 デバイスマップが「利用不可」と表示されている場合 は、ここでポートを追加する必要があります。次の手 順で COM ポートを追加してください。
- 1.「追加」ボタンをクリック。
- 2.「OK」ボタンをクリック。
- 再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動しない」をクリック。
- 「FAX モデムカードの利用について」で確認したポート、または手順の注意で追加したポートをクリック。
- 「設定」ボタンをクリック。
- 「詳細」ボタンをクリック。
- 「I/Oポートアドレス」リストで「既定値」をクリック。
- 「割り込み番号(IRQ)」リストから、現在空いているリ ソース(IRQ)をクリック。
- 「OK」ボタンをクリック。

再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動しな い」ボタンをクリック。

「閉じる」ボタンをクリック。

「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」を クリック。

「名前」の部分に「C:¥NT40¥DRIVERS¥REG」と 入力し、「OK」ボタンをクリック。 FAX モデムカードレジストリ設定ツールが起動し、 「Serial*」表示されます。

「Serial*」の*の部分をFAXモデムカードのCOM番号から「1」を引いた値になるように設定する。

例 COM1の場合 「Serial0」 COM2の場合 「Serial1」

手順 の注意の手順でCOMポートを追加した場合に は、追加した順番に Serial 10000、Serial 10001 となります。

「OK」ボタンをクリック。 レジストリが書き換えられ、FAXモデムカードレジス トリ設定ツールが終了します。

本機を再起動する。 以上で、リソース(IRQ)の変更は終了です。

本機でWindows NT 4.0 を 利用するときの注意

 ・本機に添付されているWindows NT 4.0のドライ バは、本機専用です。他機種では使用しないでください。

- ・リモートアクセスサービスを設定する場合は、「内蔵 FAX モデムボードのセットアップ」の手順でFAX モデムボードをセットアップした後、「コントロール パネル」の「ネットワーク」を起動して行ってくださ い。リモートアクセスサービスの設定については、 Windows NT 4.0 のマニュアルやオンラインヘル プをご覧ください。
- ・Windows NT 4.0 は、NEC 製のキーボード、マウ ス、USB ハプ内蔵液晶ディスプレイ以外の USB 機 器をサポートしていません。
- ・Windows NT 4.0 を利用する場合は、添付のキー ボードにある CD/DVD 制御ボタン、ワンタッチス タートボタン、【スリープ】ボタンの機能は使えませ ん。
- ・本機に添付のソフトウェアは、Windows NT 4.0で は利用できません。
- ・スタンバイ状態のときは、USB接続のキーボード、 マウスの抜き差しを絶対行わないでください。誤っ て行ってしまった場合には、スタンバイ状態からの 復帰後はUSB接続のキーボード、マウスが使用でき なくなります。このようなときは、電源スイッチを4 秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。 この方法で強制的に電源を切った場合、保存してい ないデータは消えてしまいます。
- ・省電力機能(スタンバイ)で問題が発生する場合は、 省電力機能(スタンバイ)を無効にしてください。 「コントロールパネル」の「電源の管理」で次のよう に設定します。

システムスタンバイ:なし

モニタの電源を切る:なし

ハードディスクの電源を切る:なし

また、BIOSセットアップメニューでは、「省電力管 理」を次のように設定します。

システムスイッチ:パワーボタン

- ・TV モデルで、Windows NT 4.0 を利用する場合、 地上波TV&データ放送ボードおよび「ビットキャス トプラウザ」「ADAMSナビ」「モジモジ-NX」は使用 できません。
- ・Windows NT 4.0 では、音声または動画を再生中 にスタンバイ状態にしないでください。
- ・ディスプレイは、リフレッシュレート 60 Hz 以外の 周波数をサポートしていません。



本体の各部の名称とその役割について説明しています。 TV モデルについては、『TV モデルガイド』をご覧ください。

本体前面



電源スイッチ(())

電源を入れるスイッチ。電源を切るときは、Windows 98の「スタート」メニューで「Windowsの終了」を クリックして「電源を切れる状態にする」を選んで 「OK」をクリックします。電源スイッチを切る / 入れ る操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくと も5秒以上の間隔をあけてください。

●チェック!!

ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場 合は、電源スイッチを約4秒以上押し続けることで、 強制的に電源を切ることができます。なお、この場合、 作成中のデータなどは消えてしまいます。

停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源 が供給されていないときは、電源スイッチを押しても 電源を入れることはできません。

電源ランプ

電源の入/切状態を表示するランプ。電源を入れると 緑色に、スタンバイ状態ではオレンジ色に点灯します。

ハードディスクアクセスランプ() ハードディスクの動作中に点灯するランプ。

ジチェック!!

点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハード ディスクの内容が壊れることがあります。

PC カードスロット

PC カードを取り付けるスロット。2 スロットありま す。PC カードには、メモリカードやモデムカード、 SCSI インターフェイス対応機器とつなげるための SCSI カードなどいろいろな種類があります。

PC カードスロットイジェクトボタン PC カードを PC カードスロットから取り出すときに 使うボタン。

ジチェック!!

添付のキーボードとマウスは、Windows NT 4.0 で も使用できます。

DVD-ROM ドライブまたは CD-RW ドライブ ・DVD-ROM モデル DVD-ROM やCD-ROM、音楽 CDを入れるところ。 ・CD-RW モデル CD-ROM や音楽 CD を入れるところ。 また CD-R、CD-RW メディアにデータを記録する

ディスクトレイイジェクトボタン ディスクをセットするディスクトレイを出し入れする ためのボタン。

BUSY インジケータ CD-ROM ドライブからデータを読み出しているとき に点灯します。

\$ 5 1 1 1 1

ところ。

点灯中は電源を切ったり、CD-ROM を取り出したり しないでください。CD-ROM ドライブの故障の原因 となります。

3.5 インチフロッピーディスクドライブ
 3.5 インチサイズのフロッピーディスクを入れるところ。

フロッピーディスクイジェクトボタン フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブか ら取り出すときに使うボタン。

フロッピーディスクドライブアクセスランプ フロッピーディスクドライブの動作中に点灯するランプ。

スタビライザ 本体を安定して設置するための脚。

ジチェック!!

スタビライザは必ず付属のネジで本体に固定してくだ さい。また、本体を横置きにする場合は、ネジとスタビ ライザをなくさないよう大切に保管してください。

本体背面

各アイコンの向きは、下の説明と異なることがあります。



AC 電源コネクタ(入力)(AC100V) ACコンセントから本体に電源を供給するためのコネ クタ。添付の電源ケーブルを接続します。 本体添付の電源ケーブルは、AC コンセント側が普通 の2 ピン、本体側が特殊な3 ピンになっています。

アース端子(🕒) アース線を接続するための端子。

盗難防止用ロック() 市販の盗難防止用ケーブル(Kensington 社製など) を接続できます。 盗難防止用ロックを使用することで、ルーフカバーが ロックされるため、本体内部のハードディスクや RAM サブボードなどの盗難を予防できます。

ジチェック!!

盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロ セーバーセキュリティシステムに対応しています。日 本国内総販売代理店の連絡先は、次の通りです。 (1999年12月現在) 日本ポラロイド株式会社 電子映像事業部

〒105-8456 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル Tel :03-3438-8879 Fax :03-5473-1630

シリアルコネクタ(**IOIOI**) 周辺機器を接続するためのコネクタ。 通信を行うときに必要な通信機器や、イメージスキャ ナなどの周辺機器を接続します。

ジチェック!!

- ・PC-9800シリーズ用の機器を接続する場合は、別 売のRS-232C変換アダプタ(PK-CA102)が必要 です。PK-CA102は別売のプリンタインタフェー ス変換アダプタ(PK-CA101)と同時に取り付ける ことはできません。
- ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動 作しないことがあります。

電話機用モジュラーコネクタ(🙆) 電話機を接続するためのコネクタ。 電話回線用モジュラーコネクタ(💭) 電話回線を接続するためのコネクタ。

PCIスロット

本機の機能を強化したり拡張したりするための各種 ボードを、挿入するためのスロット。高速なデータ転 送ができる PCI バスに対応。

通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔です。壁などでふさが ないように注意してください。

LINE IN 端子(ステレオ (**((++++))**) 市販のオーディオ機器などから、音声信号(ステレオ) を本体に入力するためのミニジャック端子。

LINE OUT 端子(ステレオ)(**((+)))**) 添付の外付けスピーカや市販のオーディオ機器など に、音声信号(ステレオ)を出力するためのミニジャッ ク端子。

マイクロホン端子(モノラル)(の) マイクロホンを接続するためのミニジャック端子。

パラレルコネクタ(**追**) プリンタなどを接続するためのコネクタ。

ジチェック!!

PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する 場合は、別売のプリンタインタフェース変換アダプタ (PK-CA101)が必要です。PK-CA101は、別売の RS-232C変換アダプタ(PK-CA102)と同時に取 り付けることはできません。

USB コネクタ(・) (CRT ディスプレイセットモデルのみ) USB 対応機器を接続するためのコネクタ。 Windows 98でのみ使用可能。USBコネクタに接続 する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機 器の製造元または発売元にご確認ください。

€チェック!!

添付のキーボードとマウスは、Windows NT 4.0 で も使用できます。

液晶ディスプレイ専用コネクタ(LCD) 液晶ディスプレイセットモデルにセットの液晶ディス プレイを接続するためのコネクタです。セットの液晶 ディスプレイ以外は接続できません。 アナログ RGB コネクタ(🖸) アナログ RGB 対応ディスプレイを接続するためのコ ネクタ。

ジチェック!!

液晶ディスプレイセットモデルの場合、このコネクタ に別売のディスプレイを接続して2台のディスプレイ を接続してもマルチモニタサポート機能は使えませ ん。

本体底面



通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔。 底面にスタビライザを取り付けることで、通風孔をふ さがない状態になります。

🍼 チェック!!

パソコン本体を横置きにする場合は、通風孔をふさが ないようにしてください。

機能仕様

TV モデルは、『TV モデルガイド』をご覧ください。

VC750J/2、VC600J/2、VC550J/2、VC500J/2

モデル			VC750J/2GD1	VC600J/2FD1	VC550J/2FC1 VC550J/2FD1	VC500J/2FC1、C2 VC500J/2FD1、D2 VC500J/2XD1、D2	VC500J/2XB1、B2	
СРІ	J		Pentium® プロセッサ	Pentium® プロセッサ	Pentium® プロセッサ	Pentium® プロセッサ	(500EMHz)	
			(750MHz)	(600EMHz)	(550EMHz)			
			キャッシュメモリ32Kバ	イト セカンドキャッシュ	メモリ256Kバイト(CPL	1に内蔵)		
	BIOS ROM		512Kバイト、プラグ&	プレイ対応				
		メインRAM	128Mバイト 2		64Mバイト 2			
× _	L		ユーザーズメモリ 127	7.6Mバイト	ユーザーズメモリ 63.	6Mバイト		
t	RAM 1		DIMMスロット×2(うち	51スロットに128Mバイ	DIMMスロット×2(うき	51スロットに64Mバイト	メモリを取り付け済)	
, v			トメモリを取り付け済)	最大256Mバイト	最大256Mバイト			
	ディスフレ	レイキャッシュ	4Mバイト(SDRAM)					
	ビデオRAM		8~11Mバイト 2		10~13M/(1 F 2			
表	クラフィック	クアクセラレータ	Intel®810E Chipset	蔵	Intel®810 Chipset内履	Ē.		
示	0771	ック表示	640×480ドット	16巴/256巴/65,5	536色/1,6//万巴 4			
機			800×600ドット 256色/65,536色/1,677万色 4					
能			1,024×/00FツF	200巴/00,000巴	/1,6//刀巴 4			
,	キーボー	ĸ	1,200×1,0241 91	<u>3 230円/03,330円</u> パレートタイプ IIS標準i	/1,0///)と 4 紀列(英数 かな) 109	キーレイアウト CD/DV	D制御ボタン	
	1	1	スリープボタン、ワンタ	ッチスタートボタン、テン	キー・12ファンクション	=ー・Windowsキー・アブ	゜ リケーションキー付、	
い装			スタージホテン、フラフラフステートング、フライー「2フラフラフラー」、Windows イーフララフ・フヨフィー 13 、 UISBパスパワードハブ (2ポート) 付き					
る置	マウス		スクロール機能付きマウス標準装備(添付のキーボードに接続)					
-	フロッピ	ーディスク	3.5型フロッピーディス?	7ドライブ1台内蔵				
	ドライブ		720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能					
補	ハードデ	ィスク 5	約30Gバイト 6	約20Gバイト 7			約15Gバイト 8	
助			Microsoft Windows 98 Second Editionをインストール済					
記憶	CD-RW/		CD-RWドライブ:標準排	皆載		DVD-ROMドライブ:標	準搭載	
装	DVD-RO	M	CD-ROM読み込み:最大	24倍速		DVD-ROM読み込み:最	大8倍速	
置			CD-RW書き込み:最大4	倍速		CD-ROM読み込み:最大	40倍速	
			CD-R書き込み:最大4倍	速				
	5型ベイ		1スロット (CD-RW/D\	/D-ROMで1スロット占有法	斉)[空きスロット0]			
	内蔵3.5型	型ベイ	1スロット(ハードディス	スクで1スロット占有済)[空きスロット0]			
PCI								
PC)	リードスロ	ット	lype ×2(lype ×1人山ットとしても使用可)					
			PC Card Standard準拠					
	サウンド	チップ		······································	Intel®810 Chinset内蔵	5		
Ψ	音源		FM音源32音 10		Intelect o compact, sa			
ウン			PCM録音/再生機能 PC	℃M 8/16ビット 5~48⊦	<pre>KHz 10/8~48KHz 1</pre>	1		
ド機			ウェーブテーブルシンセ	サイザー機能搭載 (XG、G	M演奏モード対応) 10、	Downloadable Sound (DLS)Level-1対応 10	
能	サラウンド		エンハンスドステレオ対	応		-		
9	スピーカ		液晶ディスプレイに内蔵					
		モデム	データ転送速度 最大送信		Kbps、V.90、K56flex、	V.34、V.32bis、V.32、	V.22bis、V.22、V.21	
通信	機能		エラー訂正V.42/MNP4	、データ圧縮V.42bis/MM	NP5			
		FAX	データ転送速度 最大14.	4Kbps(V.17)、FAX制	御 CLASS 1			

VC750J/2、VC600J/2、VC550J/2、VC500J/2

モデル			VC750J/2GD1	VC600J/2FD1	VC550J/2FC1 VC550J/2FD1	VC500J/2FC1、C2 VC500J/2FD1、D2 VC500J/2XD1、D2	VC500J/2XB1、B2	
	ディスプレイ		アナログRGBセパレート信号出力(75 アナログインターフェイス、カラー、ミニD-Sub 15ピン)、液晶ディスプレイ専用(専用30ピン) 12					
	オーディオ	入力	マイク入力(モノラル) 入	.カインピーダンス 10K	入力レベル最大100mVrr	ns ゲイン20dB		
ン			ライン入力(ステレオ) 入	カインピーダンス 10K	入力レベル最大2Vrms ク	*イン - 6dB		
Ĩ		出力	ライン出力(ステレオ) 出	ライン出力(ステレオ) 出力レベル最大1 Vrms(負荷インピーダンス47k)				
フェ	プリンタ		パラレルインターフェイス	(D-Sub25ピン)				
イ	シリアル	シリアル 最大115,200bps(D-Sub 9 ピン)						
	USB 13	本体	1ポート内蔵					
		キーボード	2ポート内蔵					
カレンダー時計		t	電池によるバックアップ					
電源			AC 100V±10%、50/60Hz					
温湿度条件			10~35、20~80% 14(ただし結露しないこと)					
外形	讨法	本体	86(W)×320(D)×305(H)mm (ゴム足、突起部除く)					
			155(W)×320(D)×316(H)mm (スタビライザ取り付け時)					
		キーボード	454(W)×186(D)×41(H)mm					
質量	ł	本体	約7.4kg		約7.3kg			
		キーボード	約1.2kg					
消費	電力 15	標準構成時	約65W	約56W	約54W	約46W(VC500J/2XD1、D2)	約46W	
						約51W(VC500J/2FC1、C2		
						VC500J/2FD1,D2)		
		内蔵オプション	106W	97W	95W	87W(VC500J/2XD1,D2)	87W	
		最大接続時				93W (VC500J/2FC1,C2		
						VC500J/2FD1,D2)		
		スタンバイモード時	約26W	約25W	約25W	約23W	約23W	

- 1 利用 OS により、使用可能なメモリ容量は異なります。
- 2 ビデオ RAM は、メイン RAM を使用します。表示領域として使用するのは、この一部です。
- 3 本機にセットの液晶ディスプレイでは表示できません。
- 4 VC750J/2にセットの液晶ディスプレイ以外では、ディザリングにより 1,611 万色となります。
- 5 ハードディスクの容量は、1Gバイトを10億バイトで計算した場合の数値です。OSから認識できる容量は、実際の値より小さく表示されることが あります。
- 6 Windows のシステムから認識できる容量は、約 27.9G バイトとなります。
- 7 Windows のシステムから認識できる容量は、約18.6Gバイトとなります。
- 8 Windows のシステムから認識できる容量は、約13.9G バイトとなります。
- 9 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。 アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- 10 VC750J/2、VC600J/2の場合
 11 VC550J/2、VC500J/2の場合
- 12 セットの液晶ディスプレイを接続する専用ポートです。セットの液晶ディスプレイ以外は接続できません。
- 13 Windows 98 でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- 14 18~28、45~75%での使用を推奨します。
- 15 セットの液晶ディスプレイの消費電力を含みます。

VE500J/2

モデル			VE500J/25D VE500J/27C、D	VE500J/25B	
CPU			Pentium® プロセッサ(500EMHz)		
			キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ256K/	バイト(CPUに内蔵)	
	BIOS RO	М	512Kバイト、プラグ&プレイ対応		
		メインRAM	64Mバイト 2		
×			ユーザーズメモリ 63.6Mバイト		
Ŧ	RAM 1		DIMMスロット×2(うち1スロットに64Mバイトメモリを取り	付け済)	
IJ			最大256Mバイト		
	ディスプレイキャッシュ				
	ビデオRAM		10~13M/(1 × 2		
素	グラフィック	アクセラレータ	Intel®810 Chipset内藏		
-13	グラフィック表示		640×480ドット 16色/256色/65,536色/1,67	7万色	
林			800×600ドット 256色/65,536色/1,677万色		
能			1,024×768ドット 256色/65,536色/1,677万色		
			1,280×1,024ドット 3 256色/65,536色/1,677万色		
Л	キーボー	۴	USBコネクタに接続、セパレートタイプ、JIS標準配列(英数、1	かな) 、 109キーレイアウト、CD/DVD制御ボタン、	
力			スリープボタン、ワンタッチスタートボタン、テンキー・12ファ	マンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー付、	
装			USBバスパワードハブ(2ポート)付き		
置	マウス		スクロール機能付きマウス標準装備(添付のキーボードに接続)		
	フロッヒーティスク ドライブ		3.5型フロッピーディスクドライブ1台内蔵		
	1777		720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク	使用可能	
補助	ハードディ	ィスク 4	約20Gバイト 5	約15Gバイト 6	
助記			Microsoft Windows 98 Second Editionをインストール済		
憶					
装置					
-					
	5型ペイ		「スロット(DVD-ROMで1スロット占有済) [空ざスロット0]	0.1	
DCI	内服(3.5当 フロット	≗/\1	「スロット(ハートティスクで「スロット占有済)[空きスロット	.0]	
PC		w h			
FC,	0-170	יוע	iype x2(iype xi入山ツトとししも使用可) DC Cord Standord進加		
			FC Gatu Statiualu半敗		
#	サウンド	チップ	Intel®810 Chinset内蕨		
Ċ,	音源		PCM録音/再生機能		
ド	1 105		PCM 8/16ビット 8~48KHz		
險能	サラウンド		エンハンスドステレオ対応		
7	スピーカ		ステレオスピーカ添付		
Ė		モデム	データ転送速度 最大送信33.6Kbps / 最大受信56Kbps、V.90、	, K56flex, V.34, V.32bis, V.32, V.22bis, V.22, V.21	
通信	機能		エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5		
FAX		FAX	データ転送速度 最大14.4Kbps(V.17)、FAX制御 CLASS 1		

VE500J/2

モデル			VE500J/25D VE500J/27C、D	VE500J/25B	
	ディスプレイ		アナログRGBセパレート信号出力(75 アナログインターフェイス、カラー、ミニD-Sub 15ピン)、液晶ディスプレイ専用(専用30ピン) 8		
1	オーディオ	入力	マイク入力(モノラル)入力インピーダンス 10K 入力レベル最	大100mVrms ゲイン20dB	
ン			ライン入力(ステレオ)入力インピーダンス 10K 入力レベル最	大2Vrms ゲイン - 6dB	
Ĩ		出力	ライン出力(ステレオ)出力レベル最大1Vrms(負荷インピーダンス	ζ47k)	
フェ	プリンタ		バラレルインターフェイス(D-Sub25ピン)		
イ	シリアル		最大115,200bps(D-Sub 9 ピン)		
	USB 9	本体	2ポート内蔵		
		キーボード	2ポート内蔵		
カレンダー時計		ł	電池によるバックアップ		
電源			AC 100V±10%,50/60Hz		
温湿	度条件		10~35、20~80% 10(ただし結露しないこと)		
外形	讨法	本体	86(W)×320(D)×305(H)mm (ゴム足、突起部除く)		
			155(W)×320(D)×316(H)mm (スタビライザ取り付け時)		
		キーボード	454(W)×186(D)×41(H)mm		
質量		本体	約7.3kg		
		キーボード	約1.2kg		
消費電力		標準構成時	約28W		
内蔵オプション 最大接続時 スタンバイモード時		内蔵オプション 最大接続時	58W		
		スタンバイモード時	約20W		

1 利用 OS により、使用可能なメモリ容量は異なります。

- 2 ビデオ RAM は、メイン RAM を使用します。表示領域として使用するのは、この一部です。
- 3 本機にセットの 15型 CRT ディスプレイでは表示できません。
- 4 ハードディスクの容量は、1Gパイトを10億パイトで計算した場合の数値です。OSから認識できる容量は、実際の値より小さく表示されることがあります。
- 5 Windows のシステムから認識できる容量は、約18.6G バイトとなります。
- 6 Windows のシステムから認識できる容量は、約13.9Gバイトとなります。
- 7 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。 アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- 8 液晶ディスプレイセットモデルにセットの液晶ディスプレイを接続する専用ポートです。セットの液晶ディスプレイ以外は接続できません。
- 9 Windows 98 でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- 10 18 ~ 28 、45 ~ 75% での使用を推奨します。

セットのスピーカの機能仕様(CRT ディスプレイセットモデルのみ)

	フラットパネルスピーカ
最大定格出力	1.2W + 1.2W
ヘッドホン出力	5mW + 5mW
外形寸法	約108(W)×72(D)×178.7(H)mm(片側)
質量	約727g(ケーブル、ACアダプタ含む)

FAX モデムボード機能仕様

機能概要

CPU I/F	PCIローカルバスインターフェイス
NCU部	・ダイヤルパルス送出機能
	・リンガ検出機能
モデムチップセット部	・115.2Kbpsまでのデータ・モデム・スループット
	V.90
	K56flex
	V.34
	V.32bis
	V.32, V.22bis, V.22, V.21
	V.42LAPMおよびNMP4エラー訂正
	V.42bisおよびMNP5データ圧縮
	・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度
	V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2
	・HayesATコマンドセット
	AT
	Sレジスタ
	・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン
	・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択
	・フロー制御およびスピード・バッファリング
	・パラレル非同期データ
	・自動ダイヤルおよび自動アンサー
	・トーンおよびパルスダイヤリング(DTMFトーン、ダイヤルパルス制御)

FAX 機 能

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調步同期方式
通信速度	14,400/12,000/9,600/7,200/4,800/2,400/300bps 注
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM:14,400/12,000/9,600/7,200bps
	DPSK: 4,800/2,400bps
	FSK: 300bps
送信レベル	-10~-15dBm(出荷時 -15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

Ŀ
i

項目	規格
適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調步同期方式
通信速度	送受信: 33,600/31,200/28,800/26,400/24,000/21,600/19,200/16,800/14,400/12,000/9,600
	7,200/4,800/2,400/1,200/300bps 注
	受信のみ:56,000/54,667/54,000/53,333/52,000/50,667/50,000/49,333/48,000/46,667/46,000
	45,333/44,000/42,667/42,000/41,333/40,000/38,667/38,000/37,333/36,000/34,667
	34,000/33,333/32,000/30,667/29,333/28,000bps 注
通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21
変調方式	TCM: 56,000/54,667/54,000/53,333/52,000/50,667/50,000/49,333/48,000/46,667/46,000
	45,333/44,000/42,667/42,000/41,333/40,000/38,667/38,000/37,333/36,000/34,667
	34,000/33,600/33,333/32,000/31,200/30,667/29,333/28,800/28,000/26,400/24,000
	21,600/19,200/16,800/14,400/12,000/9,600/7,200bps
	QAM:9,600/7,200bps
	DPSK: 4,800/2,400/1,200bps
	FSK : 1,200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM) MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
送信レベル	-10~-15dBm(出荷時 -15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	HayesATコマンド準拠

注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

NCU 機 能

項目	規格
適用回線	加入電話回線
ダイヤル方式	パルスダイヤル(10/20PPS)
	トーンダイヤル(DTMF)
NCU形式	AA(自動発信 / 自動着信型)
	MA(手動発信 / 自動着信型)
	MM(手動発信 / 手動着信型)
	AM(自動発信 / 手動着信型)
制御コマンド	HayesATコマンド準拠
	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

AT コマンド^{*}については、このパソコンの電子マニュアル「サポートセンタ」の「パソコンを使いこなそう」-「ハードウェア情報」-「AT コマンド一覧」ある いは「スタート」ボタン 「サポートセンタ」 「AT コマンド一覧」をご覧ください。

*:米国Hayes社が開発したコマンド体系。DTE(パソコンなどの端末機器)から電話回線に対してこのコマンドを送ることで自動発着信を行うことがで きる



数字

A ~ N

ACPIモード	151
AC電源コネクタ(AC100V)	168
APMモード 1	5 1
AV機器	. 1 1
BIOSセットアップメニュー	142
BUSYインジケータ	166
CardBus	44
CD/DVD制御ボタン 104、 ²	108
CD-RWドライブ16、69、1	112
DIMM	. 59
DMAチャネル 91、	96
DSU	. 13
FAXモデムボード	137
FAXモデムボード機能仕様	174
IRQ	95
ISDN	13
ISDNターミナルアダプタ	13
LAN(ネットワーク)カード	. 18
LAN(ネットワーク)ボード	52
LINE IN端子12、	168
LINE OUT端子 12、 ⁷	168
MIDI	132
MOディスクドライブ 16、	69
PC-9800シリーズのキーボード 1	07
PC Card Standard	. 44
PCカードスロット 44、1	66
PCIスロット52、1	68
PCIボード 18、	52
PCM	132
RAMサブボード	. 58
SCSI 18,	69
SCSI ID	70
SCSI-2	. 70
SCSIインターフェイス	. 69
SCSIインターフェイスボード	
	77
SCSI機器接続ケーブル	. 71

Ultra SCSI 7	0
Ultra Wide SCSI 7	0
USB 3	4
USBコネクタ35、37、166、16	8
USBハブ 35、4	1
USBリンクケーブル 1	7
Windows NT 4.0の利用 15	8
Windows 98起動ディスク 11	7

ア行

アース端子	1	68
アナログRGBコネクタ	1	68
インクジェットプリンタ		9
【インターネット】ボタン	1	08
インターフェイス		34
衛星インターネットボード		18
液晶ディスプレイ専用コネクタ	1	68

カ行

解像度119、	1	21
簡易解像度切り替え機能	1	22
キーの名称	1	03
キーの役割	1	03
キーボード	1	03
キーボード プロパティ	1	05
コンパクトフラッシュ		15

サ行

再生/一時停止	1	08
サウンド機能	1	32
【サポートセンタ】ボタン	1	08
終端BOX		71
省電力機能(スタンバイ)	1	26
シリアルコネクタ	1	68
スーパバイザパスワード 145、	1	47
スクロールボタン	1	00
スタビライザ	1	66
スタンバイ状態	1	26
スピーカ	1	32
スマートメディア		15
【スリープ】ボタン 104、108、	1	27
赤外線通信インタフェースユニット		19
セキュリティの設定	1	45

走查周波数 1	19
増設RAMサブボード 58、	59
【ソフト終了】ボタン1	08
外付け用ハードディスク 16、	77

タ行

ターミナルアダプタ 1	3
ターミネータ	′ 1
タイマー機能 127、12	28
ダブルクリックの速度 10) 1
通信機能 13	37
通風孔	59
次のトラック/早送り 10) 8
ディスクトレイイジェクトボタン	6
ディスプレイ 11	9
デイジーチェーン	59
停止10) 8
デジタルカメラ 1	5
デバイスマネージャ)2
【テレビ】ボタン 10) 8
電源管理モード 15	51
電源スイッチ 16	6
電源の管理 12	22
電源ランプ 16	6
電話回線用モジュラーコネクタ16	68
電話機用モジュラーコネクタ16	68
盗難防止用ロック 16	6 6
ドットインパクトプリンタ	9
ドライバ	23
ドライブ名 8	31

八行

ハードディスク	1	10
ハードディスクアクセスランプ	1	66
ハーフサイズのPCIボード		52
ハイパワーデバイス		41
ハウリング		11
パスワード	1	47
パスワードの解除	1	49
パラレルコネクタ	1	68
左きき用(マウス)	1	01
表示色119、	1	21
フォーマット 80	、	87

プラグ&プレイ23
フラッシュメモリカード 15
プリンタ 9
プレイパッド 19
フロッピーディスク 116
フロッピーディスクイジェクトボタン 166
フロッピーディスクの種類116
フロッピーディスクドライブアクセスランプ
ページプリンタ 9
ヘッドホン端子 12、133
ボリュームアップ 108
ボリュームコントロール 133
ボリュームダウン 108
本体の各部の名称 166

マ行

マイクロホン端子11、133、	1	68
マウス	1	00
マウス プロパティ	1	01
前のトラック/巻き戻し	1	08
右きき用(マウス)	1	01
【メール】ボタン	1	08
メモリ		58
モード151、	1	52

ヤ・ラ・ワ行

ヤマハAC-XG設定 ?	136
ヤマハDS-XG設定	136
ユーザパスワード 145、1	147
【ランチ-NX】ボタン	108
リソース	91
リソースの競合	91
領域	84
ルーフカバー	26
レーザープリンタ	9
割り込みレベル(IRQ)	95
ワンタッチスタートボタン 104、1	108

やりたいこと別マニュアルガイド

あなたのやりたいことがどのマニュアルに書いてあるか、このガイドを参考 に探してください。

パソコンの接続とセットアップをしたい	まずこれ! 接続と準備
フロッピーディスクを使いたい	まずこれ! 接続と準備
CD-ROM や DVD-ROM(DVD モデルのみ) を使	いたい まずこれ! 接続と準備
サポートセンタについて知りたい	まずこれ! 接続と準備
インターネットでできることが知りたい	たのしもう! インターネット
インターネットを利用したい	たのしもう! インターネット
電子メールを使いたい	たのしもう! インターネット
BIGLOBE に入会したい	たのしもう! インターネット
マウスの使い方を知りたい	
キーボードで文字を打ってみたい / ワープロを使い	ハたい 練習! パソコンの基本
パソコンのお手入れをしたい	
音声でパソコンを操作したい	
バックアップを取りたい	. 練習! パソコンの基本、困ったときのQ&A
どんなアプリケーションが入っているか知りたい	練習! パソコンの基本、サポートセンタ
パソコンが思うように動かない	困ったときの Q&A、サポートセンタ
再セットアップしたい	困ったときの Q&A
再セットアップしたい マニュアル総索引を使いたい	困ったときのQ&A 困ったときのQ&A
再セットアップしたい マニュアル総索引を使いたい プリンタを使いたい	困ったときのQ&A 困ったときのQ&A
再セットアップしたい マニュアル総索引を使いたい プリンタを使いたい PC カードを使いたい	困ったときのQ&A 困ったときのQ&A
再セットアップしたいマニュアル総索引を使いたい プリンタを使いたい PC カードを使いたい 周辺機器を取り付けたい	困ったときのQ&A 困ったときのQ&A
再セットアップしたいマニュアル総索引を使いたい プリンタを使いたい PCカードを使いたい 周辺機器を取り付けたい このパソコンの拡張性について知りたい	困ったときのQ&A
再セットアップしたい	
再セットアップしたい	
再セットアップしたいマニュアル総索引を使いたい	
再セットアップしたいマニュアル総索引を使いたいマニュアル総索引を使いたい	
再セットアップしたい	
再セットアップしたい	
再セットアップしたいマニュアル総索引を使いたい	 困ったときのQ&A 、困ったときのQ&A … 拡張!活用! バリュースター … サポートセンタ … サポートセンタ … サポートセンタ … サポートセンタ … サポートセンタ
再セットアップしたいマニュアル総索引を使いたい	

わかる、できる、役に立つ!! ⑤





初版 2000年1月 NEC P

このマニュアルはエコマーク認定の再生紙 (古紙率:表紙50%、本文100%)を使用しています。

